

USER MANUAL

Digital Video Recorder

DVR



安全上のご注意.....	1
第1章 製品の概要.....	2
1.1 リアパネル	2
1.2 リモートコントローラ(参考用のみ).....	3
第2章 DVR のインストールと接続.....	4
2.1 HDD インストール	4
2.2 接続図	4
2.3 電源接続	5
第3章 DVR 共通操作.....	5
3.1 付属マウスの使用.....	6
3.2 仮想キーボードの使用.....	6
3.3 パスワード	6
第4章 DVR 起動.....	8
4.1 ウィザードの起動.....	8
4.1.1 ウィザードの起動	8
4.1.2 ネットワーク設定	8
4.1.3 日時	10
4.1.4 IP カメラ.....	11
4.1.5 ディスク	13
4.1.6 解像度	13
4.1.7 モバイル	14
4.1.8 まとめ	14
4.2 ライブビュー画面の概要.....	15
4.2.1 カメラクイックツールバー.....	16
4.2.2 タスクバー	16
4.2.3 スタートメニュー	17
4.2.3.1 ロック解除とロック画面	18
4.2.3.2 シャットダウン	18
第5章 DVR システムのセットアップ.....	19
5.1 チャンネル	20
5.1.1 チャンネル	20
5.1.1.1 アナログチャンネル	20
5.1.1.2 IP チャンネル.....	21
5.1.1.3 プロトコル管理	22
5.1.2 ライブ	23
5.1.3 イメージコントロール	24
5.1.4 PTZ	25
5.1.4.1 PTZ 制御.....	25
5.1.5 モーション	27
5.1.6 PIR	29
5.1.7 ビデオカバー	31
5.1.8 インテリジェント	31

5.1.8.1	PID(境界侵入検知)	32
5.1.8.2	LCD(ライン交差検出)	34
5.1.8.3	SOD(静止物体検出)	36
5.1.8.4	PD(歩行者検出)	38
5.1.8.5	FD(顔検出)	40
5.1.8.6	CC(クロスカウンティング)	41
5.1.8.7	インテリジェント解析	45
5.1.8.8	インテリジェントスケジュール	45
5.2	録画	46
5.2.1	エンコード	47
5.2.2	レコード	47
5.2.2.1	レコード	48
5.2.2.2	レコードスケジュール	48
5.2.3	キャプチャ	49
5.2.3.1	キャプチャ	49
5.2.3.2	キャプチャスケジュール	50
5.3	アラーム	50
5.3.1	モーション	50
5.3.2	I/O	50
5.3.3	PIR	51
5.3.4	PTZ リンケージ	51
5.3.5	例外	52
5.4	ネットワーク	53
5.4.1	一般	54
5.4.1.1	PPPoE	55
5.4.1.2	3G	55
5.4.1.3	ポート設定	56
5.4.2	DDNS	57
5.4.3	メール	58
5.4.3.1	電子メール設定	58
5.4.3.2	メールスケジュール	59
5.4.4	FTP	60
5.5	デバイス	61
5.5.1	ディスク	61
5.5.1.1	ディスク・グループ	62
5.5.1.2	S.M.A.R.T	63
5.5.2	クラウド	64
5.6	システム	65
5.6.1	一般	65
5.6.1.1	日付と時刻	66
5.6.1.2	NTP 設定	67
5.6.1.3	DST 設定	67
5.6.2	出力設定	68
5.6.2.1	LIVE-OUT	69
5.6.3	マルチユーザー	69
5.6.3.1	パスワードの変更	70
5.6.3.2	新規ユーザーの追加	71

5.6.3.3 ユーザー権限の設定	71
5.6.4 メンテナンス	73
5.6.4.1 ログ	73
5.6.4.2 ロードのデフォルト	74
5.6.4.3 アップグレード	75
5.6.4.4 パラメータ管理	75
5.6.4.4 自動再起動	76
5.6.5 IP カメラメンテナンス	76
5.6.5.1 IP カメラのアップグレード	77
5.6.5.2 IP カメラのデフォルト設定を読み込む	77
5.6.6 システム情報	78
5.6.6.1 情報	78
5.6.6.2 チャンネル情報	79
5.6.6.3 記録情報	79
5.6.6.4 ネットワーク状態	80
第 6 章 検索、再生、バックアップ.....	80
6.1 検索機能の使用	80
6.1.1 一般的なビデオの検索と再生.....	82
6.1.1.1 ビデオクリップバックアップ	83
6.1.2 イベント検索、再生、バックアップ.....	85
6.1.2.1 イベント再生コントロール	87
6.1.3 サブピリオド再生	87
6.1.4 スマート検索と再生	88
6.1.4.1 スマート検索エリア	90
6.1.5 画像検索とビュー	91
6.1.5.1 画像プレビューコントロール	92
第 7 章 Web クライアント経由のリモートアクセス	93
7.1 基本的なシステム環境要件.....	93
7.2 Web プラグインのダウンロードとインストール	93
7.3 Web クライアント・マネージャー.....	96
7.3.1 ライブインターフェース	96
7.3.2 再生	99
7.3.2.1 再生コントロールボタン	100
7.3.3 リモート設定	101
7.3.4 ローカル設定	102
第 8 章 PC/Mac でバックアップされたビデオを表示する	103
第 9 章 モバイルデバイス経由のリモートアクセス	106
第 10 章 付録.....	109
10.1 トラブルシューティング.....	109
10.2 使用メンテナンス.....	110
10.3 付属品(参考のみ).....	111

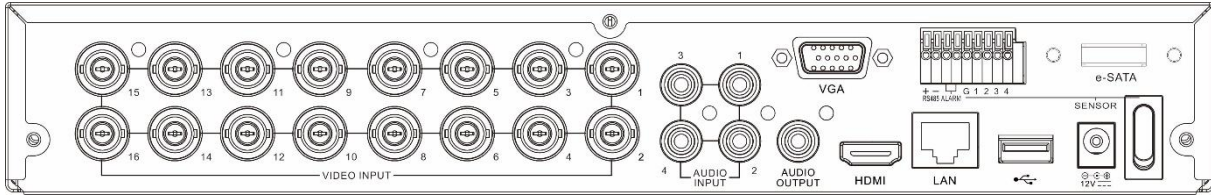
安全上のご注意

人身傷害を防ぎ、機器等の接続機器が破損しないように、以下の項目をよくお読みください。

1. 本製品に付属の「電源アダプタ」と「電源コード」は本製品専用のものです。
必ず本製品のみにお使い下さい。他の機器への転用は保証できません。
2. DVR の開口部を通して、いかなる物も入れないで下さい。
感電やその他の事故を避けるために、DVR の開口部から異物を入れないでください。
3. DVR をほこりだらけの場に入れしないでください。
DVR をほこりだらけの場に入れしないでください。
4. 雨や湿気の多い環境下に機器を設置しないでください。
地下室のような湿気の多い環境下に機器を配置しないでください。機器が誤って水と接触した場合は、電源ケーブルを抜いてすぐに販売店にお問い合わせください。
5. DVR の表面を清潔で乾燥させておく
DVR の筐体をきれいにするためには柔らかい湿った布を使用してください(液体エアロゾルクリーナーを使用しないでください)
6. 問題が見つかった場合は操作しない
DVR から奇妙な臭いや音が聞こえる場合は、電源ケーブルを抜いて、販売店に連絡してください。
7. 上部カバーを取り外さない
警告：感電を避けるために DVR のカバーを取り外さないようにしてください。
8. 注意して取り扱う
DVR をぶつけた為に破損し、正常に動作しない場合は、販売店に連絡してください。
9. 標準リチウム電池を使用する(注:メーカーが取り付け、または指定された電池を使用してください)
電源を切った後、内部時計が動作しない場合は、内部の標準リチウム電池を交換してください。
警告： バッテリーを交換する前に電源を切ってください、感電する可能性があります。
使用済みの電池を適切に処分してください。
10. DVR を換気の良い場所に置く
DVR システムは HDD を搭載しているため発熱しやすくなっております。よって、運転中にシステムを冷却するための換気口(上、底、両側および裏側)を塞がないでください。冷却装置を設置するか、換気の良い場所に設置して下さい。
11. 接続された電源アダプタは、DVR のみに使用してください。
12. 機器を濡らさないで下さい、感電や故障の元になります

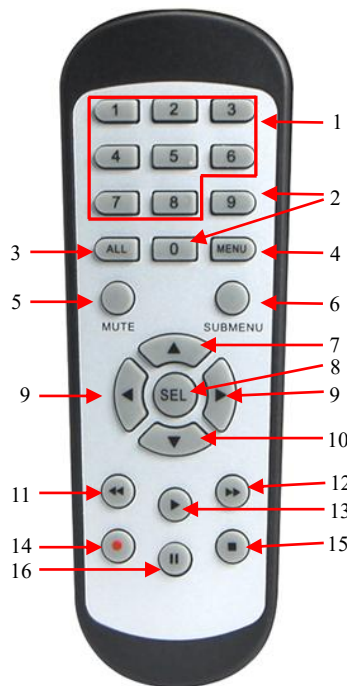
第1章 製品概要

1.1 リアパネル



項目	説明
ビデオ入力	ビデオ入力デバイス、標準 BNC ポートで接続
オーディオ入力	オーディオ入力信号、RCA ポートで接続
オーディオ出力	オーディオ信号出力、RCA ポート
USB ポート	付属のマウスまたは USB フラッシュメモリを接続します。
VGA	VGA 入力を使用してテレビまたはモニターに接続します。
HDMI	HDMI 入力でデジタルテレビやモニターに接続
LAN	ネットワークに接続する
e-SATA	e-SATA HDD に接続して、記録とバックアップを行います。
RS-485	PTZ カメラに接続する
センサーとアラーム	外部センサーおよびアラームデバイスに接続
電源	付属の電源アダプタに接続する
電源スイッチ	電源/オフ電源をオンにする

1.2 リモートコントローラ（オプション）



No.	アイコン	説明
1	1-8	No. ボタン チャンネル1~8を表示する場合
2	9、0	数値キー
3	ALL	すべてのチャンネルを表示するために押します マルチディスプレイモード
4	メニュー	を押してメインメニューを開くか終了するか
5	ミュート	ミュートオン/オフ
6	サブメニュー	サブメニューへ移動
7	▲	上矢印キー;ボリュームの増加
8	SEL	選択したメニュー項目を入力し、設定を編集します
9	◀▶	左/右キー;コントロールバーのパラメータ値を減らす/増やす。
10	▼	下矢印キー;ボリュームの減少
11	◀◀	ビデオ再生中に巻き戻す場合に押す
12	▶▶	ビデオ再生中に早送りする場合に押す
13	▶	録音したビデオを再生するか、録画検索メニューを入力します
14	●	押して手動録音を開始
15	■	手動録画を停止するか、ビデオ再生を停止します
16		押してビデオの再生を一時停止するか、フレーム再生モードに入ります

第2章 DVR のインストールと接続

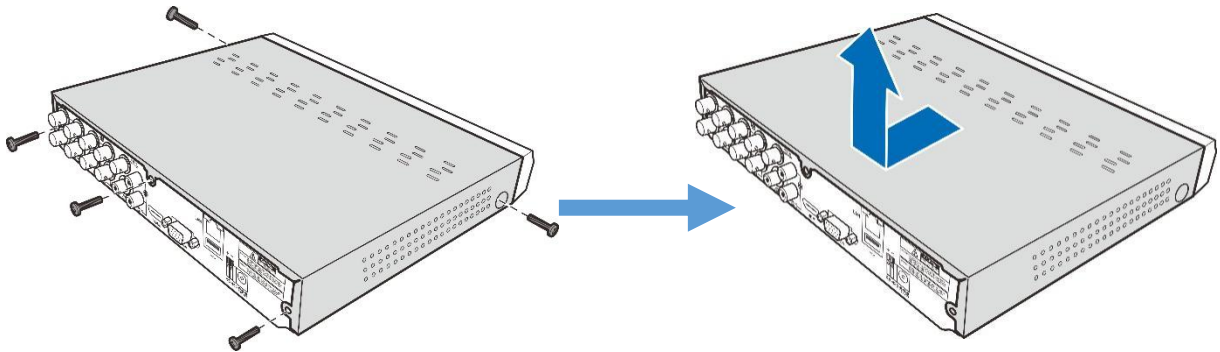
2.1 HDD インストール

購入したパッケージによっては、HDD がパッケージに含まれる場合があります。インストールが済んでいない場合は、このユーザーマニュアルのインストール手順に従ってください。

注意 : DVRの電源がオンになっている間は、HDDの脱着はしないでください。

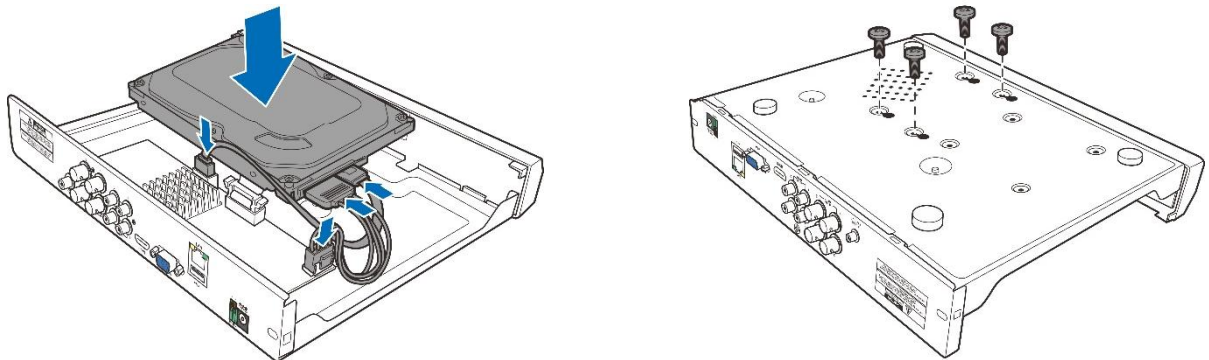
HDDインストール:

(1) 最初に電源を切り、両面と背面パネルのネジを外し、DVRアッパーカバーを開きます。

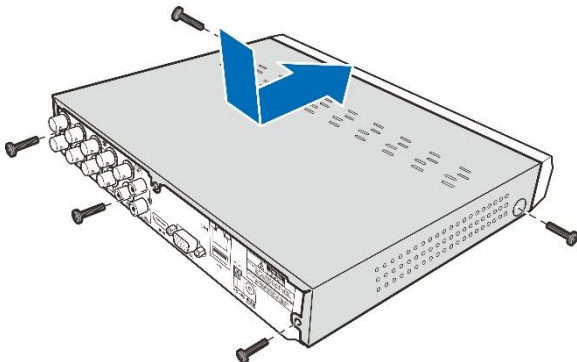


(2) データケーブルと電源ケーブルをHDDに接続し、HDDをDVRケースに置きます。

(3) DVRケースを慎重に反転させ、ネジでHDDをDVRに固定します。

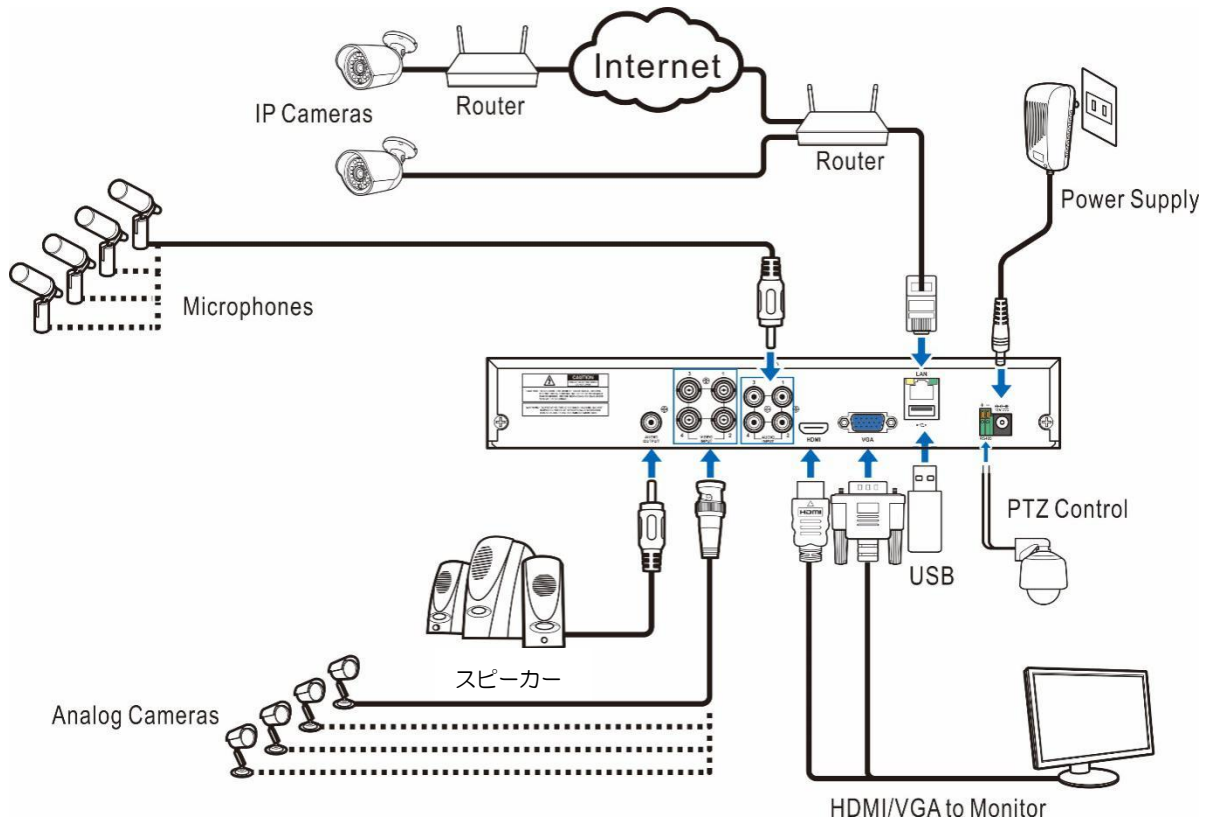


(3) 上部カバーを慎重に戻し、カバーをねじで固定します。



注 : 上記の手順は参考用です。実際の取付けは、購入したDVRによって異なる場合があります。

2.2 接続図

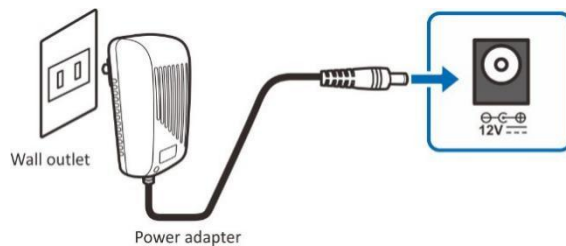


注：上図は参考用です。実際の接続は、購入した DVR によって異なる場合があります。

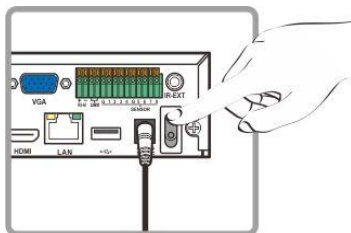
2.3 電源接続

注意：DVR に付属の電源アダプタのみを使用してください。

電源アダプタの一端を DVR 背面の電源コネクタに接続します。電源アダプタのもう一方の端をコンセントに差し込みます。

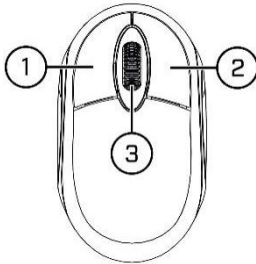


特定のモデルによっては、電源スイッチを押して電源をオンにする必要がある場合があります。



第3章 DVR 共通操作

3.1 付属のマウスを使用する



1. 左ボタン:

- クリックしてメニュー オプションを選択します。
- 分割画面表示でライブ表示中に、チャンネルをダブルクリックすると全画面表示で表示されます。チャンネルをもう一度ダブルクリックすると、画面の表示が分割されます。
- ライブ表示画面でチャンネルをクリックすると、カメラクイックツールバーが開きます。
- クリックして長押しして、メニューモードでスライダーとスケールをドラッグします。

2. 右ボタン:

- 1 回クリックして、ライブ表示画面でタスクバーを開きます。4.2.2 タスクバーにタスクバーを表示する
- メニューで、クリックしてメニューを戻す/閉じます。

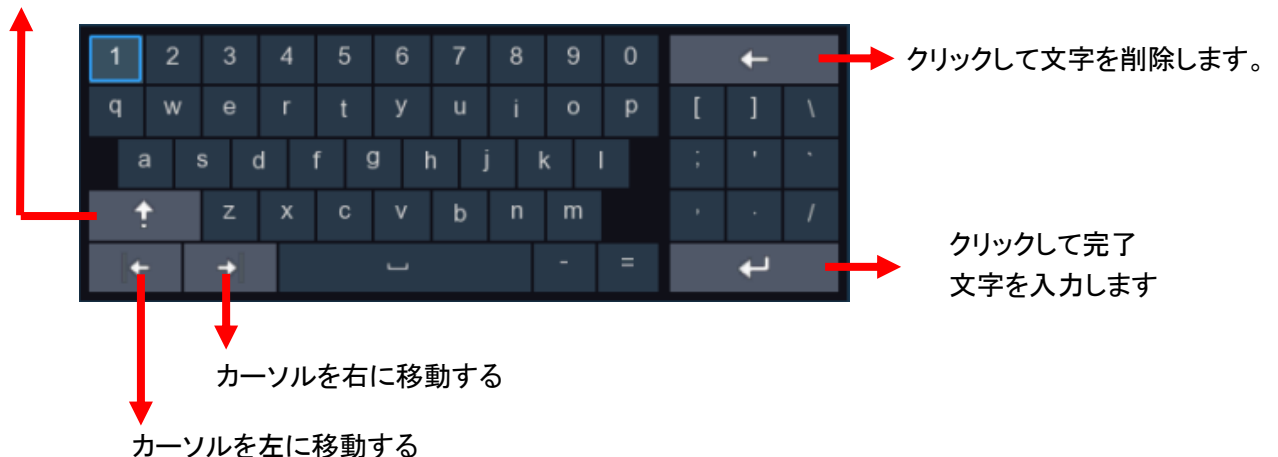
3. スクロールホイール:

- メニューでスクロールして、メニューの内容を上下に移動します。
- ボリュームコントロールホイールの上にマウスを移動しながら、スクロールしてシステムボリュームを上/下にします。

3.2 仮想キーボードの使用

データを入力する必要がある場合は、画面に仮想キーボードが自動的に表示されます

クリックすると、キーボードを大文字と句読点に切り替えます



3.3 パスワード

DVR を 初めて実行する際、プライバシーを保護するために、すぐにパスワードを設定する必要があります。ユーザー名とパスワードを記録し、安全な場所に保存してください。

The screenshot shows a configuration interface with the following fields and options:

- 言語: 日本語 (dropdown menu)
- デバイスID: 000000 (text input) (000000) (text label)
- 新しい管理者名: admin (text input)
- パスワードの強度: [Progress indicator]
- 新しい管理者パスワード: [Redacted] 表示
- パスワードの確認: [Redacted] 表示
- パターンロックを解除します。: 無効 (dropdown menu)
- 適用 (button)

言語: OSD 言語を選択する

デバイス ID: デバイス ID をかっこに入力します。デフォルト ID は 000000 です。デバイス ID の詳細については、5.6.1 General を参照してください。

新しい管理者名: 独自の管理者名を設定します。

新しい管理者パスワード: 自分のパスワードを設定します。パスワードは 8 文字の組み合わせでなければなりません。

新しいパスワードの確認: 新たに設定したパスワードをもう一度。

[適用] をクリックして設定を確認し、ログイン インターフェイスに移動します。DVR システムにログインするには、ユーザー名とパスワードを入力します。

The screenshot shows a login interface with the following fields and options:

- 言語: 日本語 (dropdown menu)
- デバイスID: 000000 (text input) (000000) (text label)
- ユーザー名: admin (dropdown menu)
- パスワード: [Redacted] 表示
- ログイン (button)

注: パスワードを忘れた場合はシステムにログインできませんので、パスワードをリセットするために販売店にお問い合わせください。

第4章 DVR 起動

4.1 ウィザードの起動

スタートアップウィザードは、システムを構成し、DVR を迅速に動作させるために役立ちます。

4.1.1 起動ウィザード

[スタート ウィザード] をクリックして次の手順に進みます。



4.1.2 ネットワーク設定



ルーターに接続して DHCP を使用できる場合は、DHCP ボックスをチェックしてください。ルーターは、DVR のすべてのネットワーク パラメータを自動的に割り当てます。ネットワークが手動でパラメータの下にアドレス指定されていない限り：

IP アドレス： IP アドレスはネットワーク内の DVR を識別します。0 から 255 までの 4 つのグループから成り、ピリオドで区切られます。たとえば、「192.168.001.100」とします。

サブネット マスク: サブネットマスクは、ネットワークで使用できる IP アドレスの範囲を定義するネットワーク パラメータです。IP アドレスが住んでいる通りのようなものであれば、サブネットマスクは近隣のようです。サブネットアドレスは、ピリオドで区切られた 4 つのグループの番号で構成されます。たとえば、「255.255.000.000」。

ゲートウェイ: このアドレスは、DVR がインターネットにアクセスできるようにします。ゲートウェイアドレスの形式は IP アドレスと同じです。たとえば、「192.168.001.001」とします。

DNS1/DNS2: DNS1 はプライマリ DNS サーバーであり、DNS2 はバックアップ DNS サーバーです。通常は、DNS1 サーバーアドレスを入力するだけで十分です。

ポート

Web ポート: これは、DVR にリモートでログインする (Web クライアントを使用するなど) に使用するポートです。デフォルトのポート 80 が既に他のアプリケーションによって取得されている場合は、それを変更してください。

クライアントポート: これは、DVR が (モバイル アプリを使用するなど) を介して情報を送信するために使用するポートです。デフォルトのポート 9000 が既に他のアプリケーションによって取得されている場合は、それを変更してください。

RTSP ポート: これは DVR が他のデバイスにリアルタイムストリーミングを送信することを許可されるポートです (たとえば、ストリーミングメディアプレーヤーを使用)。

UPnP: Web クライアントを使用して DVR にリモートでログインする場合は、ルーターでポート転送を完了する必要があります。ルーターが UPnP をサポートしている場合は、このオプションを有効にします。この場合、ルーターを手動でポート転送を設定する必要はありません。ルーターが UPnP をサポートしていない場合は、ルーターでポート転送が手動で完了していることを確認します。

PPPoE

これは、DVR が DSL モデムを介してネットワークに直接接続することを可能にする高度なプロトコルです。

[PPPoE を有効にする] チェック ボックスをオンにし、PPPoE のユーザー名とパスワードを入力します。

3G

これは、モバイルネットワークを使用する前に、DVR に 3G ドングルを接続する必要があります。

3G オプションを有効にし、3G ドングルデバイスの指示に従って APN、ダイヤルコード、ユーザー名&パスワードを入力します。

4.1.3 日付/時刻

このメニューでは、日付、時刻、日付形式、時刻形式、タイムゾーン、NTP、および DST を設定できます。

日付と時刻

カレンダーアイコンをクリックして、現在のシステム日付を設定します。

日付/時間	
日付と時間	NTP サマータイム
日付	07/01/2024
時間	14:10:48
日付表示形式	MM/DD/YYYY ▼
時間表示形式	24時 ▼
タイムゾーン	GMT+08:00 ▼

日付: カレンダーアイコンをクリックして、システム日付を設定します。

時間: クリックしてシステム時刻を設定します。

日付形式: ドロップダウンメニューから選択して、優先する日付形式を設定します。

時刻形式: 24 時間と 12 時間の間の時間形式を選択します。

タイム ゾーン: 正しいタイムゾーンを設定します。

NTP

NTP はネットワークタイムプロトコルの略です。この機能を使用すると、インターネット経由で DVR の日付と時刻を同期することができます。したがって、DVR はインターネットに接続する必要があります。

日付/時間	
日付と時間	NTP サマータイム
NTP有効	<input checked="" type="checkbox"/>
サーバアドレス	pool.ntp.org ▼
今すぐ更新する	

[NTP]ボックスをオンにし、NTP サーバーを選択します。

サマータイム

DST は夏時間の略です。

The screenshot shows the 'DST' configuration page with the following settings:

- Enable DST:
- Time Offset: 1Hour
- DST Mode: Week
- Start Time: Mar., The 2nd, Sun., 02:00:00
- End Time: Nov., The 1st, Sun., 02:00:00

DST: お住まいの地域で夏時間（DST）が観察される場合に有効にする

時間オフセット: DST のオフセット時間を選択します。

時刻モード: 夏時間を週または日で設定します。

開始時刻/終了時刻: 夏時間の開始時刻と終了時刻を設定します。

4.1.4 IP カメラ

このメニューでは、IP カメラを DVR に追加できます。

The screenshot shows the 'スタートアップウィザード' window with the 'IPカメラ' section. The table below shows the search results:

No.	IPアドレス/ドメイン	ポート
1	192.168.1.101	80

On the right, the channel list shows:

- IP CH1
- IP CH2
- IP CH3
- IP CH4
- IP CH5
- IP CH6

[検索] をクリックして、同じネットワーク内の IP カメラを検索します。追加する IP カメラを選択し、➡ アイコンをクリックして DVR に追加します。

IPアドレス/ドメイン	192.168.1.101
カメラ名	IP CH1
ポート	80
プロトコル	Onvif
ユーザー名	admin
パスワード <input type="checkbox"/> 表示
チャンネルのバインド	IP CH1

検索 初期パスワード 追加

初期パスワード：12345

カメラのユーザー名とパスワードを入力して、カメラを追加します。

また、**+** ボタンをクリックして、個々の IP カメラを 1 つのチャンネルに追加することもできます。

No.	IPアドレス/ドメイン	ポート	製造者	デバイスタイプ	MAC
1	192.168.1.101	80	%E3%82%AB%E3%83%A1%E3%83%A902		00-0F-3

IPアドレス/ドメイン	192.168.1.101
カメラ名	IP CH1
ポート	80
プロトコル	Onvif
ユーザー名	admin
パスワード <input type="checkbox"/> 表示
チャンネルのバインド	IP CH1

検索 初期パスワード 追加 キャンセル

[検索] ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイス一覧の IP カメラの 1 つをクリックします。

IP アドレス/ドメイン: IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名

カメラ名: IP カメラの名前

位置: カメラ名を画面に表示する位置。

ポート: IP カメラのポート

プロトコル: ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します。

ユーザー名: IP カメラのユーザー名

パスワード: IP カメラのパスワード

チャンネルのバインド: アタッチする DVR のチャンネルを選択します。

4.1.5 ディスク



HDD が DVR に初めてインストールされる場合は、フォーマットする必要があります。HDD を選択し、[HDD のフォーマット] ボタンをクリックして HDD をフォーマットします。

上書き: HDD がいっぱいになったときに、HDD の古い録画を上書きするには、このオプションを使用します。たとえば、オプション 7 日間を選択した場合、HDD 上の残りの 7 日間の録画のみが保持されます。古い録画が上書きされないようにするには、[無効にする] を選択します。この機能を無効にしている場合は、HDD の状態を定期的に確認して、HDD が満杯でないことを確認してください。

eSATA で録画: DVR に背面パネルに e-SATA ポートが付属している場合は、ビデオを e-SATA HDD に記録することができます。

4.1.6 解像度

モニターに一致する出力解像度を選択します。DVR は、システムの起動時にモニターの最適な解像度に合わせて出力解像度を自動的に調整することをサポートしています。



4.1.7 モバイル

DVR に P2P ID が付属している場合は、モバイルアプリで QR コードをスキャンして DVR をリモートで表示できます。



4.1.8 概要

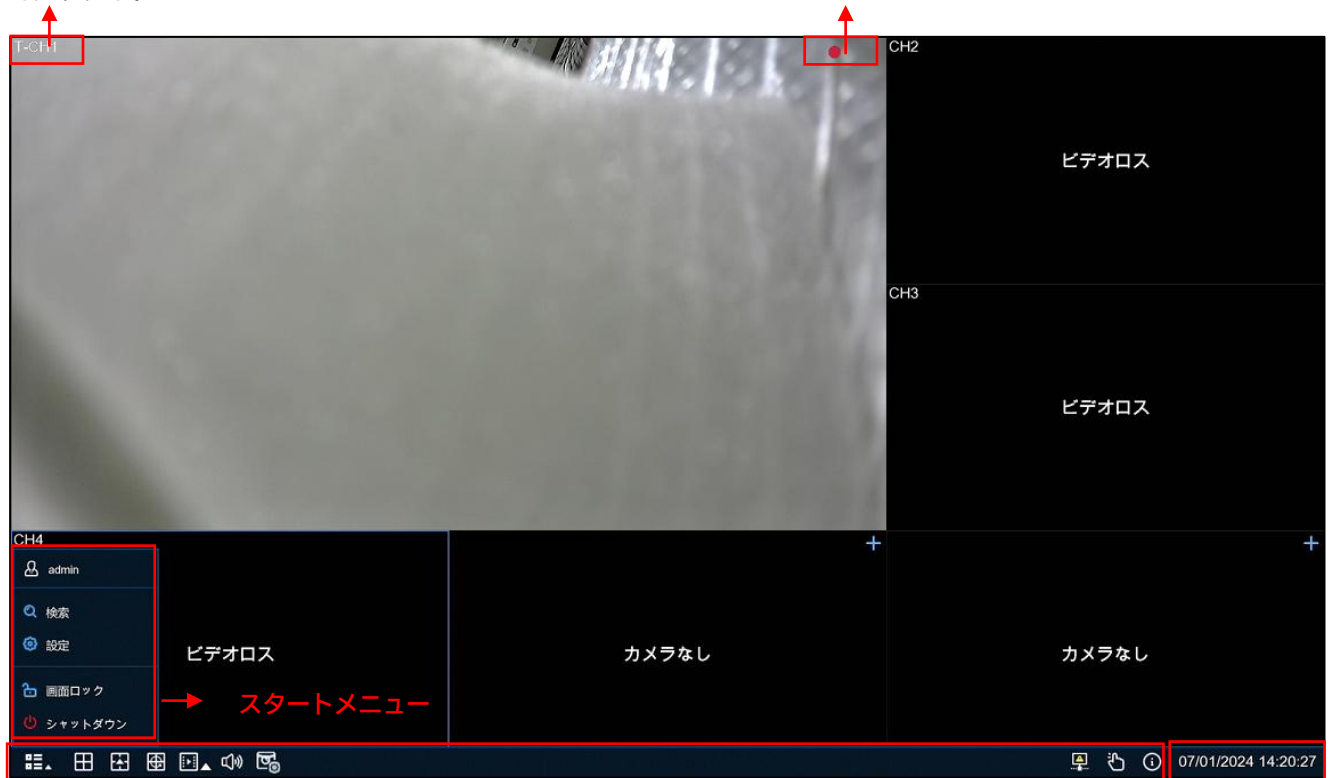
開始ウィザードで設定したシステムの概要情報を確認し、ウィザードを終了できます。次回システムを再起動するときにウィザードの起動を表示しない場合は、[次回はこのウィンドウを表示しない] チェック ボックスをオンにします。[完了] ボタンをクリックして保存して終了します。



4.2 ライブビュー画面の概要

カメラタイトル

ステータスアイ



カメラクイックツールバー

カメラタイトル

カメラタイトルを表示するには


A-: これは、接続されているカメラが AHD カメラであることを示します。


T-: 接続されているカメラが TVI カメラであることを示します。


C-: これは、接続されているカメラが CVI カメラであることを示します。


IP: 接続されているカメラが IP カメラであることを示します


ステータスアイコン


 これは、DVR が現在録画中であることを示します。


 このアイコンは、カメラが動きを検出したときに表示されます。

 このアイコンは、外部 I/O アラームデバイスが検知されていることを示します。

 このアイコンは、HDD が動作するためにエラーであることを示します

 このアイコンは、HDD がフォーマットされていない状態であることを示します。


 このアイコンは、HDD がいっぱいであることを示します。


 このアイコンは、HDD が読み取り専用であることを示します。

ビデオロス：アナログカメラが切断されています。

カメラなし：IP カメラが接続解除されています。

デコードに失敗しました：DVR は、この種の IP カメラ圧縮規格をサポートしていません。


 クリックしてクイック追加メニューを開き、IP カメラを追加します


 クリックして現在の IP カメラを編集します


4.2.1 カメラクイックツールバー


ライブ表示で、接続されているカメラ上でマウスの左ボタンをクリックすると、カメラのクイックツールバーが表示されます。






 クリックすると、すぐに手動でチャンネルを記録できます。手動で録音が行われると、アイコンは赤い色になります。手動でのレコードを停止するには、もう 1 回クリックします。

 クリックすると、現在のカメライメージのスナップショットが保存されます。この機能を使用するには、手動キャプチャを有効にする必要があります。手動キャプチャを有効にする方法の詳細については、5.2.3.1 キャプチャを参照してください。

 クリックすると、このチャンネルの最新の 5 分の録画を再生します


 クリックして PTZ コントロールパネルに入ります


 クリックすると、チャンネルが拡大表示されます。アイコンが表示されたら、マウスの左ボタンを押したままにして、拡大したい領域をドラッグします。


 クリックしてチャンネルの画像の色を調整します。画像の色相、明るい、コントラスト、彩度を調整できます。


4.2.2 タスクバー




 クリックして【スタート】メニューを開きます


 ライブビュー用に別のレイアウトを選択するにはクリックします


 ライブビュー用のレイアウトを選択するには、ここをクリックします

 クリックすると、チャンネルの順番での表示が開始されます。


 クイック再生。あなたは、一日の初めからすべてのチャンネルの最新の録音を再生するか、最新の5s、10s、30s、1Min、5分から再生を選択することができます。


 クリックして音量を調節します

 クリックすると、すべてのIPチャンネルをメインストリームとサブストリーム（ライブビュー解像度）の間で切り替えます。

 クリックすると、リアルタイム、バランス、スムーズなビューを切り替えることができます。表示エフェクトモードは、ライブビューのビデオ品質にビットレートとフレームレートだけ影響しますが、記録品質には影響しません。

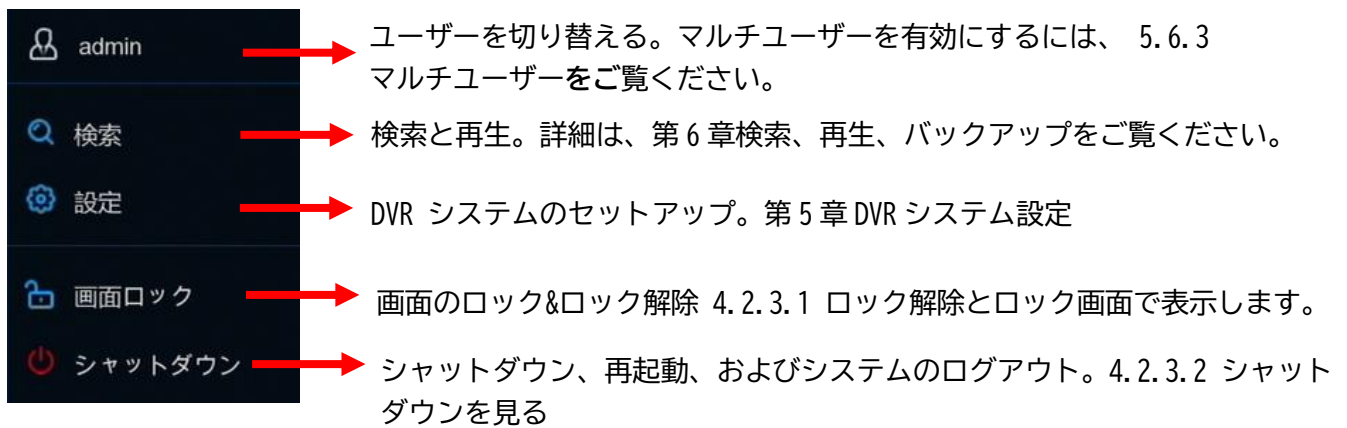
 手動アラームと手動録画のスタート/ストップ

 システムインフォメーション、チャンネルインフォメーション、レコード情報とネットワーク状態を表示します。

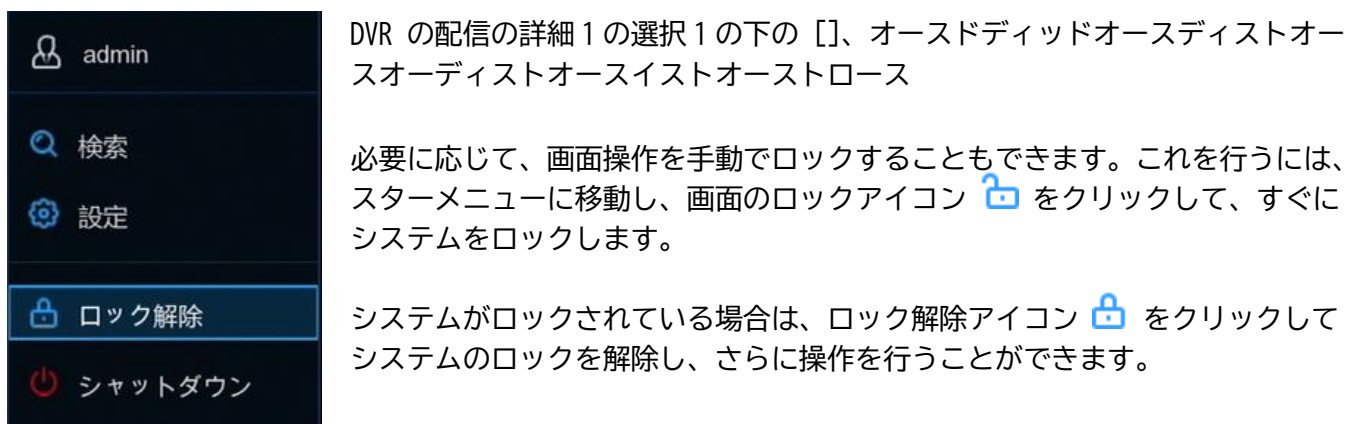
 ネットワークが切断されると、このアイコンが表示されます。

4.2.3 スタートメニュー

スタートメニューを使用すると、ユーザーを切り替えたり、検索&再生したり、システム設定メニューに入り、画面をロック/ロック解除したり、シャットダウン、再起動、ログアウトしたりできます。



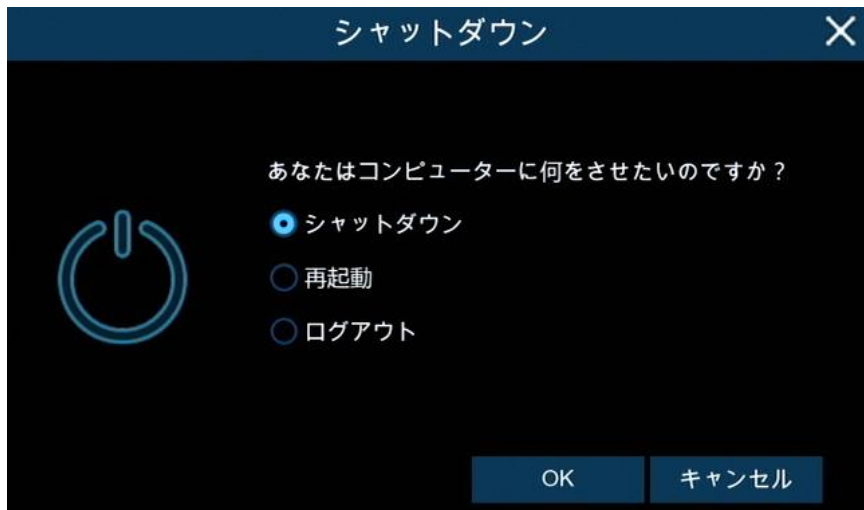
4.2.3.1 画面のロック解除とロック



4.2.3.2 シャットダウン



スターメニューから[シャットダウン]ボタンをクリックし、移動したい追加のアクションを確認します。[OK]ボタンをクリックすると、システムは認証のために管理者パスワードを入力する必要があります。



システムのログアウトを選択すると、ライブ表示画面が消えます。さらに操作を行うには、システムにログインする必要があります。

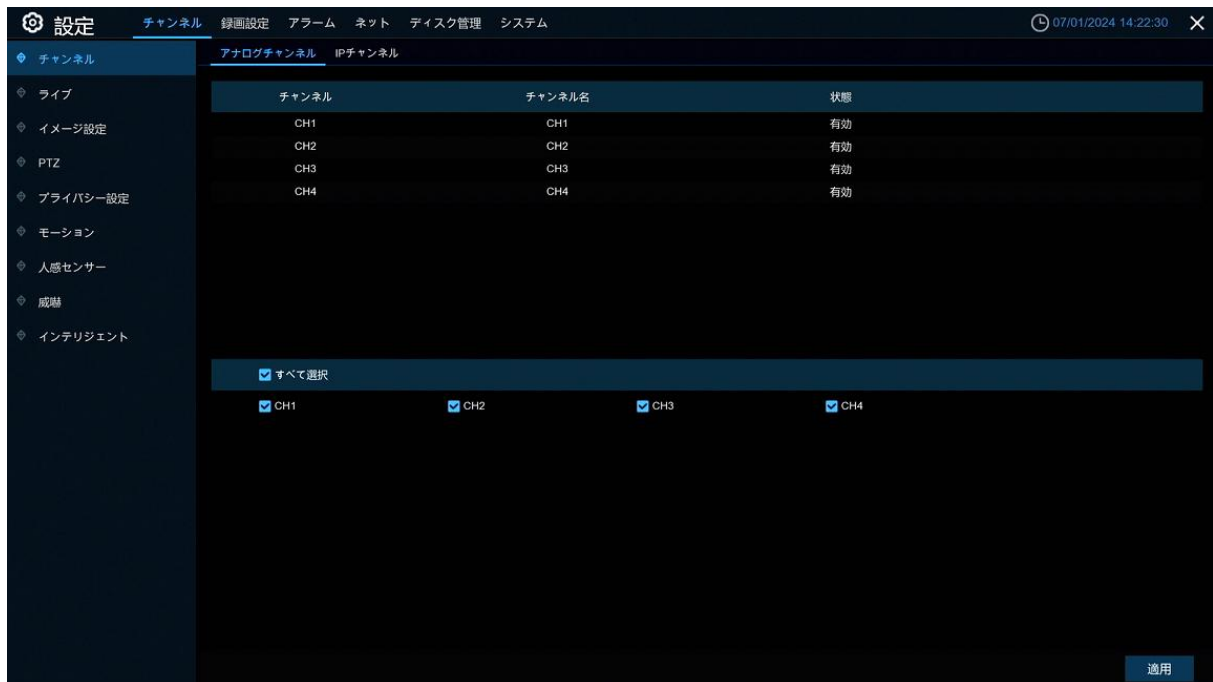
第5章 DVR システムのセットアップ

[スタート] メニューの設定から、チャンネル、レコード、アラーム、ネットワーク、デバイス、システムの DVR を設定できます。

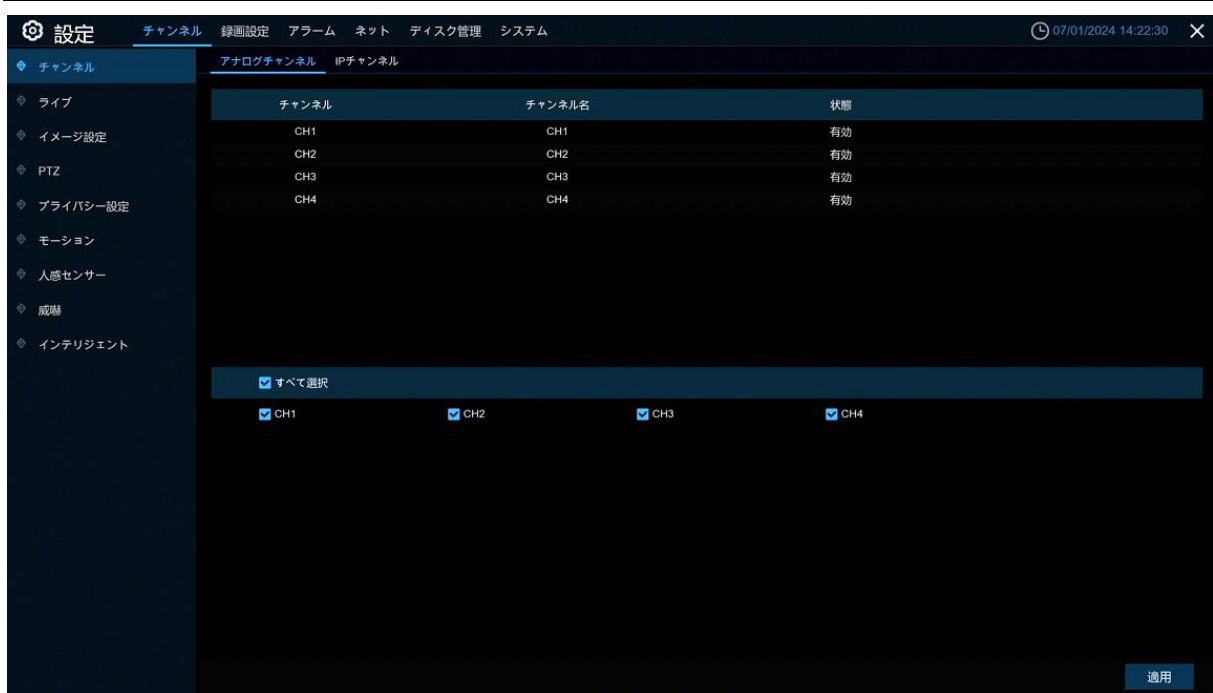


5.1 チャンネル

このセクションでは、カメラの設定、ライブビュー表示、IPカメラの管理、IPカメラの画像の調整、PTZ設定、モーション設定、変換モードなどを行うことができます。



5.1.1 チャンネル

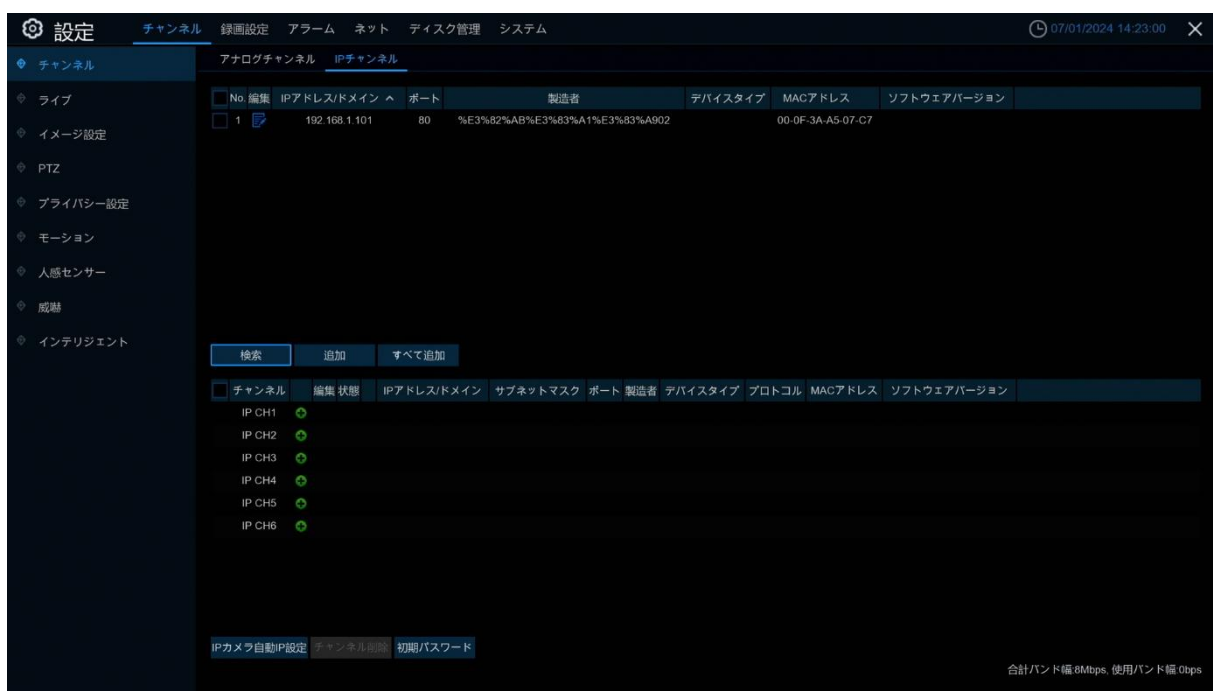


5.1.1.1 アナログチャンネル

DVRは、アナログチャンネルを無効にしてIPチャンネルを増やすことをサポートしています。アナログチャンネルを無効にする場合は、チェックボックスをオフにして[Apply]をクリックして保存します。アナログチャンネルを無効にするには、IPチャンネル入力を増やすことができます。これを行うには、システム→一般→モードで[XVRモード]を有効にする必要があります

5.1.1.2 IPチャンネル

DVRのXVRモードを有効にすると、IPカメラの追加やIPチャンネルの変更がサポートされます



[ローカルネットワークから IP カメラを検索する] をクリックし、[追加] をクリックして個々の IP カメラを追加し、[すべて追加] をクリックしてすべての IP カメラを追加します。

IPアドレス/ドメイン	192.168.1.101
カメラ名	IP CH1
ポート	80
プロトコル	Onvif
ユーザー名	admin
パスワード	admin <input checked="" type="checkbox"/> 表示
チャンネルのバインド	IP CH1

検索 初期パスワード 追加 キャンセル

[検索] ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイス一覧の IP カメラの 1 つをクリックします。

IP アドレス/ドメイン: IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名

カメラ名: IP カメラの名前

位置: カメラ名を画面に表示する位置。

ポート: IP カメラのポート

プロトコル: ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します。

ユーザー名: IP カメラのユーザー名

パスワード: IP カメラのパスワード

チャンネルのバインド: 運用する DVR のチャンネルを選択します。

カメラへの IP の自動割り当て: 追加された IP カメラは、その IP アドレスが DVR と同じネットワークセグメントに存在しない場合は接続できません。この機能を使用して、追加されたすべての IP カメラに IP アドレスを再割り当てします。

チャンネル削除: 1 つまたは複数の IP カメラを削除するには、このボタンをクリックします。

5.1.1.3 プロトコル管理

プロトコル管理を使用すると、IP カメラ接続用の独自の RTSP プロトコルを編集できます。

The screenshot shows the 'Protocol Manage' configuration page. The left sidebar contains navigation options: Channel, Live, Image Control, PTZ, Motion, Video Cover, and Intelligent. The main content area is titled 'Protocol Manage' and includes the following fields:

- Custom Protocol: Custom Protocol1
- Protocol Name: Custom 1
- Stream Type: Mainstream (selected), Substream
- Enable Substream:
- Type: RTSP (selected) for both Mainstream and Substream
- Port: 554 for both
- Resources Path: rtsp://192.168.1.150:554/ch01/0 for Mainstream, rtsp://192.168.1.150:554/ch01/1 for Substream

Example :
[type]//[IP address][port][resources path]
rtsp://192.168.0.1:554/resourcesPath

カスタムプロトコル: システムサポートの最大値。10 カスタムプロトコルオプション。

プロトコル名: カスタムプロトコルに名前を付ける。

サブストリームを有効にする: 有効にする場合は、チェックボックスをオンにします。

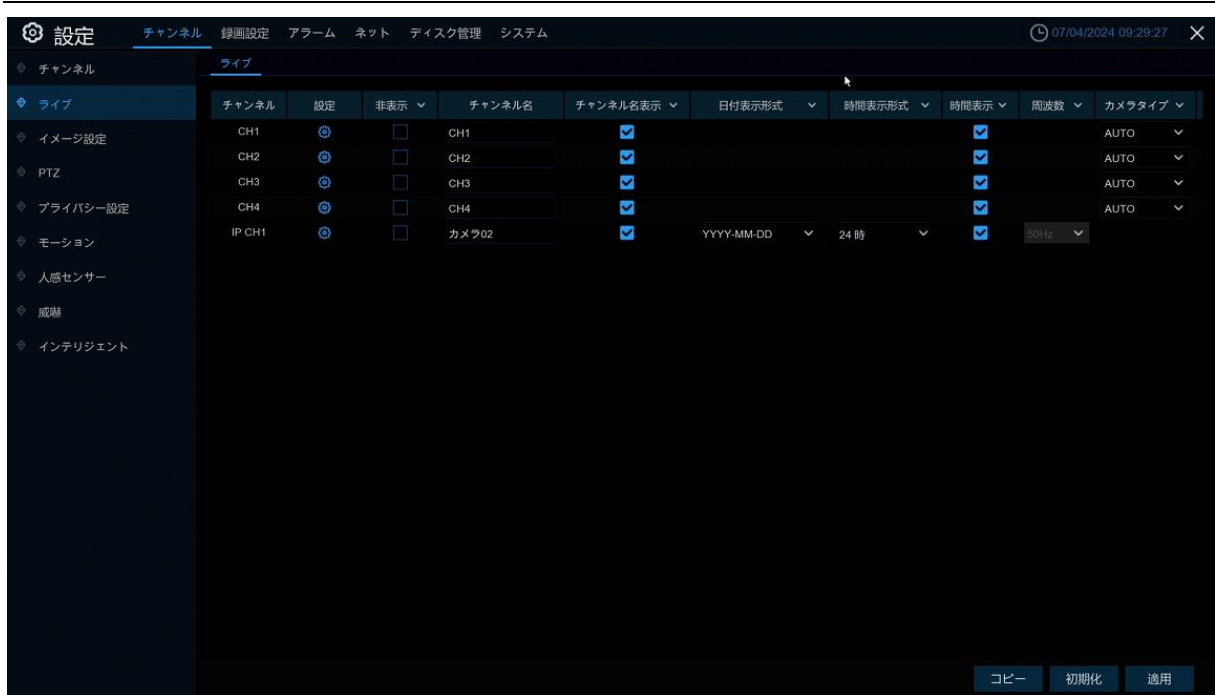
タイプ: 現在は RTSP のみ利用可能です。

ポート: IP カメラの RTSP ポートを入力します。


リソースパス: IP カメラの RTSP アドレスを入力します。

5.1.2 ライブ

カメラパラメータを設定します。



チャンネル： 表示させるチャンネル名を再生します。

設定：  セットアップページにアイコンをクリックします。

チャンネル	CH1	→	カメラチャンネルを選択する
チャンネル名	CH1	→	カメラの名前
日付表示形式	MM/DD/YYYY	→	日付形式。(IPカメラのみ有効)
時間表示形式	24 時	→	時刻形式。(IPカメラのみ有効)
カメラタイプ	AUTO	→	選択カメラのタイプ。(アナログカメラのみ)
<input type="checkbox"/> 非表示		→	チェックボックスをオンにする このチャンネルのライブ画像を非表示
<input checked="" type="checkbox"/> チャンネル名表示		→	ライブビュー画面でカメラ名を表示するには
<input checked="" type="checkbox"/> 時間表示		→	システム時刻をライブビュー画面で表示するには
色相	125	→	画像の色相の値を調整する
明るさ	130	→	画像の色の明るい値を調整する
コントラスト	132	→	イメージカラーのコントラスト値を調整する
彩度	100	→	イメージカラーの彩度値を調整する
シャープネス	64	→	イメージカラーの輪郭を調整する
初期化			

デフォルト設定をロードするには[デフォルト]をクリックし、設定を保存するには[適用]をクリックし、マウスの右ボタンをクリックして終了します。

5.1.3 イメージコントロール

このメニューでは、サポートされている IP カメラのイメージ設定を制御できます。



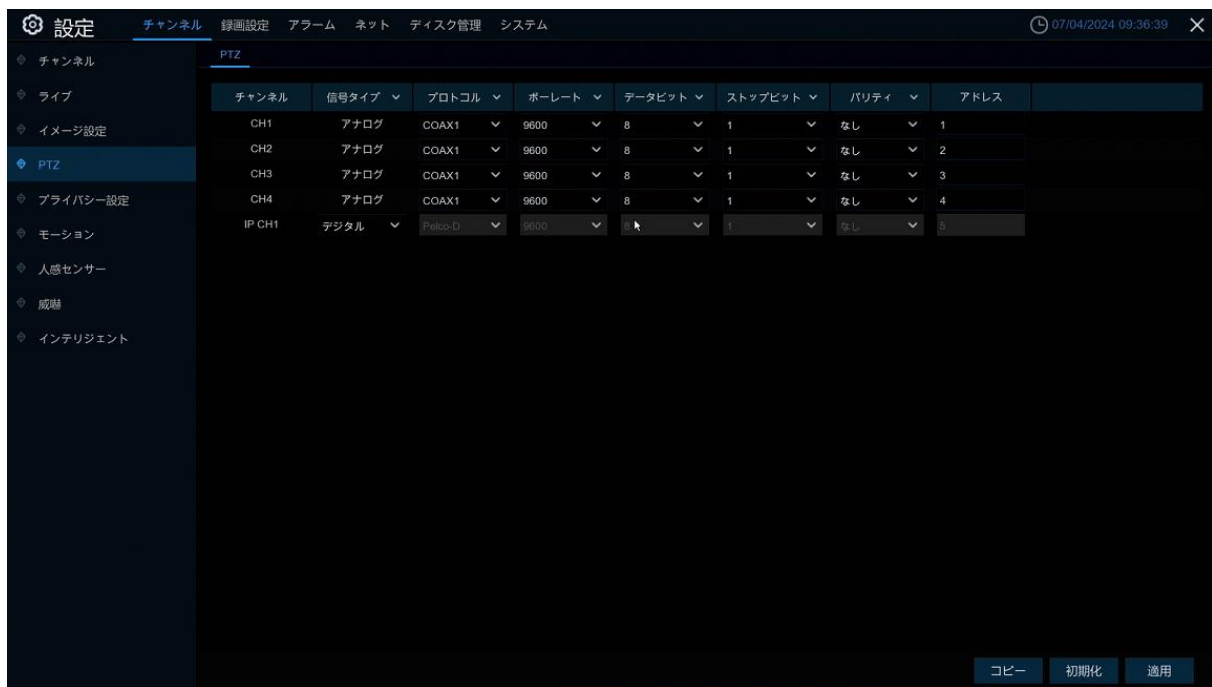
チャンネル: チャンネル名。

設定: セットアップページにアイコンをクリックします。

Channel	CH17	構成するチャネルを選択する
IR-CUT Mode	GPIO Auto	カメラが昼夜の両方で正しく動作することを確認するために、内蔵のIRカットフィルタモードを選択します。
IR-CUT Delay	2	IRカットフィルターのスピードを変更致します。
<input type="checkbox"/> Lens Flip	<input type="checkbox"/> Angle Flip	レンズの反転を有効にする場合にチェック
Angle Trad	0	反転角度を設定する
Back Light	Enable	バックライト補正を有効または無効にするには
BLC Level	Low	バックライト補正レベルを選択する
3D Noise Reduction	Auto	3D ノイズリダクション機能を有効または無効にするには
Level	128	3D ノイズリダクション レベルを設定する
WDR	Enable	明るい光源で暗闇の中で撮影するとき、自動的にビデオの明るさとコントラストを調整することを可能にします。
Level	128	WDRのレベルを調整する
AGC	Middle	自動ゲイン制御
White Balance	Auto	ホワイトバランスの構成
Shutter	Auto	シャッターモードを設定する
Time Exposure	1/8	カメラの露出時間を選択する
Defog Mode	Auto	ビデオ品質を向上させるために霧の環境で使用

5.1.4 PTZ

このメニューでは、ドームカメラのPTZ(パンチルトズーム)設定を行うことができます。



チャンネル: チャンネル名

信号タイプ: アナログチャンネル、アナログ HD&IP チャンネル表示。

プロトコル: PTZ 対応カメラと DVR の間の通信プロトコルを選択します。カメラが UTC (Up the Coax) 機能をサポートしている場合は、COAX1 または COAX2 を選択してカメラの OSD メニューを表示するか、UTC PTZ 機能を制御することができます。

ボーレート: DVR から PTZ 対応カメラに送信される情報の速度。PTZ 対応カメラの互換性レベルと一致していることを確認します。

データビット/ ストップビット: DVR と PTZ 対応カメラの間の情報は、個別のパッケージで送信されます。データビットは送信されたビット数を示し、エンドビットはパッケージの終了と次の（情報）パッケージの先頭を示します。データビットで使用可能なパラメータは、8、7、6、5 で、ストップビット で使用できるパラメータは 1 または 2 です。

パリティ: エラー チェック用です。この設定を構成するには、PTZ 対応カメラのマニュアルを参照してください。


クルーズ: クルーズモードを使用できます。クルーズモードを使用するには、プリセットポイントを設定する必要があります。

アドレス: PTZ システムのコマンドアドレスを設定します。PTZ 対応カメラは、それぞれ単一のアドレスを必要とします。

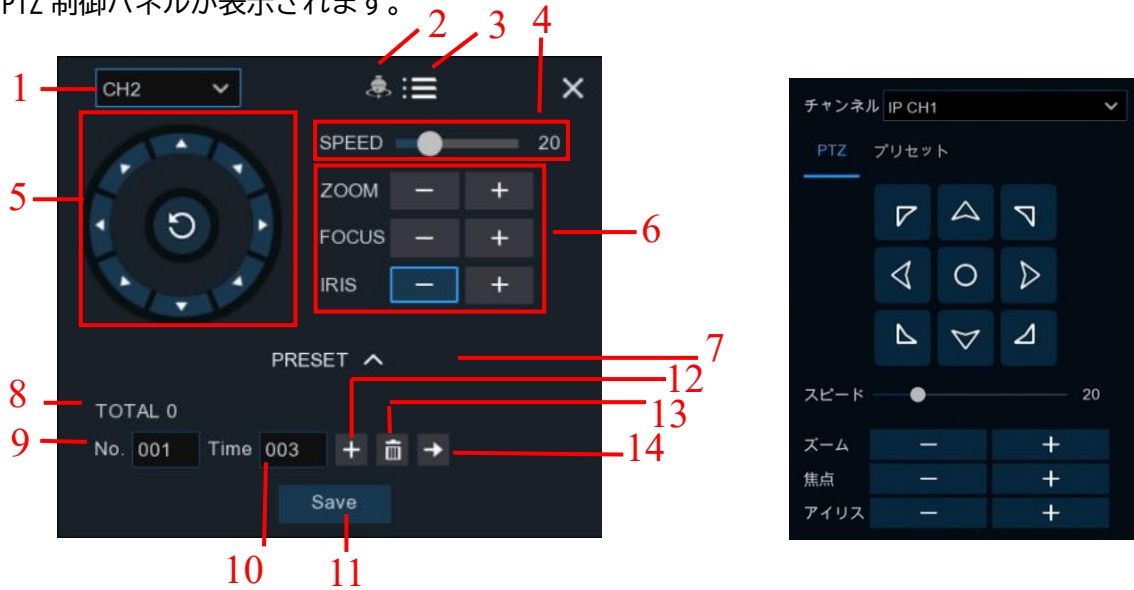
5.1.4.1 PTZ 制御

PTZ のセットアップが終了したら、PTZ 機能を使用して PTZ カメラを制御できます。


1) ライブ表示画面のチャンネルでマウスを左クリックして[カメラクイックツールバー]を開き

PTZ コントロールアイコン  を選択します。

2) PTZ 制御パネルが表示されます。

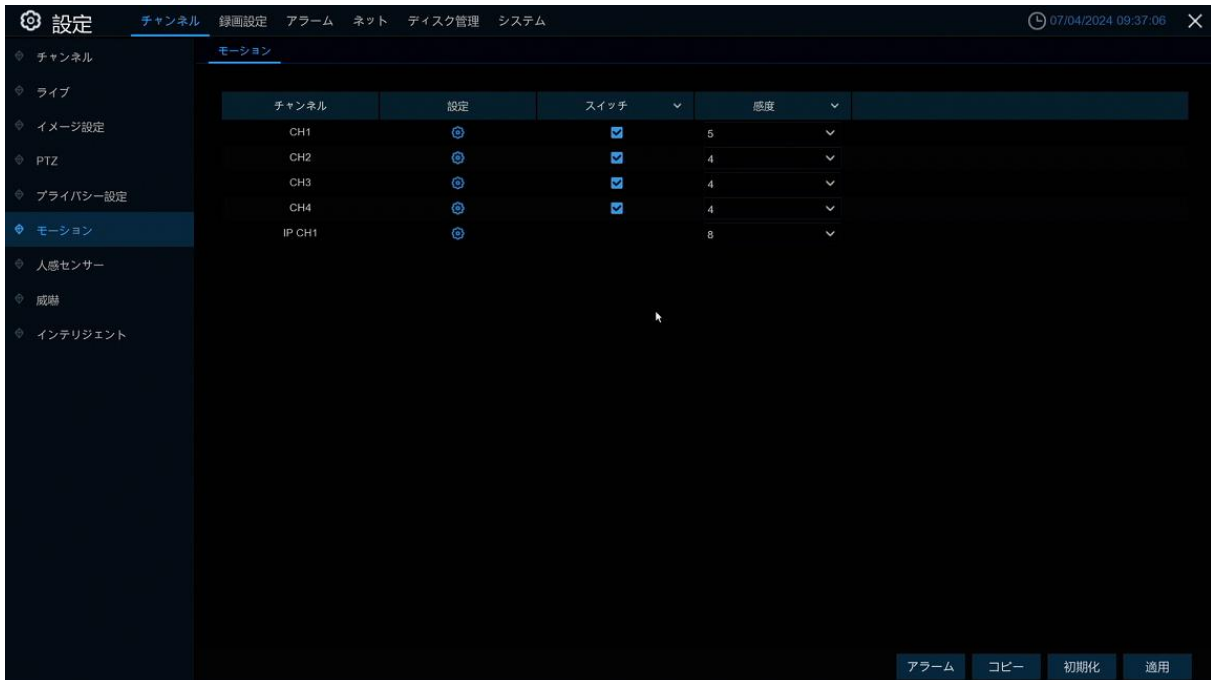



No	アイコン	項目	説明
1		チャンネル	PTZ カメラのチャンネルをクリックして選択します。
2		クルーズ	プリセットポイントで PTZ クルーズを開始/停止します。5.1.4 PTZ でこのチャンネルのクルーズ機能を有効にしたことを確認します。
3		UTC メニュー	このチャンネルのプロトコルを COAX1 または COAX2 として選択した場合は、UTC メニューボタンが表示されます。このアイコンをクリックすると、UTC OSD メニューに入ります。また、UTC OSD メニューで選択する確認ボタンでもあります。
4	速度	速度	PTZ 速度を調整する
5		ポインタ パネル	A) 方向矢印をクリックして PTZ カメラの方向を選択します。 B) 上/下/左/右矢印をクリックして、UTC OSD メニューでカーソルを移動します C) クリック して自動パンモードに切り替えます
6	- ズーム +	ズーム	クリックすると、ズームイン/ズームアウトします。
	-フォーカス +	フォーカス	クリックしてフォーカスを調整します
	- アイリス +	アイリス	クリックして虹彩の設定を調整します
7		プリセッ ト	プリセットポイントパネルを表示または非表示にするには
8	合計	合計	プリセットポイントの合計数を表示する
9	No	No	プリセットポイントの数
10	時間	時間	カメラがプリセットポイントに留まる時間を設定する
11	保存	保存	クリックして設定とプリセットポイントを保存します
12		設定	特定のプリセットポイントの番号を入力し、このボタンをクリックして、PTZ カメラをプリセットポイントに移動します。
13		削除	クリックすると、選択したプリセットポイントが削除されます

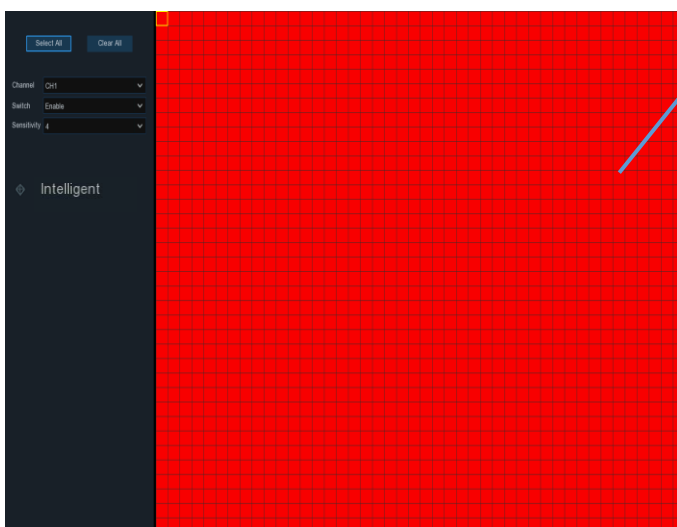
14		進む	PTZ カメラの特定のプリセットポイントを設定する場合にクリックします。 DVR には、最大 255 のプリセットポイントを追加できます。
----	---	----	--

5.1.5 モーション

このメニューでは、モーションパラメータを設定できます。動きが検出された場合 DVR は脅威を警告します。これは(このオプションが有効になっている場合)参照として使用するカメラからの添付画像を含む電子メールアラートを送信し、モバイルアプリを介して通知を送信することによって行われます。



設定:  セットアップページにアイコンをクリックします。



動き検出領域:

画面全体が動き検出用(赤いブロック)としてデフォルトとしてマークされます。特定の領域でモーション検出を無効にする場合は、グリッド カーソルをクリックし、マウスをドラッグしてスコープをハイライト表示し、透明ブロックにエリアのマークを解除します。設定が完了したら、マウスの右ボタンをクリックして戻り、[保存]をクリックしてエリア設定を有効にします。

切り替え: モーション検出を有効または無効にします。

感度: 感度レベルを設定します。レベル 1 は最低感度レベルで、レベル 8 は最高感度レベルです

アラームボタンをクリックし、モーション検知アラーム機能を設定します：

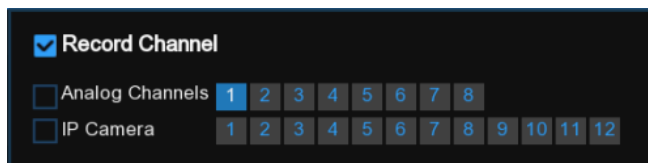


ブザー:DVR は、アラーム音を発するため、その内部ブザーを使用することができます。モーションが検出された場合、ブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラームアウト:オプション機能。外部アラームデバイスに接続する場合は、アラーム音を発するように設定できます。

ラッチ時間:動きが検出された場合の外部アラーム時間を設定します。

記録: アイコン をクリックして、モーション検出がされたときに記録するチャンネルを選択します。



録画後: イベント発生後、DVR が録画を継続する期間を設定できます。推奨される録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージを表示 :モーションが検出されたときにライブビュー画面に アイコンを表示するチェックボックスをオンにします。

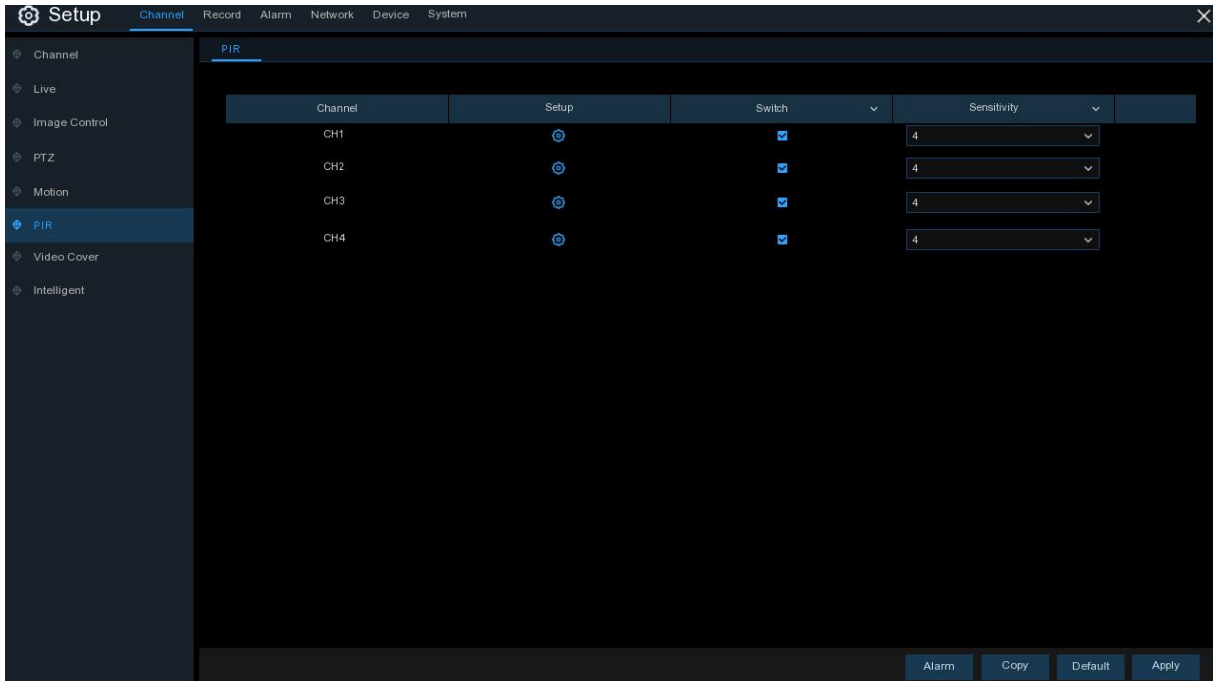
メールを送信: モーションが検出されたときに、DVR に自動メールを送信させることができます。

全画面: この機能が有効で、チャンネルでモーションが検出されると、そのチャンネルが全画面表示されます。

FTP Upload: モーションが検出されたときに FTP サーバーにアラーム画像をアップロードします。FTP を有効にするには、 5.4.4 FTP を参照してください。


5.1.6 PIR

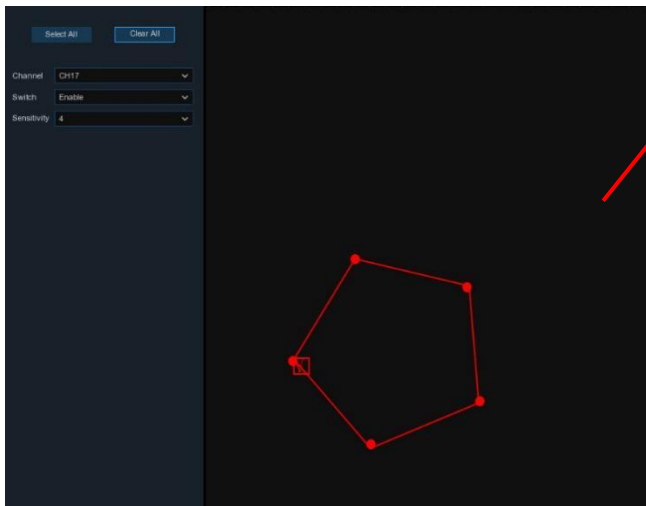
これはオプションの関数です。カメラに PIR 機能がある場合は、ここで PIR 記録を設定できます。



スイッチ: PIR 記録を有効または無効にします。

感度: 感度レベルを設定します。レベル 1 は最低感度レベルで、レベル 8 最高感度レベルです。

設定:  セットアップページにアイコンをクリックします。



PIR 検出エリア:

カメラの画面全体を PIR 検出領域として設定するには、[すべて選択] をクリックします。[すべて削除] をクリックして、領域をクリアします。

画面に五角形を描いて、画面内の領域を設定することもできます。

エリアのサイズを編集する場合は、ボックスをチェックして位置を変更してください。

設定が完了したら、マウスの右ボタンをクリックして戻り、[保存] をクリックしてエリア設定を有効にします。

[アラーム] ボタンをクリックして、PIR 検出アラームを設定します:

Channel	Buzzer	Alarm Out	Latch Time	Record	Post Recording	Show Message	Send Email	Full Screen
CH1	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH2	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH3	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH4	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH5	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH6	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH7	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH8	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IP CH1	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IP CH4	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Copy Default Save

ブザー :アラーム音を発するために、その内部ブザーを使用することができます。PIRが検出された場合、ブザーの持続時間を秒単位で設定できます。

アラームアウト:外部アラームデバイスに接続する場合は、アラーム音を発するように設定できます。

ラッチ時間:PIR 検出が検出された場合の外部アラーム時間を設定します。

記録: アイコン をクリックし、PIR 検出が検出されたとき、記録するチャンネルを選択します。

Record Channel

Analog Channels 1 2 3 4 5 6 7 8

IP Camera 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

録画後: イベント発生後、DVR が録画を継続する期間を設定できます。推奨される録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージを表示: チェックボックスをオンにすると PIR アラームが検出されたときに、PIR をライブ画面表示させます。

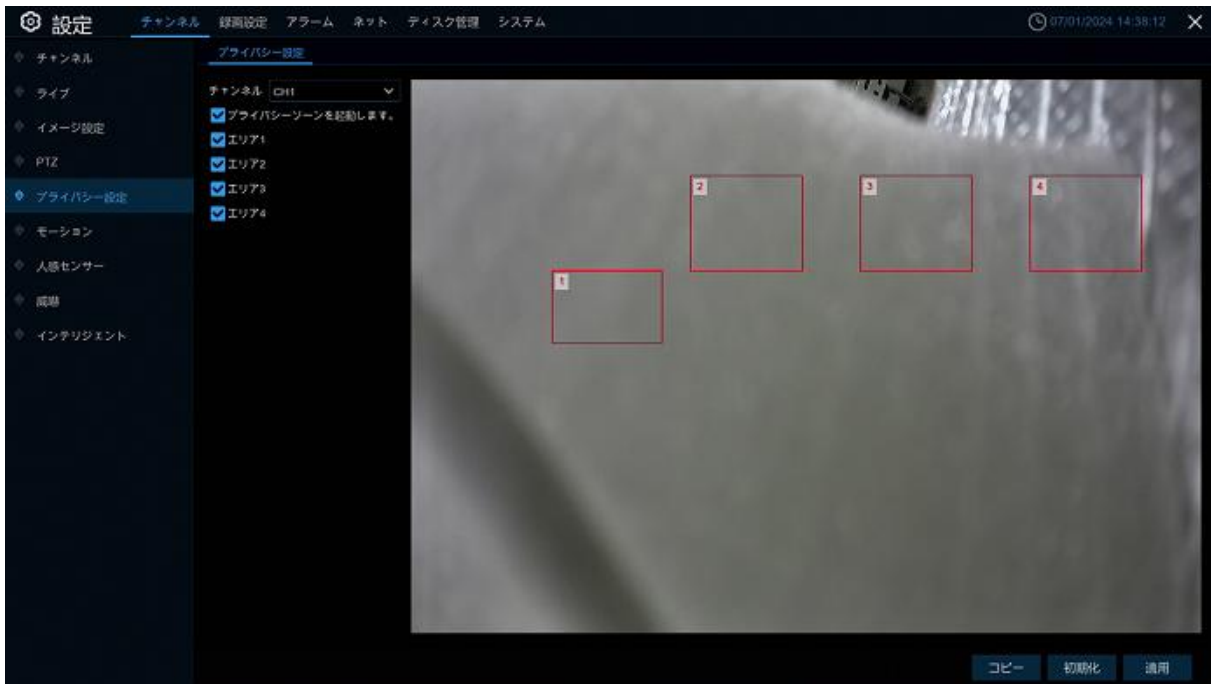
メールの送信: PIR 検出されたときに、自動メールを送信させることができます。

全画面: この機能が有効で、PIR がチャンネル内で検出されると、そのチャンネルが全画面表示されます。

5.1.7 プライバシーマスク

このメニューでは、画像の一部を部分的にカバーする場合にプライバシーゾーンを作成できます。カメラ画像上の任意のサイズと場所で最大 4 つのプライバシーゾーンを作成できます。プライバシーゾーンを有効にして、必要なゾーン数を選択します。ゾーンは「赤いボックス」として

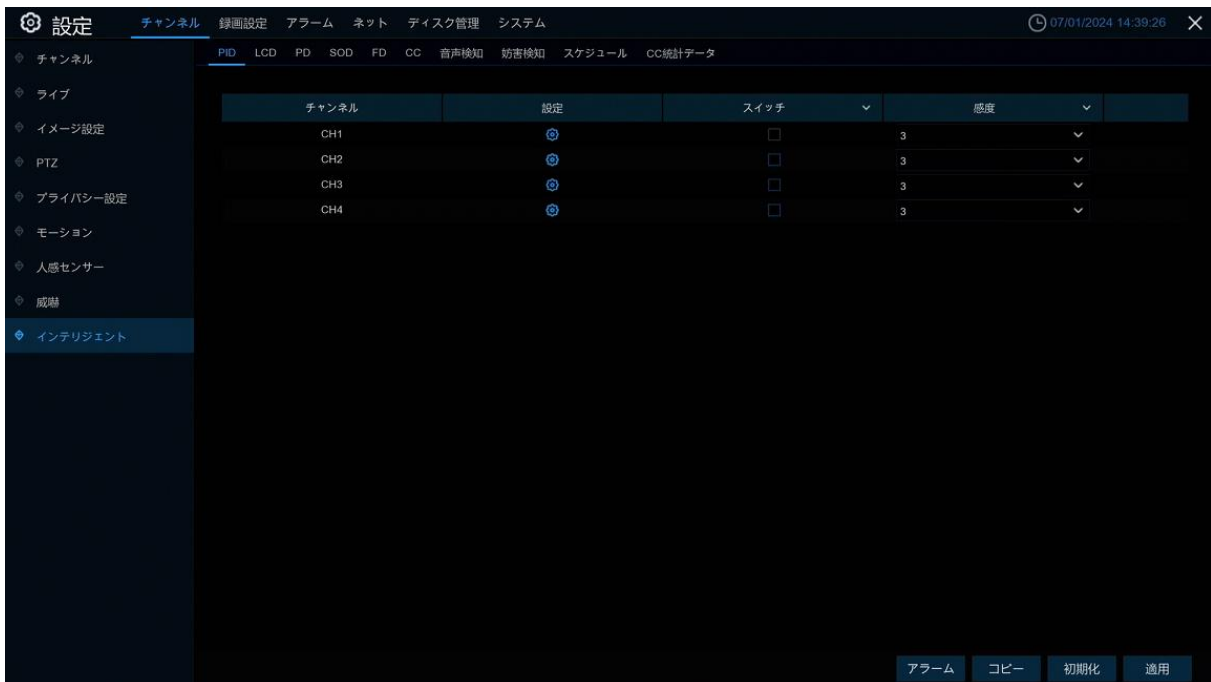
表示されます。赤いボックスの端をクリックし、任意のサイズにドラッグしてプライバシーゾーンを作成します。



注：設定したプライバシーゾーンの領域は、ライブビューと録画ビデオの両方で非表示になります。

5.1.8 インテリジェント（AI）

オプションのインテリジェント機能には、境界侵入検知、ライン交差検出、静止物体検出、歩行者検出、顔検出、およびクロスカウンティングを含む。



5.1.8.1 PID（境界侵入検知）エリア浸入

境界侵入検知機能は、事前定義された仮想領域に出入りする人、車両、その他のオブジェクトを検出し、アラームが検出されたときに特定のアクションを実行できます。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

スイッチ: PID 機能を有効または無効にする

ブザー: 検出されたときに10、20、40または60秒でアラーム音を発するためにブザーを無効にするか、または有効にする

センシティブ: 感度レベルは 1~4です。感度が高いほど、検出しやすくなります。

シーン: シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラが設置されている場所と一致するシーンを選択してください。

録画後: イベント発生後、DVR が録画を継続する期間を設定できます。

ラッチ時間: 検出された場合の外部アラーム時間を設定します。

アラームアウト: 外部アラームデバイスに接続する場合に、アラーム音を発するように設定できます。

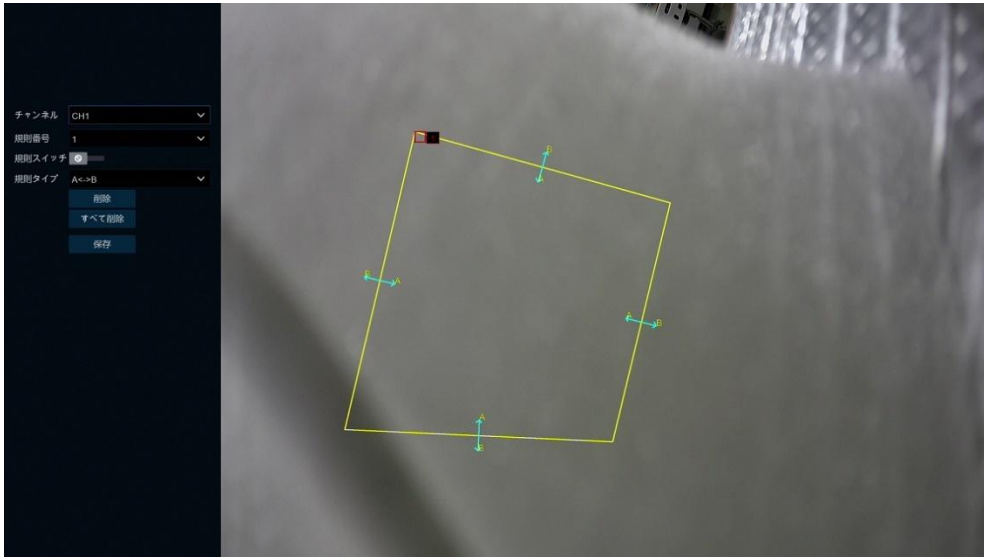
メッセージの表示: PID機能が起動すると、画面に「S」という文字が表示されます。

メールの送信: アラームが検出された場合、事前設定されたメールアカウントにメールが送信されます。

全画面: アラームが検出されると、チャンネルが全画面に拡大されます。

[レコード チャンネル]: アラームが検出されたときに記録するチャンネルを選択します。

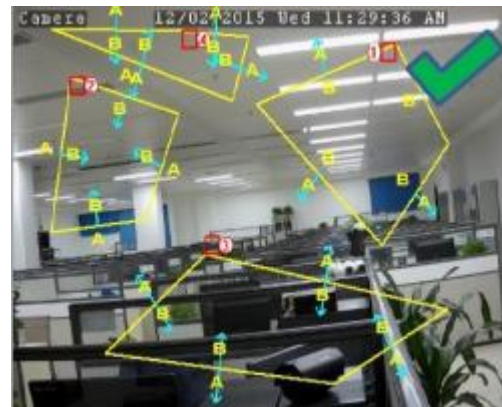
エリア: カメラ画像に仮想領域を描画するには、**[設定]**をクリックします。



1. ルール番号のいずれかを選択します。PID領域の数です。PID機能に設定できる最大4つの領域。
2. ルールスイッチで検出を有効にする
3. **【ルールの種類】** を選択します。
 A→B: DVR は、A から B へのアクションのみを検出します。
 B→A: DVR は、B から A へのアクションのみを検出します。
 A↔ B: DVR は、B から A または A から B へのアクションを検出します。
4. マウスを使用して、カメラ画像の4つのポイントをクリックし、仮想領域を描画します。領域は凸多角形である必要があります。凹多角形では保存できません。
5. **【保存】** をクリックして設定を保存します。
6. 領域の位置や形を変更する場合は、領域内の赤いボックスをクリックすると、領域の境界線が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しして領域の位置を移動するか、コーナーをドラッグして領域のサイズを変更します。
7. カメラ画像から領域を削除するには、その領域の赤いボックスをクリックし、**【削除】** ボタンをクリックします。**【すべて削除】** をクリックすると、すべての領域が削除されます。

注意：

- 1) ターゲットがエッジ/コーナーを通過したときに検出できない可能性があるため、領域はカメラ画像のエッジ/コーナーに近すぎないようにしてください。
- 2) ターゲットが境界外を通過するときに検出することができない可能性があるため、領域の形状は小さく、狭くしないで下さい。



5.1.8.2 LCD（ライン交差検出）ライン浸入

ライン交差検出機能は、事前に定義された仮想線を横切る人、車両、その他のオブジェクトを検出し、アラームが検出されたときに特定のアクションを実行できます。



チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

スイッチ：LCD機能を有効または無効にする

ブザー：検出されたときに10、20、40または60秒でアラーム音を発するためにブザーを無効にするか、または有効にする

センシティブ：感度レベルは 1~4です。感度が高いほど、検出しやすくなります。

シーン：シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラが設置されている場所と一致するシーンを選択してください。

録画後：イベント発生後、DVR が録画を継続する時間を設定できます。

ラッチ時間：検出された場合の外部アラーム時間を設定します。

アラームアウト：外部アラームデバイスに接続する場合は、アラーム音を発するように設定できます。

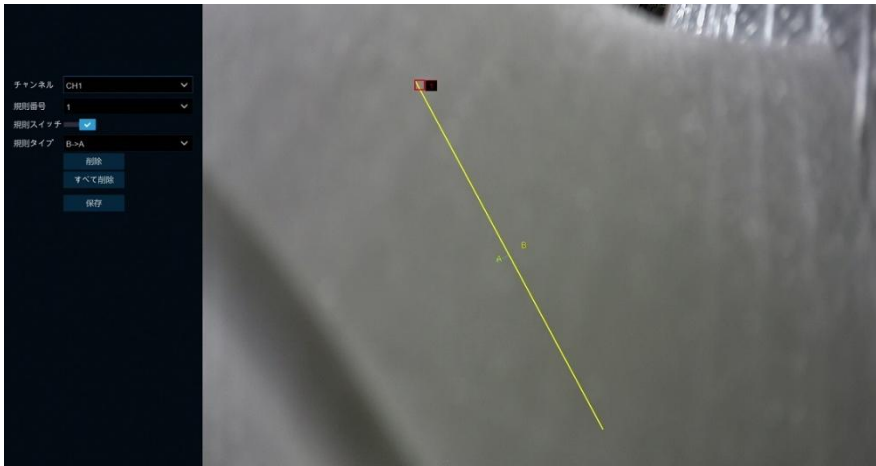
メッセージ表示：LCD機能が発動すると、画面に「S」という文字が表示されます。

メールの送信：アラームが検出された場合、事前設定されたメールアカウントにメールが送信されます。

全画面：検出されると、チャンネルが全画面に拡大されます。

チャンネルを記録：検出されたときに記録するチャンネルを選択します。

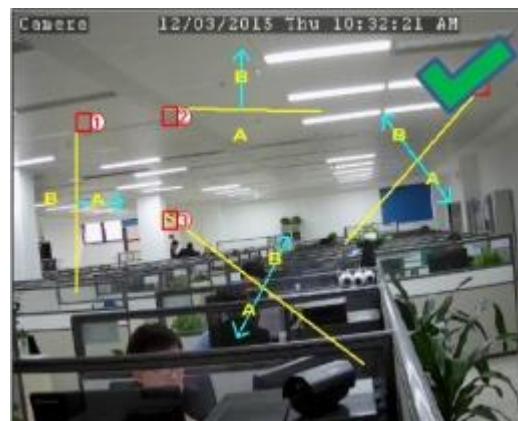
エリア：カメラ画像に仮想線を描く場合は[設定]をクリックします。



1. ルール番号のいずれかを選択します。描くことができるLCD線の最大は4本です。
2. ルール スイッチで検出を有効にします。
3. [ルールの種類] を選択します。
 - A→B: DVR は、A から B へのアクションのみを検出します。
 - B→A: DVR は、B から A へのアクションのみを検出します。
 - A↔B: DVR は、B から A または A から B へのアクションを検出します。
4. 仮想線を描画するには、カメラの画像内でマウスを使用し2ポイントをクリックして下さい
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 線の位置や長さを変更する場合は、線の赤いボックスをクリックすると、線の色が赤に変更されます。マウスの左ボタンを長押しして線を移動するか、端子をドラッグして線の長さまたは位置を変更します。
7. カメラ画像からいずれかの線を削除する場合は、赤いボックスをクリックし[削除]ボタンをクリックします。[すべて削除] をクリックすると、すべての行が削除されます。

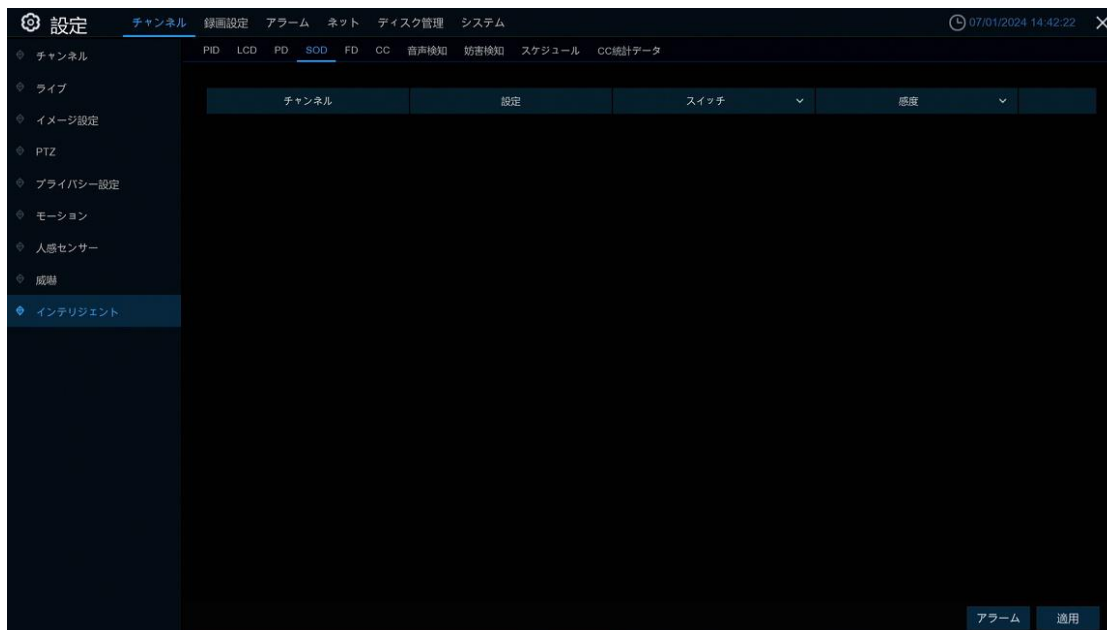
注意：

- 1) ラインは、ターゲットが通過するときにアラーム検出障害を回避するために、カメラ画像の端に近づけないようにします。
- 2) ラインは、ターゲットが外を通過したときにアラーム検出失敗を避けるために、あまりにも短く設定しないで下さい。



5.1.8.3 SOD（静止オブジェクト検出）物体検出

静止物体検出機能は、手荷物、財布、危険物などの事前定義された領域に残った、または失われた物体を検出し、アラームが検出されたときに一連のアクションを行うことができます。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

スイッチ: SOD機能を有効または無効にします。

ブザー: 検出されたときに10、20、40または60秒でアラーム音を無効にするか、有効にする

センシティブ: 感度レベルは1~4で、既定値は 2 です。感度が高いほど、検出しやすくなります。

シーン: シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラが設置されている場所と一致するシーンを選択してください。

録画後: イベント発生後、DVR が録画を継続する時間を設定できます。

ラッチ時間: 検出された場合の外部アラーム時間を設定します。

アラームアウト: 外部アラームデバイスに接続した場合は、アラーム音を発するように設定できます。

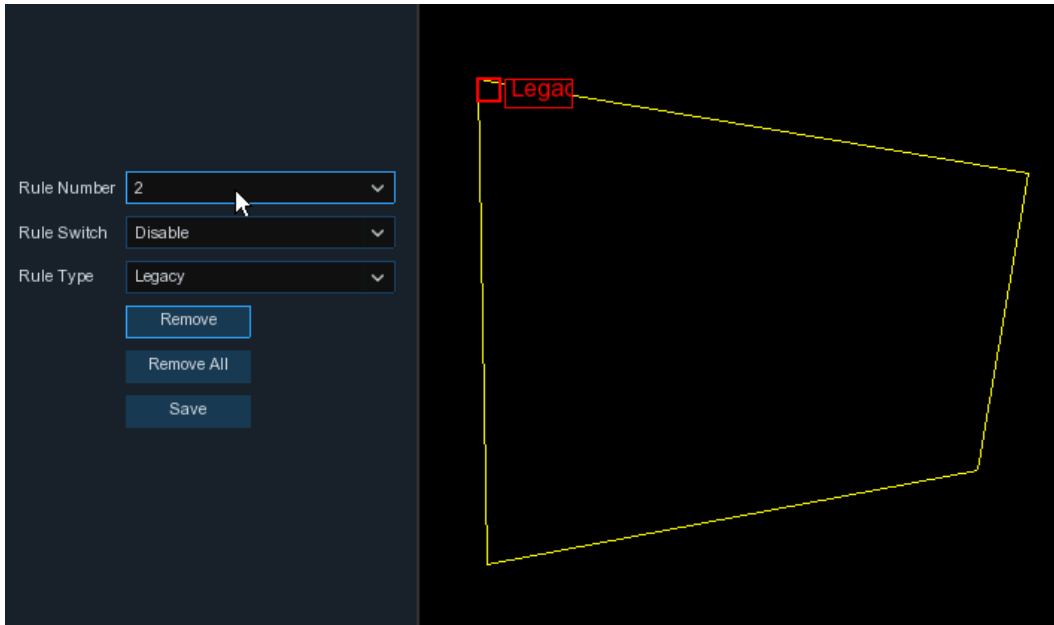
メッセージを表示: インテリジェント検出されると、画面に「S」という文字が表示されます。

メールの送信: アラームが検出された場合、事前設定されたメールアカウントにメールが送信されます。

全画面: 検出されると、チャンネルが全画面に拡大されます。

チャンネルを記録: 検出されたときに記録するチャンネルを選択します。

エリア: カメラ画像に仮想領域を描画するには、**【設定】** をクリックします。



1. ルール番号のいずれかを選択します。SOD 機能に設定できる領域は最大 4つです。
2. ルール スイッチで検出を有効にする。
3. [ルールの種類]を選択します。
レガシー: DVR は、残ったオブジェクトのみを検出します。
ロスト: DVR は失われたオブジェクトだけを検出します。
レガシー&ロスト: DVR は、両方の左上と失われたオブジェクトを検出します。
4. マウスを使用して、カメラ画像の4ポイントをクリックし、仮想領域を描画します。領域は凸多角形である必要があります。凹多角形では保存できません。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 領域のサイズを調整する場合は、領域内の赤いボックスをクリックすると、領域の境界線が赤色になります。マウスの左ボタンを長押しして領域全体を移動するか、コーナーをドラッグして領域のサイズを変更します。
7. カメラ画像から領域を削除する場合は、その領域の赤いボックスをクリックし、[削除] ボタンをクリックするか[すべて削除]をクリックすると、すべての領域が削除されます。

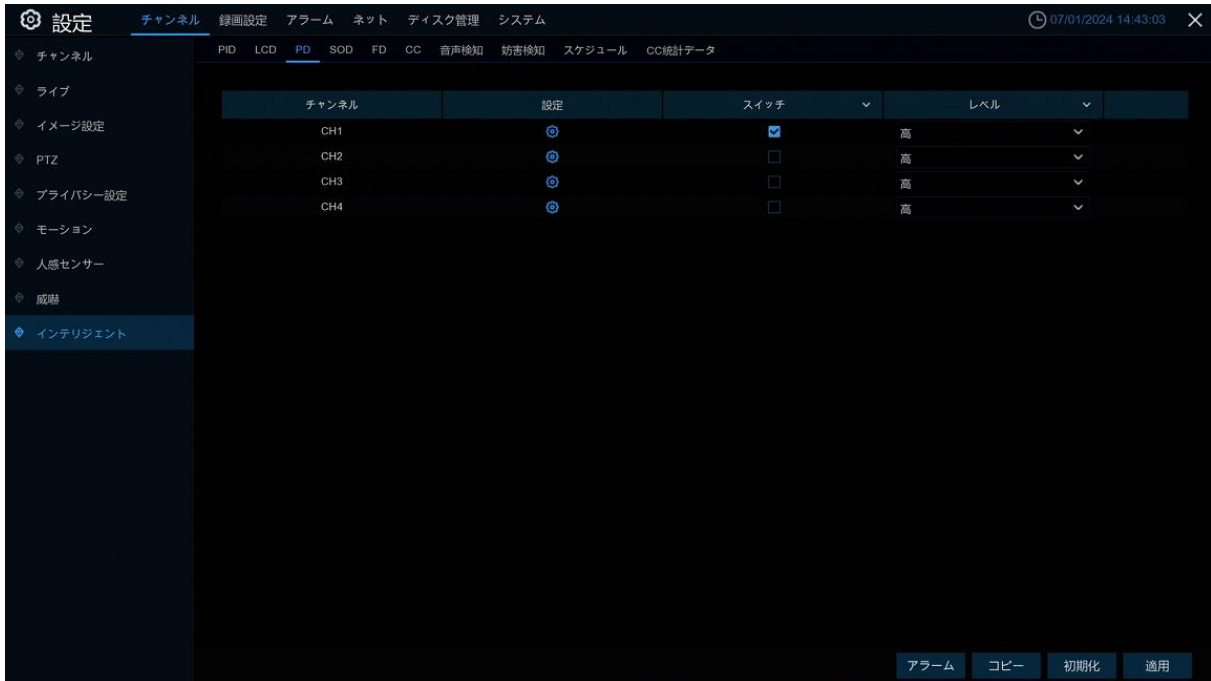
注意：

- 1) 検出領域は、白いボトルの検出など、検出された物体のサイズ以上でなければならない。
- 2) 検出されたオブジェクトは覆うことができません。



5.1.8.4 PD（歩行者検出）

歩行者検出機能は、事前に定義された領域内の移動する人を検出し、アラームが検出されたときに一連のアクションを実行することができます。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

スイッチ: PD 機能を有効または無効にします。

ブザー: 検出されたときに10、20、40または60秒でブザーを無効にするか、または有効にする

レベル: 小、中、大。遠距離でオブジェクトを検出するには、小さなレベルをお勧めします。大きなレベルは、短い距離でオブジェクトを検出する時にお勧めします。

シーン: シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラが設置されている場所と一致するシーンを選択してください。

録画後: イベント発生後、DVR が録画を継続する時間を設定できます。

ラッチ時間: 検出された場合の外部アラーム時間を設定します。

アラームアウト: 外部アラームデバイスに接続すると、アラーム音を発するように設定できます。

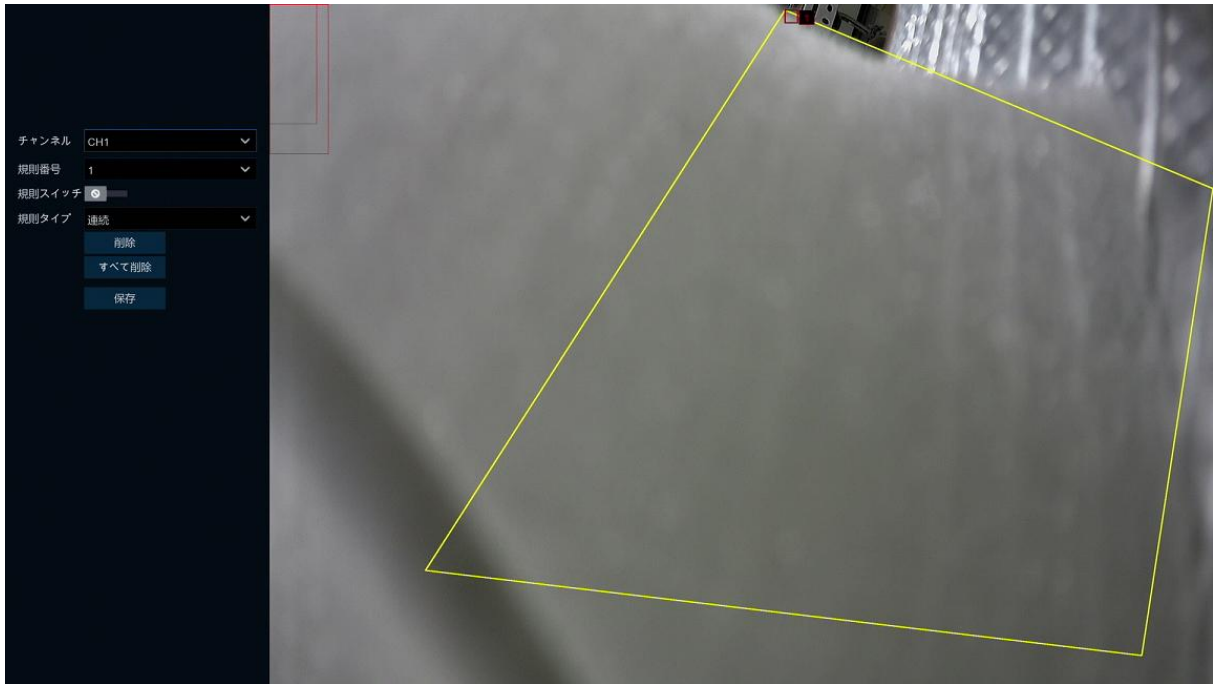
メッセージを表示: インテリジェント検出されると、画面に「S」という文字が表示されます。

メールの送信: アラームが検出された場合、事前設定されたメールアカウントにメールが送信されます。

全画面: 検出されると、チャンネルが全画面に拡大されます。

レコード チャンネル: 検出されたときに記録するチャンネルを選択します。

エリア: カメラ画像に仮想領域を描画するには、[設定]をクリックします。



1. ルール番号のいずれかを選択します。PD 機能に設定できる領域は最大4つです。
2. ルール スイッチで検出を有効にする。
3. ルールの種類を選択、この検出に使用できるのは【通常】のみです。
4. マウスを使用して、カメラ画像の4ポイントをクリックし、仮想領域を描画します。領域は凸多角形である必要があり、凹多角形は保存できません。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 領域のサイズを調整する場合は、領域内の赤いボックスをクリックし、領域の境界線が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しして領域全体を移動するか、コーナーをドラッグして領域のサイズを変更します。
7. カメラ画像から領域を削除する場合は、その領域の赤いボックスをクリックし、[削除] ボタンをクリックするか、[すべて削除] をクリックすると、すべてのリージョンが削除されます。

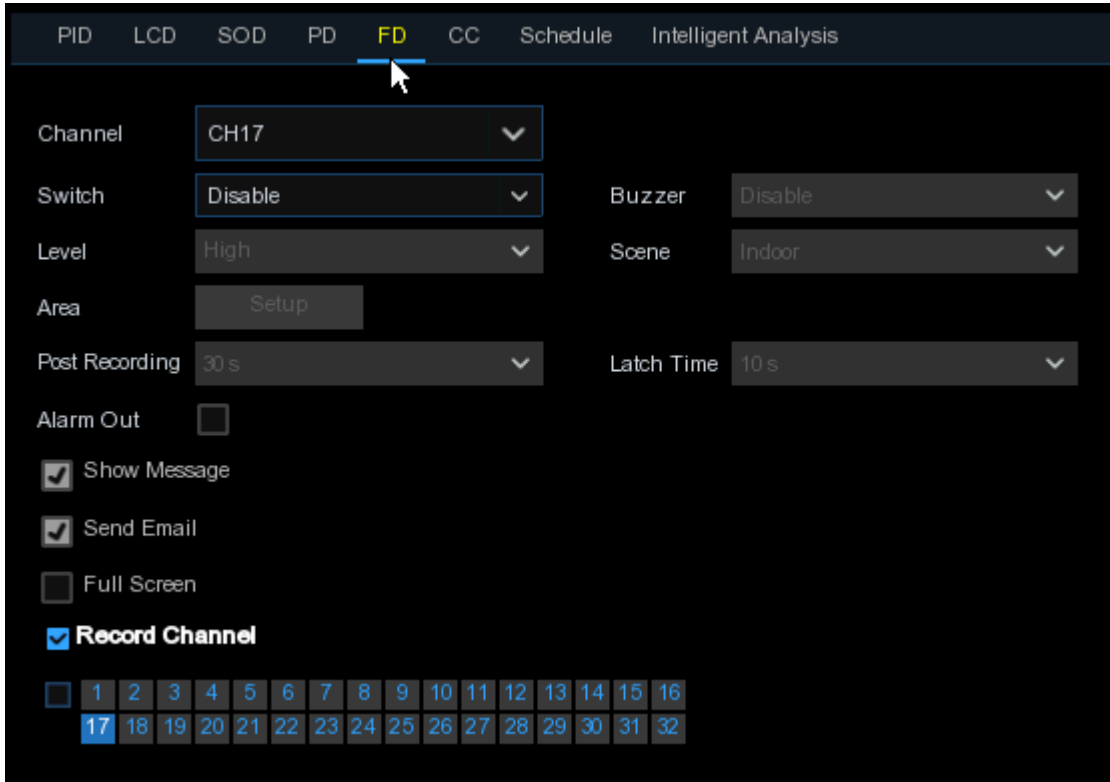
注意：

- 1) 検出地域は、人が到達できない領域であってはなりません。
- 2) 検出された人々は、その領域で完全に囲まれている必要があります。



5.1.8.5 FD（顔検出）

顔検出機能は、動く人の顔が事前に定義された領域に現れるのを検出し、アラームが検出されたときに一連のアクションを実行できます。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

有効: FD 機能を有効または無効にします。

ブザー: 検出されたときに10、20、40または60秒でブザーを無効にするか、または有効にする

レベル: 小、中、大。遠距離でオブジェクトを検出するには、小さいレベルをお勧めします。大きなレベルは、短い距離でオブジェクトを検出する時にお勧めします。

シーン: シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラが設置されている場所と一致するシーンを選択してください。

録画後: イベント発生後、DVR が録画を継続する時間を設定できます。

ラッチ時間: 検出された場合の外部アラーム時間を設定します。

アラームアウト: 外部アラームデバイスに接続する場合は、アラーム音を発するように設定できます。

メッセージを表示: インテリジェント検出されると、画面に「S」という文字が表示されます。

メールの送信: アラームが検出された場合、事前設定されたメールアカウントにメールが送信されます。

全画面: 検出がされると、チャンネルが全画面に拡大されます。

レコード チャンネル: 検出されたときに記録するチャンネルを選択します。

エリア: カメラ画像に仮想領域を描画するには、[設定]をクリックします。

1. ルール番号のいずれかを選択します。FD機能に設定できる領域は最大4つです。
2. ルール スイッチで検出を有効にする。
3. ルールの種類を選択、この検出に使用できるのは [通常] のみです。
4. マウスを使用して、カメラ画像の4ポイントをクリックし、仮想領域を描画します。領域は凸多角形である必要があり、凹多角形では保存できません。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 領域のサイズを調整する場合は、領域内の赤いボックスをクリックすると、領域の境界線が赤い色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しして領域全体を移動するか、コーナーをドラッグして領域のサイズを変更します。
7. カメラ画像から領域を削除する場合は、その領域の赤いボックスをクリックし、[削除] ボタンをクリックするか、[すべて削除] をクリックすると、すべてのリージョンが削除されます。

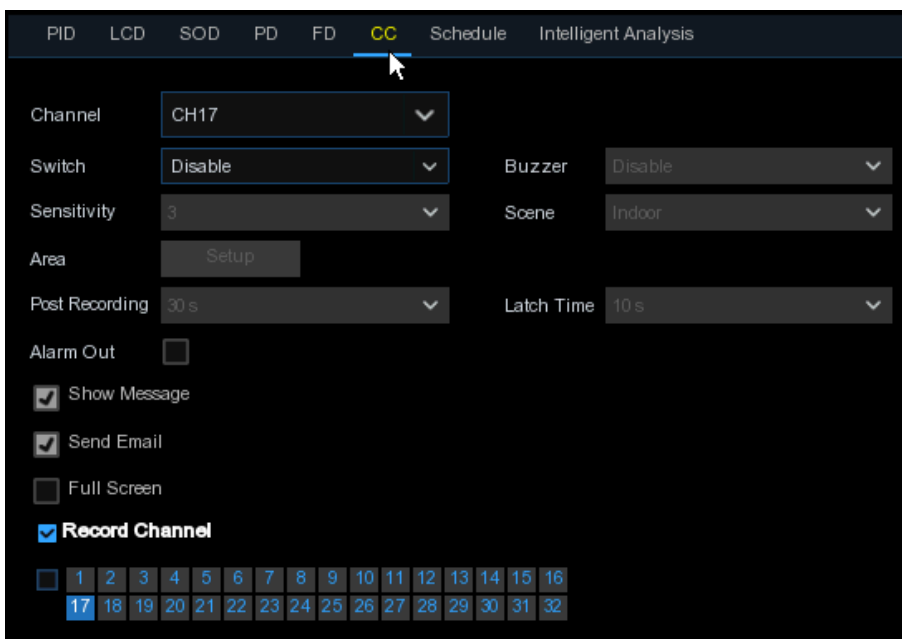
注意：

- 1) 検出領域は、人が到達できない領域にはあってはならない。
- 2) 領域は、完全な前面を含める必要があります。



5.1.8.6 CC (クロスカウンティング)

クロスカウントは、仮想ラインを越えてオブジェクト又は人が移動する時間をカウントします。



チャンネル:設定するチャンネルを選択します。

スイッチ: CC機能を有効または無効にする

ブザー:検出されたときに10、20、40または60秒ブザーを無効にするか、または有効にする

センシティブ : 感度レベルは1~4で、既定値は 2 です。感度が高いほど、検出しやすくなります。

シーン: シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラが設置されている場所と一致するシーンを選択してください。

録画後: イベント発生後、DVR が録画を継続する期間を設定できます。

ラッチ時間: 検出された場合の外部アラーム時間を設定します。

アラームアウト:外部アラームデバイスに接続されると、アラーム音を発するように設定できます。

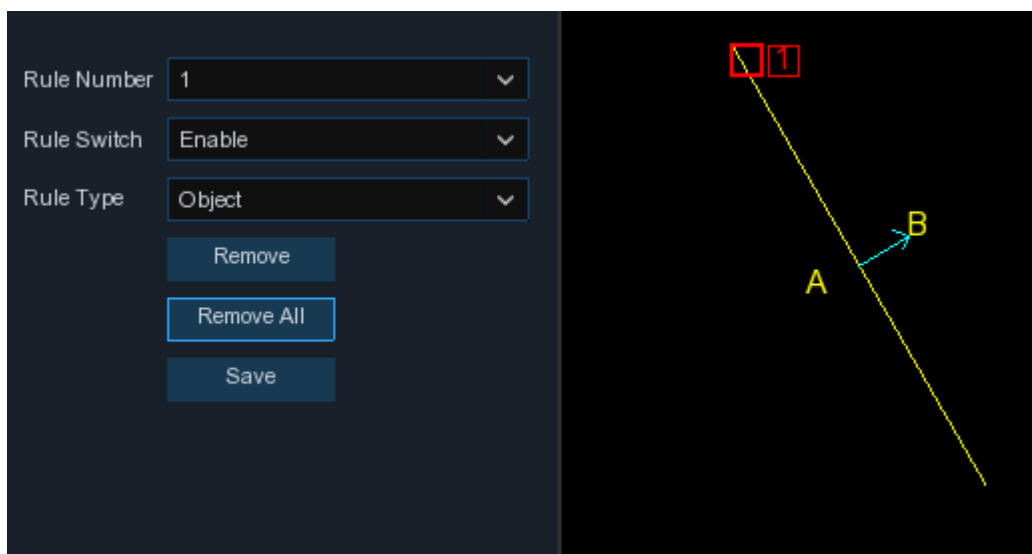
メッセージを表示: インテリジェント検出されると、画面に「S」という文字が表示されます。

メールの送信: アラームが検出された場合、事前設定されたメールアカウントにメールが送信されます。

全画面: 検出されると、チャンネルが全画面に拡大されます。

レコードチャンネル: 検出されたときに記録するチャンネルを選択します。

エリア:カメラ画像に仮想領域を描画するには、[設定]をクリックします。

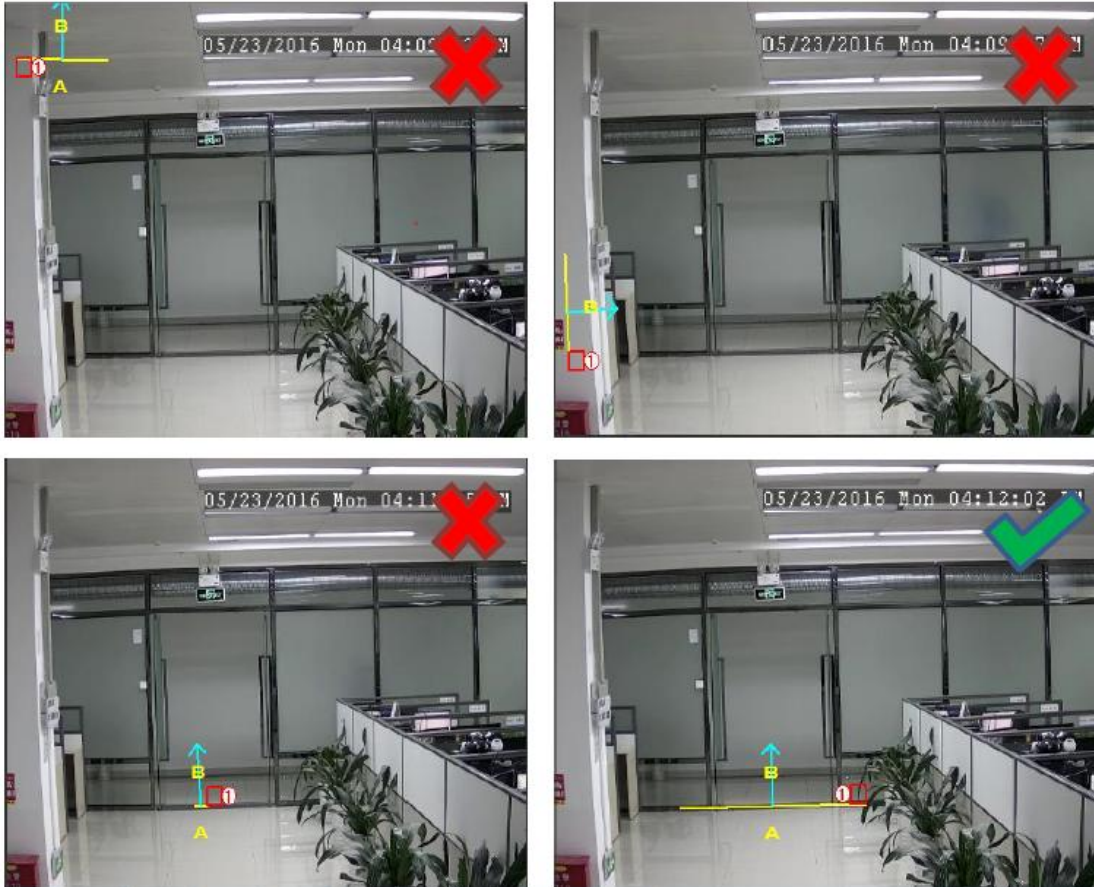


1. ルール番号のいずれかを選択します。 描画できる仮想線の数です。最大4行。
2. ルールスイッチで検出を有効にする。
3. ルールの種類を選択する
オブジェクト: 移動するオブジェクトのみカウントされます。
歩行者: 移動する人だけをカウントします。
4. マウスを使用して、カメラ画像の2点をクリックし、仮想線を描画します。A→Bは入り口、B→Aは出口です。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 線の位置や長さを変更する場合は、線の赤いボックスをクリックすると、線の色が赤に変化します。マウスの左ボタンを長押しして線を移動するか、端子をドラッグして線の長さまたは位置を変更します。

7. カメラ画像からいずれかの線を削除する場合は、線の赤いボックスをクリックし、[削除] ボタンをクリックまたは[すべて削除]をクリックすると、すべての線が削除されます。

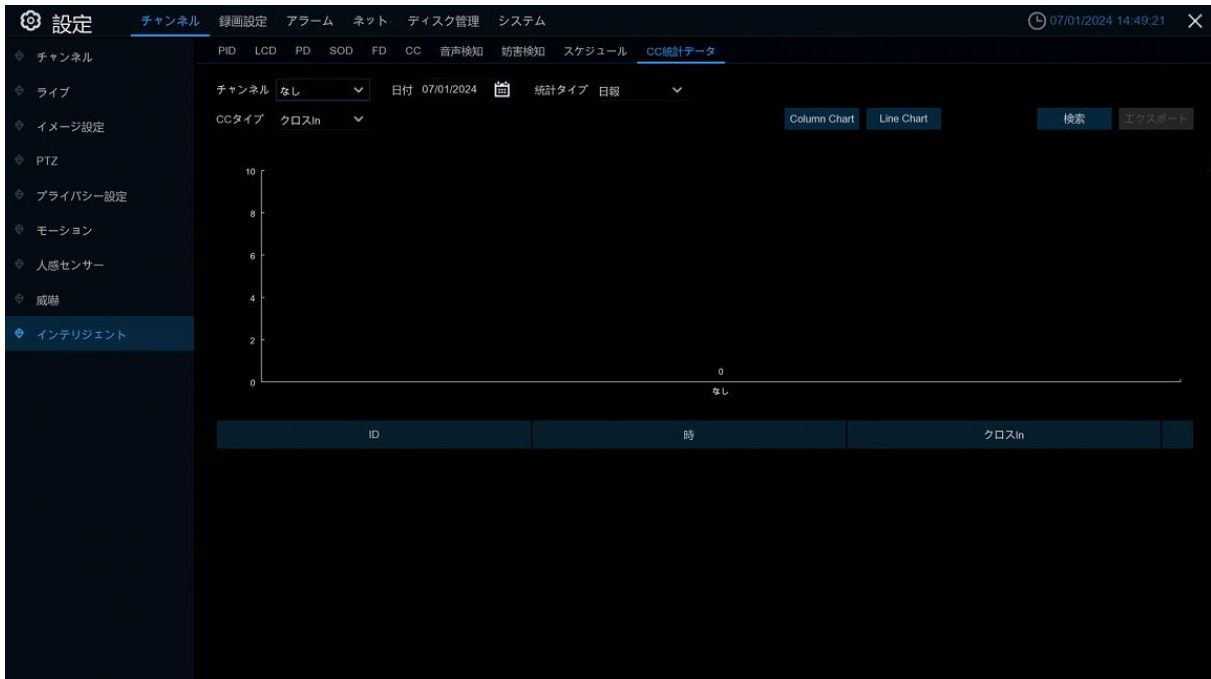
注意：

- 1) ラインは、ターゲットが通過するときに検出障害を避けるために、カメラ画像の端に近すぎないようにしてください。
- 2) 線は、検出されたオブジェクトが到達できる領域に含まれている必要があります。
- 3) ターゲットがアラームを通過したときにアラーム検出失敗を避けるために、ラインを短く設定しないでください。



5.1.8.7 インテリジェント分析でクロスカウントの統計結果を検索及び表示可能。

5.1.8.7 インテリジェント解析



スタティスティックの結果は、クロスイン&クロスアウトのため毎日/毎週/毎月/年次で照会することができます。

5.1.8.8 インテリジェントスケジュール



インテリジェント機能を有効にするには、スケジュールを設定する必要があります。スケジュールは24時間×7日で有効になります。

スケジュールを設定するには、1つのチャンネルを選択し、カーソルをドラッグしてスロットをマークします。タイムスロットの空青のブロックはインテリジェント検出のためにアクティブになります。スケジュールは、設定するたびに選択したチャンネルに対してのみ有効です。他のチャンネルでも同じスケジュールを使用する場合は、コピー機能を使用します。[保存]をクリックして設定を保存します。

5.2 記録

このメニューでは、記録パラメータを設定できます。

5.2.1 エンコード

このメニューでは、録画ビデオまたはネットワーク伝送の画質を設定できます。一般、メインストリームは HDD に保存される録画ビデオの量を設定します。サブストリームは、リモートアクセスを介して表示されているビデオ品質を定義します。Mobilestream は、モバイル デバイス経由でリモート アクセスを介して表示されるビデオ品質を設定します。

チャンネル	ストリームタイプ	解像度	FPS	ビデオエンコードタイプ	ビットレート制御	ビデオ品質	ビットレートモード	ビットレ-
CH1	通常	1920 x 1080	15	H.265	CBR	選択式	▼	2048
CH2	通常	1920 x 1080	15	H.265	CBR	選択式	▼	2048
CH3	通常	960 x 480	30	H.265	CBR	選択式	▼	2048
CH4	通常	1920 x 1080	15	H.265	CBR	選択式	▼	2048
IP CH1	通常	1920 x 1080	30	H.265	VBR	中	▼	入力式

合計バンド幅 6Mbps, 使用バンド幅 2.5Mbps

コピー 初期化 適用

解像度: このパラメータは、記録された画像の大きさを設定します。

FPS: このパラメータは、DVR が記録する 1 秒あたりのフレーム数を設定します。

Video エンコードタイプ: IP カメラのみ。DVR は H.264 IP カメラのみをサポートします。H.265 を選択すると、IP チャンネルのライブビュー画面に「デコード失敗」が表示されます。

ビットレート制御: ビットレートレベルを選択します。壁のような単純なシーンの場合は、一定のビットレート (CBR) が適しています。交通量の多い通りなど、より複雑なシーンには、可変ビットレート (VBR) が適しています。

ビットレートモード: ビットレートを自分で設定したい場合は、ユーザー設定モードを選択します。定義済みのビットレートを選択する場合は、事前設定モードを選択します。

ビットレート: このパラメータは、DVR がビデオを録画するために使用するデータ転送の速度に対応します。より高いビットレートでエンコードされた録画は、より良い品質になります。

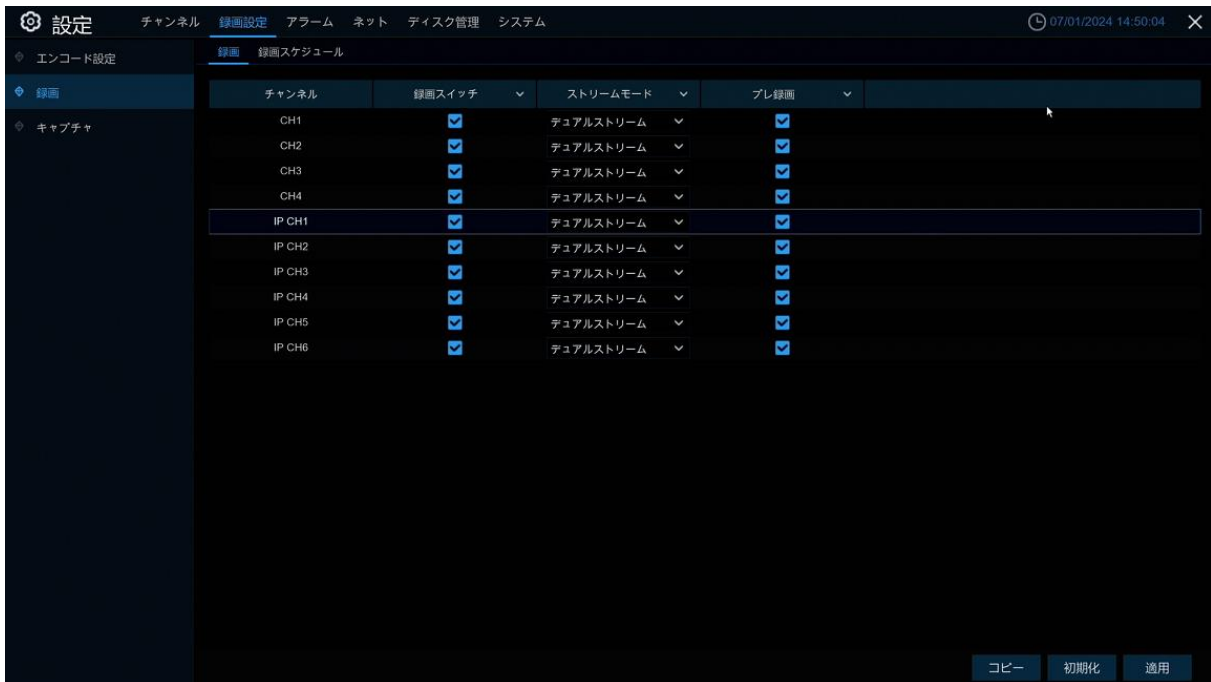
Audio: ビデオと一緒にオーディオを録音し、マイクを DVR に接続するか、オーディオ機能を備えたカメラを使用する場合は、このオプションを選択します。

MR: AMR オプションをオンにすると、このチャンネルにアラーム (モーションまたは I/O アラーム) が発生すると、このチャンネルは最大フレームレート & ビットレートで記録されます。

5.2.2 レコード

このメニューでは、チャンネル記録パラメータを設定できます。

5.2.2.1 レコード



録音スイッチ: 各チャンネルで録音を有効にする場合にチェックを入れます。

ストリームモード: 録音品質を選択します。【デュアルストリーム】を選択すると、システムはメインストリームとサブストリームの両方で記録されます。

プレ録画: このオプションが有効な場合、アラームイベントが発生する数秒前に DVR が記録を開始します。プライマリ録画タイプがモーションまたは I/O アラームベースの場合は、このオプションを使用します。

5.2. 2.2 レコードのスケジュール

このメニューでは、DVR がビデオを録画するタイミングを指定し、各チャンネルの録画モードを設定できます。録画スケジュールを使用すると、通常の(連続)録画、モーションレコーディング、I/O アラーム記録、PIR 録画(DVR がサポートしている場合)によって、毎日と毎時などのスケジュールを設定できます。録音モードを設定するには、まずモードラジオボタン(ノーマル、モーション、I/O、PIR)をクリックしてから、カーソルをドラッグしてスロットをマークします。録画スケジュールは、1つのチャンネルに対してのみ有効です。他のチャンネルでも同じ録画スケジュールを使用する場合は、コピー機能を使用します。[適用] をクリックして設定を保存します。



チャンネル: チャンネルを選択して、記録パラメータを設定します。

標準: タイムスロットが緑色に設定されている場合、チャンネルはそのタイムスロットの通常の記録を実行することを示します。

Motion: タイムスロットが黄色に設定されている場合、チャンネルレコードは、その時間帯にモーションが検出された場合にのみ記録されます。

I/O: タイムスロットが赤色に設定されている場合、これは、その時間帯にセンサーが検出されたときにのみ登録チャンネルが記録されます。

PIR: タイムスロットが紫色に設定されている場合、PIR がその時間帯に検出されたときにのみ登録チャンネルが記録されます。

[記録なし]: 黒のマークが付いているタイムスロットは、タイムスロットに対して録画がないことを意味します。

5.2.3 キャプチャ

このメニューでは、イメージキャプチャ機能を設定できます。

5.2.3.1 キャプチャ



キャプチャを有効にする: チャンネルでの自動キャプチャを有効または無効にします。

ストリーム Type: メインストリームまたはサブストリームによる画像解像度を選択します。

通常の間隔: 通常の記録で画像をキャプチャする時間間隔。

アラーム間隔: モーション、I/O アラーム、PIR が検出された場合に画像をキャプチャする時間間隔。

手動キャプチャ: チャンネルでの手動キャプチャを有効または無効にする。

5.2.3.2 キャプチャスケジュール



チャンネル: キャプチャパラメータを設定するチャンネルを選択します。

標準: タイムスロットが緑色に設定されている場合、チャンネルがそのタイムスロットの通常のキャプチャを実行することを示します。

Motion: タイムスロットが黄色に設定されている場合、チャンネルキャプチャ画像は、そのタイムスロットでモーションが検出された場合にのみ表示されます。

I/O: タイムスロットが赤色に設定されている場合、これは、その時間帯にセンサーが検出された場合にのみチャンネルキャプチャ画像を表示します。

PIR: タイムスロットが紫色に設定されている場合、PIRがそのタイムスロットの間に検出された場合にのみチャンネルキャプチャイメージが表示されます。

キャプチャなし: 黒のマークが付いたタイムスロットは、タイムスロットの画像をキャプチャしていないことを意味しますが、チャンネルで手動キャプチャ機能を有効にすると、手動で画像をキャプチャできます。

5.3 アラーム

このセクションでは、アラームパラメータを設定できます。

5.3.1 モーション

操作は 5.1.5 モーションと同じです。

5.3.2 I/O

これはオプション機能で、DVR がセンサーI/Oをサポートしている場合に表示され、外部センサーI/O アラームデバイスを接続して DVR と連携します。



アラームイン: I/O チャンネル。


アラームタイプ: ノーマルオープン、ノーマルクローズ、オフの 3 つのタイプがあります。

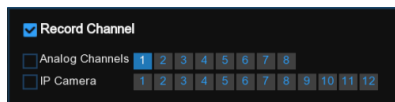
ブザー: DVR は、アラーム音を発するために、その内部ブザーを使用することができます。

センサーが検出されたときにブザーの持続時間を秒単位で設定できます。

アラームアウト: センサーが検出されたときに外部アラームデバイスがアラーム音を発するようになる場合にチェックマークを付けます。

ラッチ時間: 外部センサーが検出されたときのブザーの持続時間を設定できます(10、20、40、60 秒)。

チャンネル:  アイコンをクリックして、モーション検出されたときに記録するチャンネルを選択します。



録画持続時間: アラームが終了したときのアラーム記録の持続時間を設定できます(30、1 分、2 分、5 分)。

メッセージを表示: センサーが検出されたときに、画面にアラームメッセージを表示します。

メールの送信: センサーが検出されたときに、指定した電子メールにメールを送信するように設定します。

全画面: センサーが検出されると、対応するチャンネルが全画面モードに切り替わります。

FTP Upload: I/O アラームが検出されたときに FTP サーバーにイメージをアップロードします。FTP を有効にするには、5.4.4 FTP を参照してください。

5.3.3 PIR

操作は 5.1.6 PIR と同じです。

5.3.4 PTZ リンケージ


PTZ カメラを接続している場合は、PTZ カメラとモーションアラームおよび、外部 I/O センサーアラーム間のリンクを設定できます。リンケージ機能を使用すると、モーションまたは I/O アラームが発生したときに、PTZ カメラのフォーカスをプリセットポイントに変えることができます。



スイッチ：PTZ リンケージ機能を有効または無効にします。

動き：動き検出アラームは、それがチェックされている PTZ リンケージ機能をトリガします。

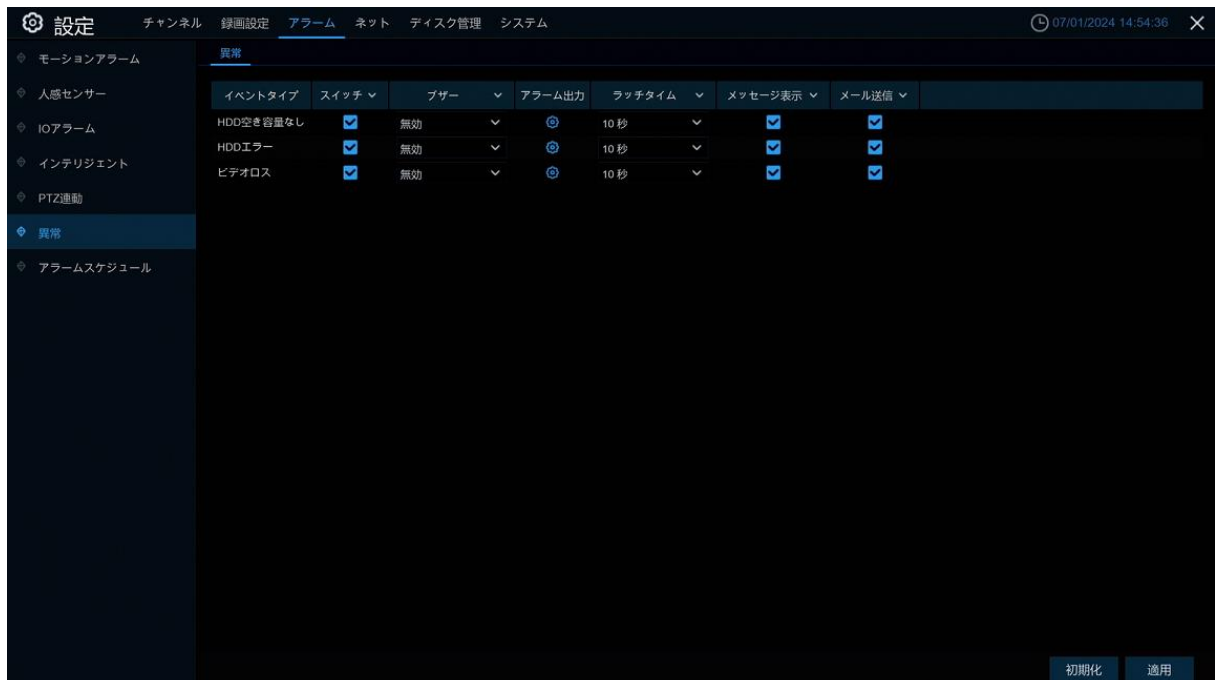
IO：IO アラームは、チェックされている PTZ リンケージ機能をトリガします。

PTZ：PTZ カメラをプリセット ポイントに関連付けるには、アイコン  をクリックします。

5.1.4.1 PTZ コントロールでプリセットポイントを表示します。

5.3.5 Exception

このメニューでは、DVR に通知するイベントのタイプを設定できます。



イベントタイプ: 以下のオプションからイベントタイプを選択します。

- ディスクに空き領域がない: HDD がいっぱいするとき
- ディスクエラー: HDD が正しく検出されない場合。
- ビデオロス: カメラが正しく接続されていない場合。

切り替え: イベントの監視を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

ブザー: イベント発生時のブザーデュレーション(オフ/10/20/40/60)を設定します。ブザーを無効にするには、[オフ] を選択します。

ラッチ時間: DVR が外部アラームデバイスを接続する場合、外部アラームデバイスが鳴る時間(10、20、40、60s)を決定します。

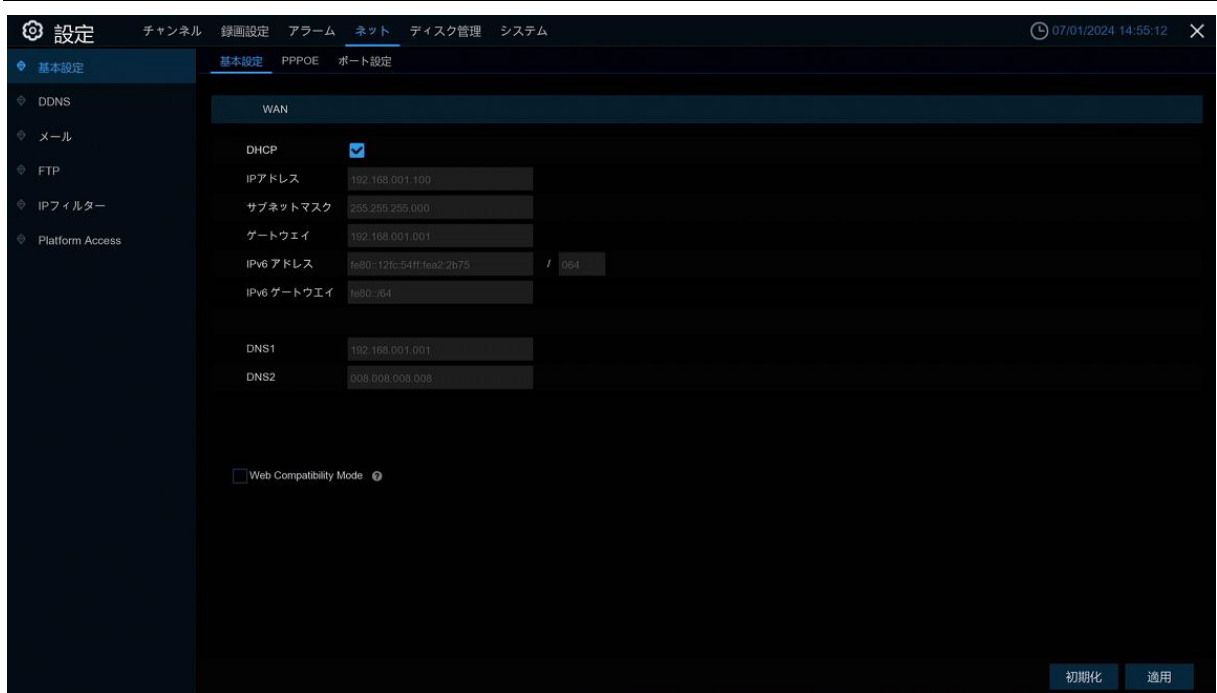
アラームアウト: クリックすると、外部アラームデバイスが鳴ります。これはオプションの機能です。

メッセージの表示: ディスク、ディスクエラー、またはビデオロスイベントが発生したときに、メッセージを画面に表示するには、このチェックボックスをオンにします。

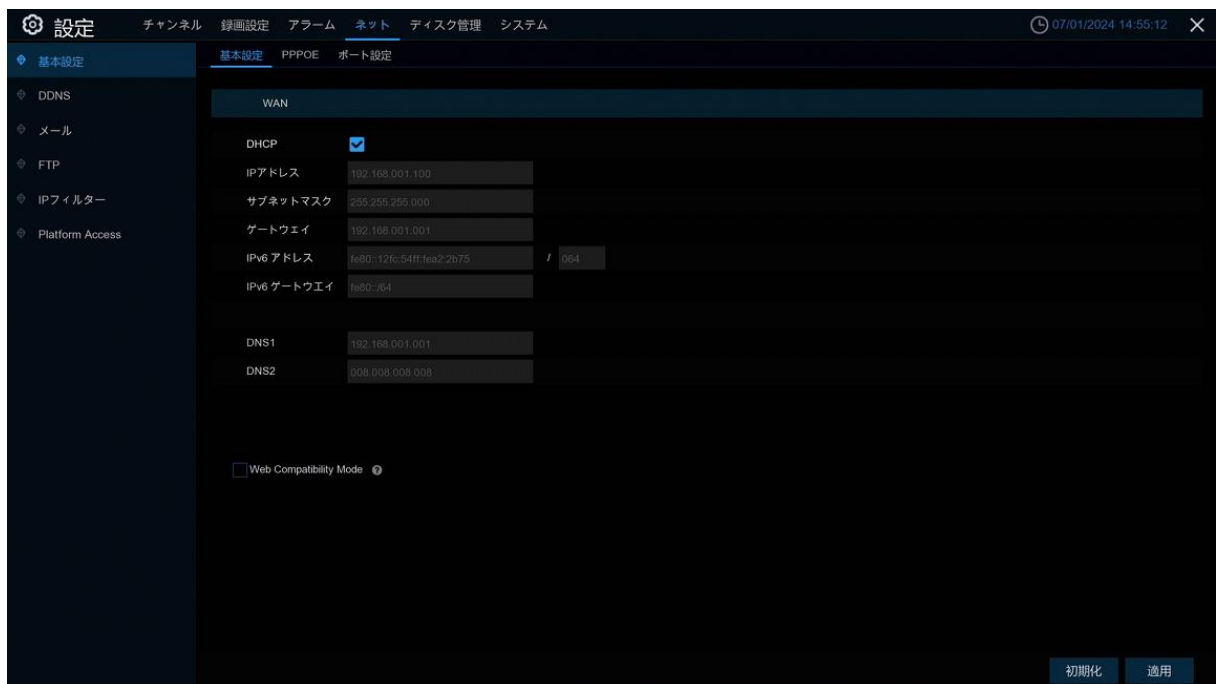
メールの送信: イベントが発生したときに、DVR に自動メールを送信させます。

5.4 ネットワーク

このメニューでは、PPPoE、DHCP、3G などのネットワークパラメータを設定できます。最も一般的なタイプは DHCP です。ネットワークのアドレスが手動で指定されていない限り、ほとんどの場合、ネットワークの種類は DHCP です。インターネットに対する認証ユーザー名とパスワードが必要な場合は、PPPoE を選択します。モバイルネットワーク接続を使用する場合は、3G を選択します。



5.4.1 一般



ルーターに接続して DHCP を使用できる場合は、DHCP ボックスをチェックしてください。ルーターは、DVR が手動でパラメータの下にアドレス指定されていない限りすべてのネットワークパラメータを自動的に割り当てます。

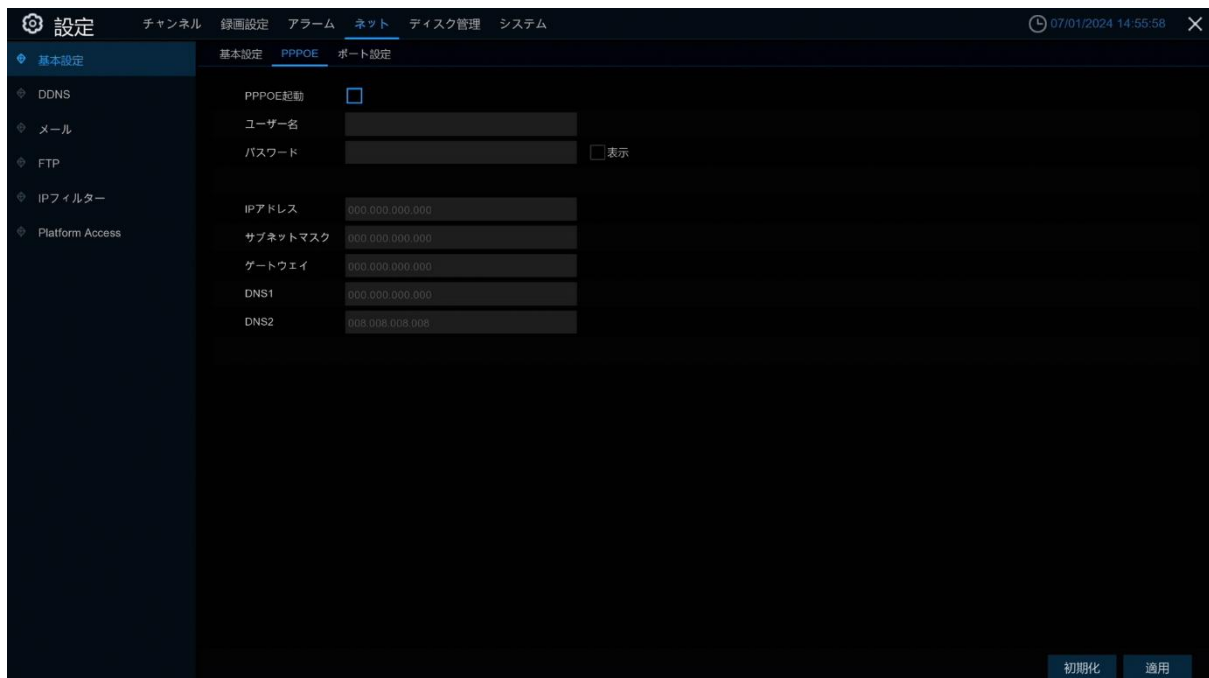
IP アドレス: IP アドレスはネットワーク内の DVR を識別します。0 から 255 までの 4 つのグループから成り、ピリオドで区切られます。たとえば、「192.168.001.100」。

サブネットマスク: サブネットマスクは、ネットワークで使用できる IP アドレスの範囲を設定するネットワークパラメータです。IP アドレスが住んでいる通りのようなものであれば、サブネットマスクは近隣のような存在です。サブネットマスクは、ピリオドで区切られた 4 つのグループの番号で構成されます。たとえば、「255.255.000.000」。

ゲートウェイ: このアドレスは、DVR がインターネットにアクセスできるようにします。ゲートウェイアドレスの形式は IP アドレス と同じです。たとえば、「192.168.001.001」とします。

DNS1/DNS2: DNS1 はプライマリ DNS サーバーであり、DNS2 はバックアップ DNS サーバーです。通常は、DNS1 サーバーアドレスを入力するだけで十分です。

5.4.4.1 PPPoE



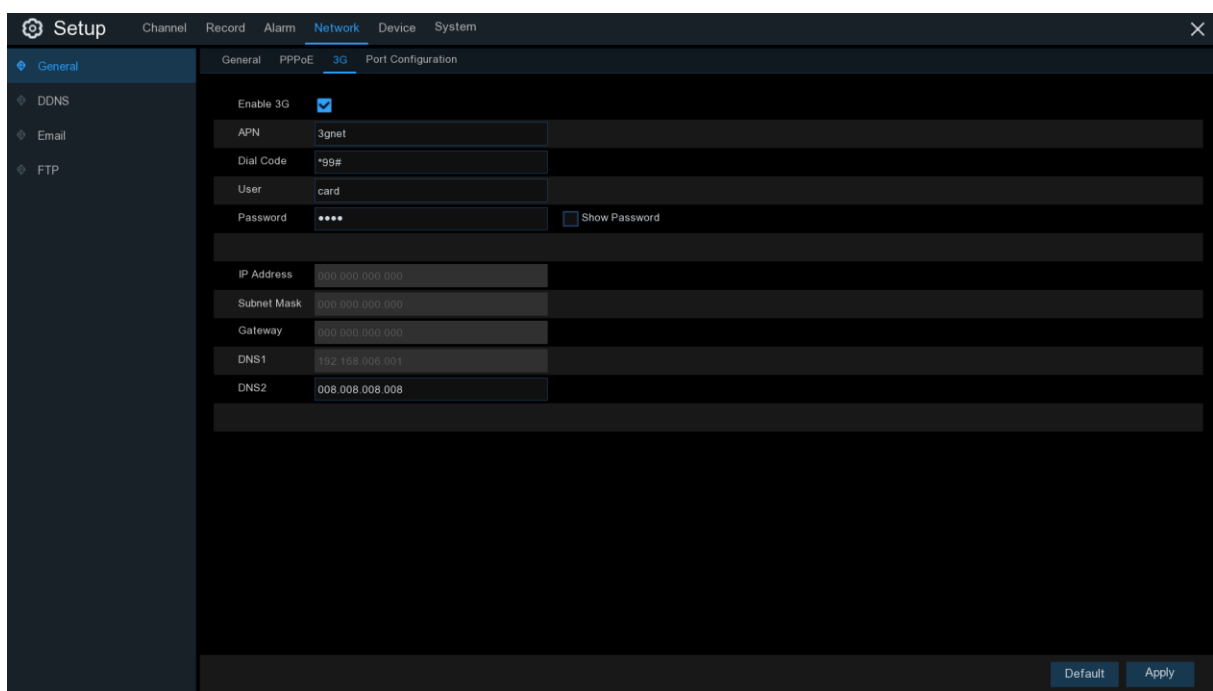
これは、DVR が DSL モデムを介してネットワークに直接接続することを可能にする高度なプロトコルです。

[PPPoE を有効にする] チェック ボックスをオンにし、PPPoE のユーザー名とパスワードを入力します。

[適用] をクリックして保存すると、システムが再起動して PPPoE 設定をアクティブにします。

5.4.1.2 3G

これは、モバイルネットワークを使用する前に、DVR に 3G ドングルを接続する必要があります。



3G オプションを有効にし、3G ドングルデバイスの指示に従って APN、ダイヤルコード、ユーザー名&パスワードを入力します。

モバイルネットワークを使用する前に、3G ドングルを DVR に接続する必要があります

5.4.1.3 ポート設定



Web ポート: これは、DVR にリモートでログインする場合（Web クライアントを使用する場合など）に使用するポートです。デフォルトのポート 80 が既に他のアプリケーションによって取得されている場合は、それを変更してください。

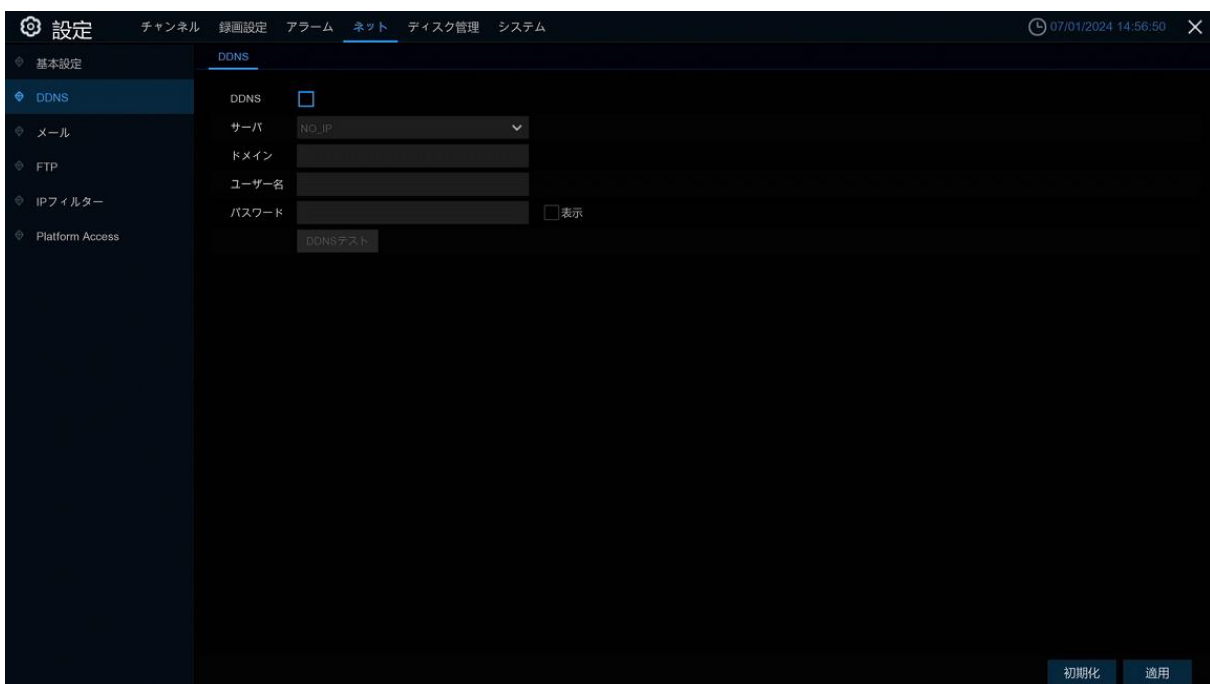
クライアント ポート: DVR が情報を送信するために使用するポートです。デフォルトのポート 9000 が既に他のアプリケーションによって取得されている場合は、それを変更してください。

RTSP ポート: デフォルトポート 554 がすでに他のアプリケーションによって取られている場合は、それを変更してください。

UPnP: Web クライアントを使用して DVR にリモートでログインする場合は、ポート転送を完了する必要があります。ルーターが UPnP をサポートしている場合は、このオプションを有効にします。DVR とルーターの両方で UPnP を有効にする必要があります。この場合、ルーターを手動でポート転送を設定する必要はありません。ルーターが UPnP をサポートしていない場合は、ポート転送が手動で完了していることを確認してください。

5.4.2 DDNS

このメニューでは、DDNS 設定を構成できます。DDNS は、DVR へのリモート接続を簡素化するために静的アドレスを提供します。DDNS を使用するには、まず DDNS サービスプロバイダの Web ページでアカウントを開く必要があります。



DDNS: DDNS を有効にするチェックします。

サーバー: 優先する DDNS サーバー (DDNS_3322、DYNDNS、NO_IP、変更、DNSEXIT) を選択します。

ドメイン: DDNS サービスプロバイダの Web ページで作成したドメイン名を入力します。これは、PC 経由で DVR にリモート接続する場合に [URL] ボックスに入力するアドレスになります。

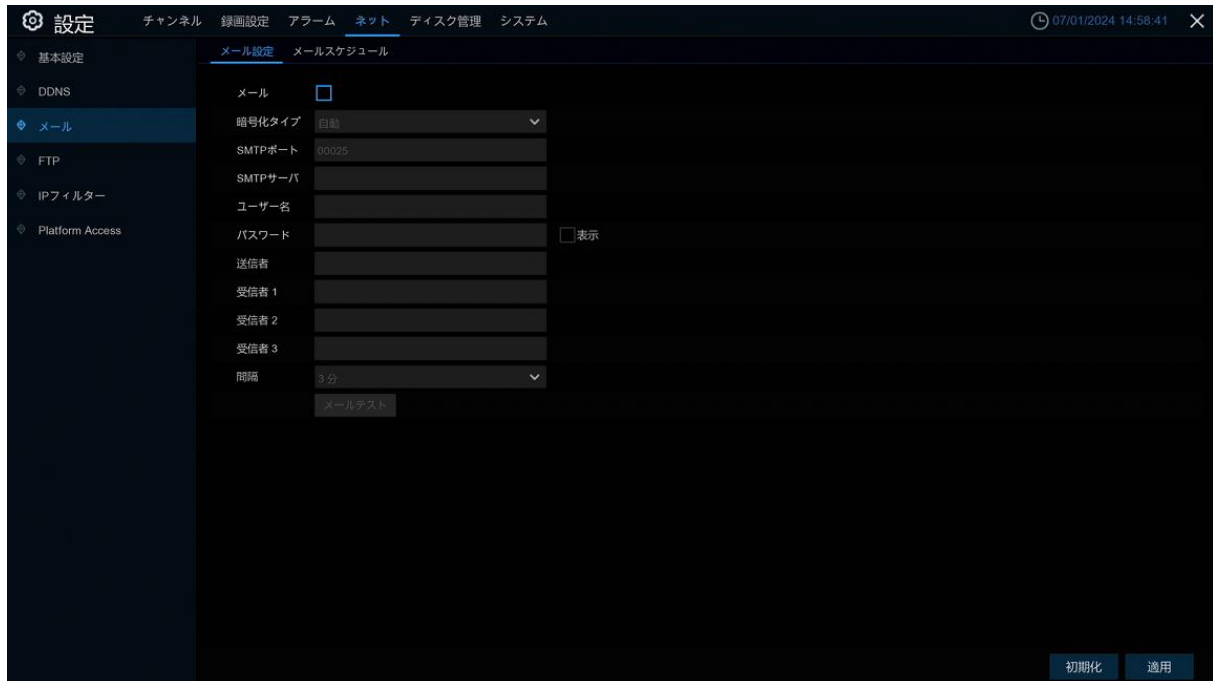
フォックスの例: dvr.no-ip.org。

ユーザー/パスワード: DDNS サービスプロバイダの Web ページで、アカウントを作成するときに取得したユーザー名とパスワードを入力します。

すべてのパラメータを入力したら、[DDNS のテスト] をクリックして DDNS 設定をテストします。テスト結果が「ネットワークに到達できないか、DNS が正しくない」の場合は、ネットワークが正常に動作するか、DDNS 情報が正しいかどうかを確認してください。

5.4.3 Eメール

このメニューでは、電子メールの設定を構成できます。アラームが検出された場合、HDD が満杯になった場合、HDD がエラー状態にある、またはビデオ損失が発生したときに、電子メールでシステム通知を受信する場合、これらの設定を完了してください。



5.4.3.1 電子メールの設定



電子メール: チェックすると有効になります。

Encryption: メールサーバーが SSL または TLS の検証を必要とする場合に有効にします。

不明な場合は、自動に設定します。

SMTP ポート: 電子メールサーバーの SMTP ポートを入力します。

SMTP サーバー: 電子メールの SMTP サーバー アドレスを入力します。

ユーザー名: メールアドレスを入力します。

パスワード: メールのパスワードを入力します。

受信機 1~3: DVR からイベント通知を受信するメールアドレスを入力します。

間隔: DVR からの通知電子メール間の時間間隔の長さを設定します。

すべての設定が正しいことを確認するには、[電子メールのテスト] をクリックします。システムは、受信トレイに自動メールメッセージを送信します。テストメールを受信した場合は、構成パラメータが正しいことを意味します。

5.4.3.2 メールスケジュール

電子メール通知を完全に実装するようにスケジュールを構成する必要があります。



メールスケジュールのカラーコードは、次の意味を持ちます。

緑: モーション検出用スロット。

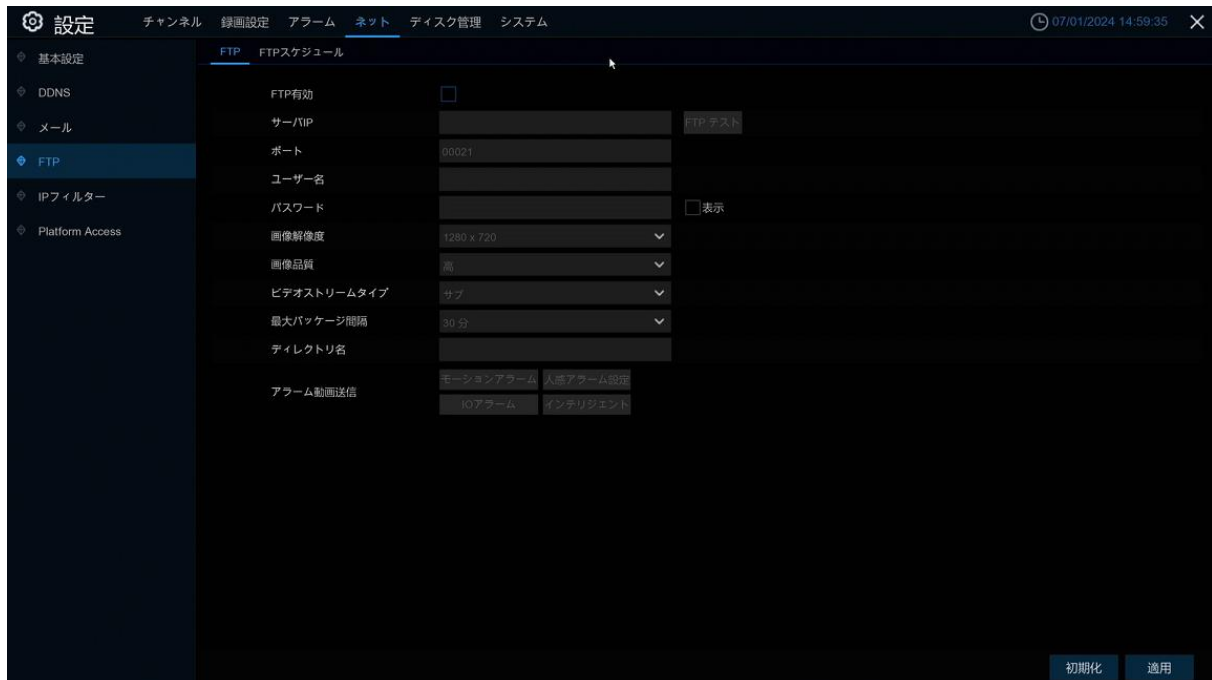
黄色: I/O アラーム用スロット(オプション)。

赤: 例外用スロット (HDD フル、HDD エラー、またはビデオ損失)。

紫: PIR 用スロット(オプション)。

5.4.4 FTP

このメニューでは、FTP 機能を有効にして、キャプチャしたスナップショットを DVR からストレージ デバイスに FTP 経由で読み込むことができます。



FTPの有効化: クリックすると、FTP 機能が有効になります。

サーバーIP: FTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。

ポート: ファイル交換用の FTP ポートを入力します。

名前/パスワード: FTP サーバーのユーザー名とパスワードを入力します。

ディレクトリ名: FTP ファイル交換のデフォルトのディレクトリ名を入力します。

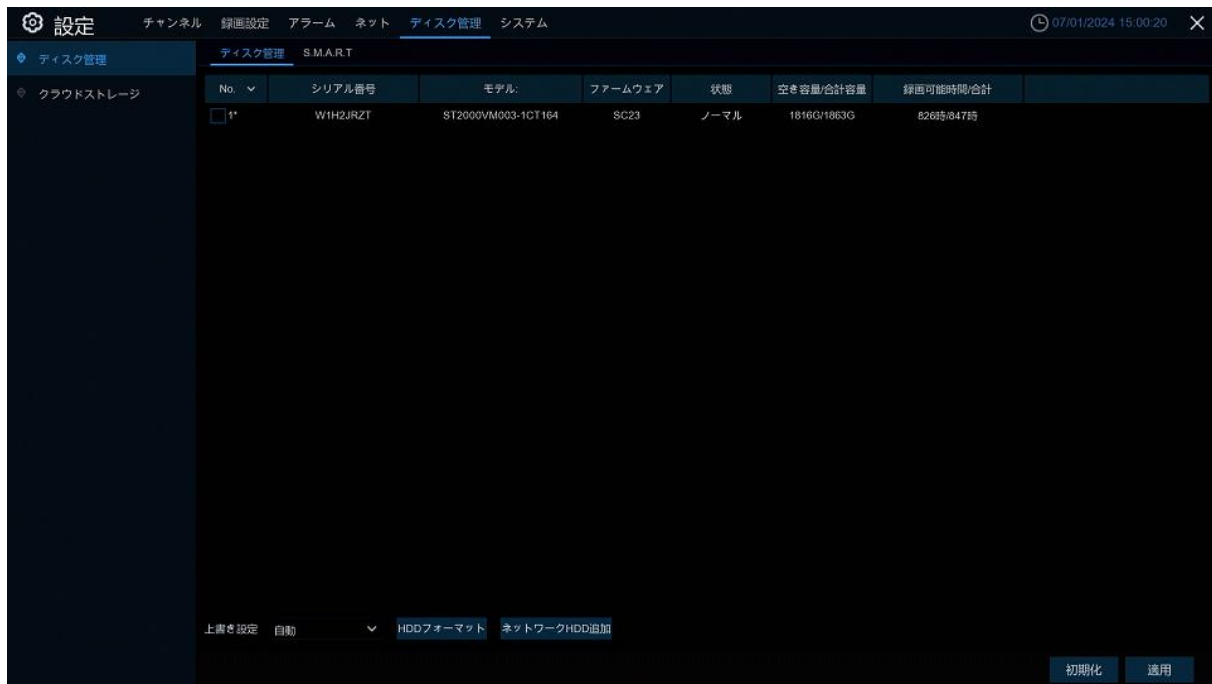
FTPのテスト: クリックして FTP 設定をテストします。

5. 5 デバイス

このセクションでは、内部 HDD およびクラウドストレージ機能を構成できます。

5. 5.1 ディスク


このメニューでは、内部 HDD を確認および設定できます。HDD は、最初の起動時に、新しい HDD を交換する場合にのみフォーマットする必要があります。

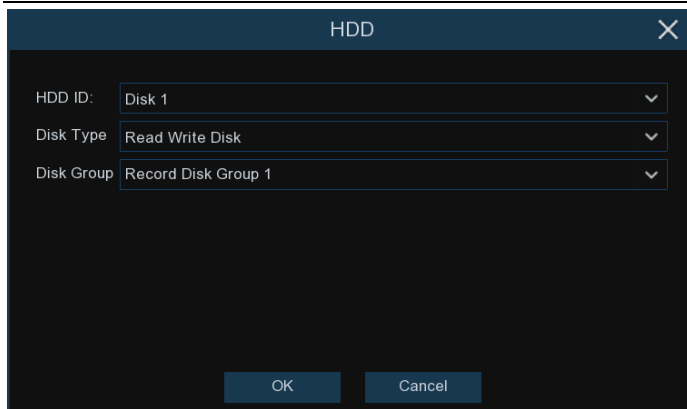


フォーマット HDD: フォーマットする HDD を選択し、[HDD のフォーマット] をクリックします。フォーマットを開始するには、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてフォーマットを続行する必要があります。

上書き: HDD がいっぱいになったときに、HDD の古い録画を上書きするには、このオプションを使用します。たとえば、オプション 7 日間を選択した場合、HDD 上の残りの 7 日間の録画のみが保持されます。古い録音が上書きされないようにするには、[オフ] を選択します。この機能を無効にしている場合は、HDD の状態を定期的に確認して、HDD が満杯でないことを確認してください。HDD がいっぱいになると録画が停止します。

eSATA での記録: このメニューは、DVR が背面パネルに e-SATA ポートを持っている場合にのみ表示されます。それは HDD 容量を強化するために、外部 e-SATA HDD にビデオを記録することができます。e-SATA 記録機能が有効になっている場合は、e-SATA バックアップ機能が無効になります。

DVR が複数の HDD のインストールをサポートしている場合、編集アイコン  がシステムに表示されます。



ディスクの種類: 読み取り/書き込み、読み取り専用、および冗長。

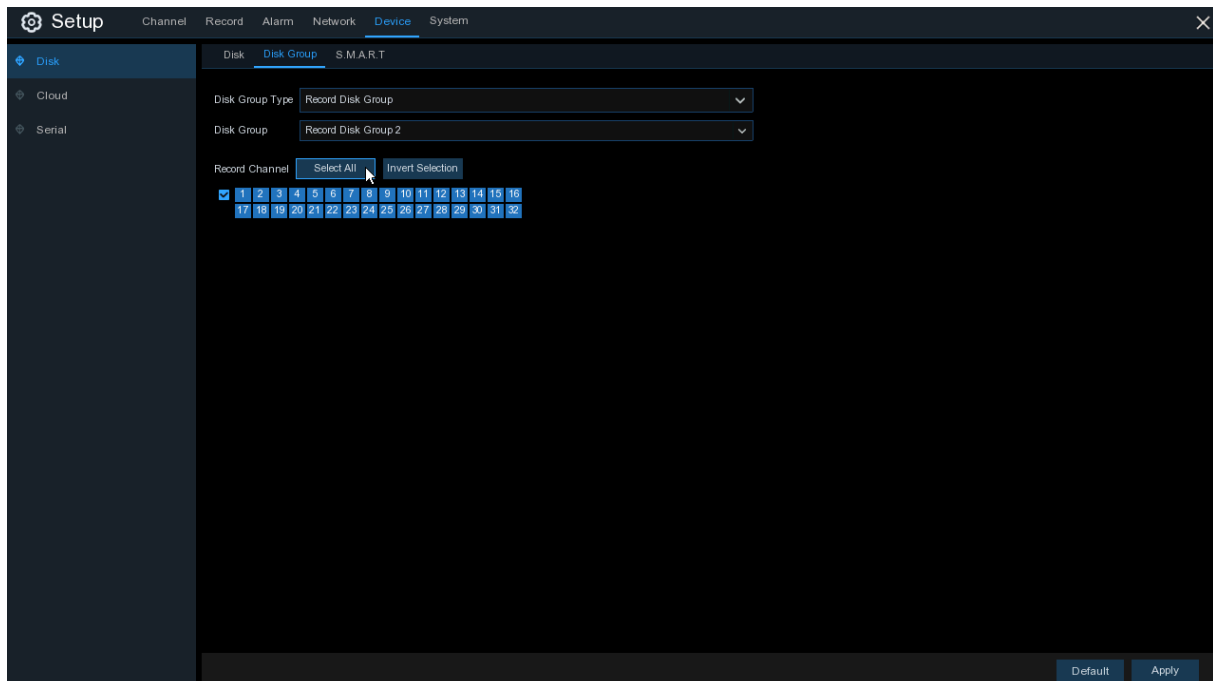
読み取り/書き込みモードは、HDD が記録または記録を再生する場合に通常の状態です。

上書き録画中に重要なビデオデータが上書きされないようにするには、HDD を読み取り専用モードに設定します。新しい録画は、この読み取り専用の HDD に保存できません。また、再生するには、この読み取り専用の HDD から記録を検索することができます。

冗長 HDD を使用すると、録画(読み取り/書き込み)HDD 上のビデオ映像を自動的にバックアップできます。冗長 HDD が設定されている場合、システムは、ハードドライブに障害が発生した場合に、記録用のハードドライブと冗長ハードドライブの両方に並行してカメラを録画するように設定できます。

5.5.1.1 ディスク グループ

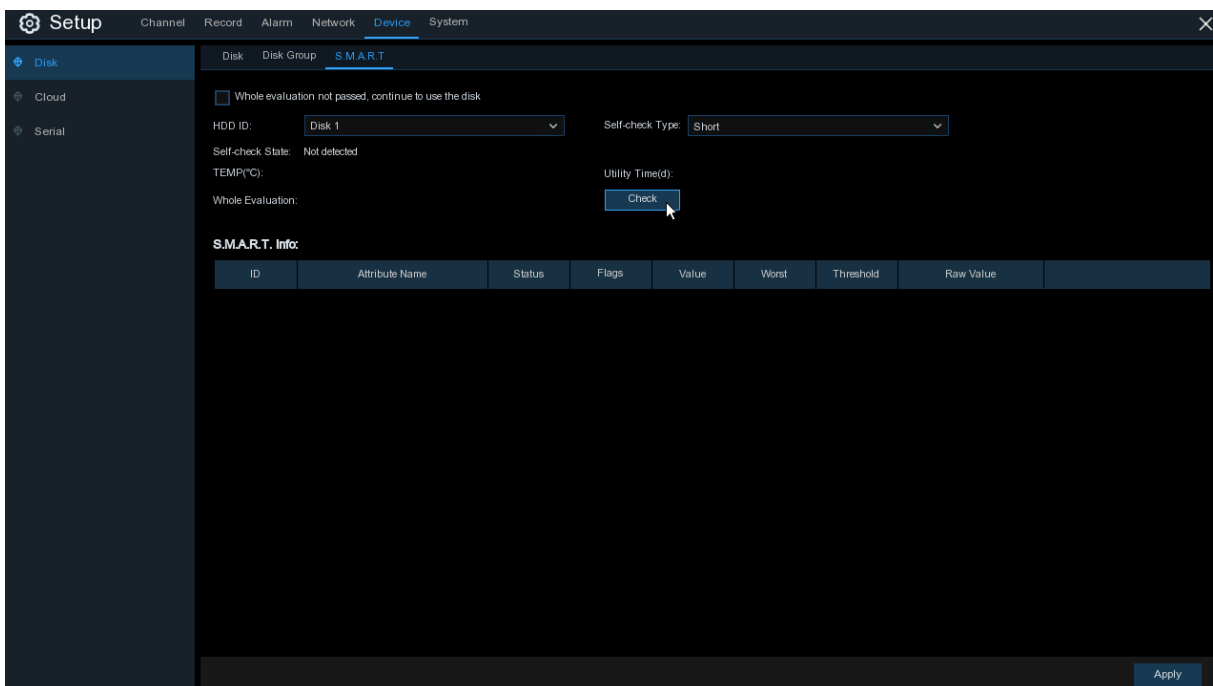
DVR が複数の HDD のインストールをサポートしている場合は、HDD を異なるグループに設定できます。HDD グループを使用すると、複数のハードドライブ間で録画のバランスを取り合えます。たとえば、チャンネル 1~4 を 1 台の HDD に、5~8 を 2 台目の HDD に記録できます。これにより、HDD の摩耗量が減り、HDD の寿命が延びる可能性があります。



1. [ディスク グループの種類]の横にあるドロップダウンを使用して、構成するグループの種類を選択します。
2. [ディスク グループ] の横にあるドロップダウンを使用して、選択したグループの種類内の特定のグループを選択します。
3. 選択したグループの HDD にチャンネルを記録するチャンネルを表す番号付きボックスをクリックします。
4. [適用]をクリックして保存します。

5.5.1.2 S.M.A.R.T

この機能は、DVR 内に取り付けられている HDD の技術情報を表示するために使用することができます。また、テストを実行して(3 種類あります)、ドライブエラーの可能性を評価して検出することもできます。



評価全体が成功せず、ディスクの使用を継続する：何らかの理由で HDD に障害(1 つ以上の不良セクタなど)が発生した場合は、DVR にドライブへの保存を続行するよう指示できます。

セルフチェックタイプ： 3 種類あります：

Short:このテストは、読み取り/書き込みヘッド、電子機器、内部メモリなどの HDD の主要なコンポーネントを検証します。

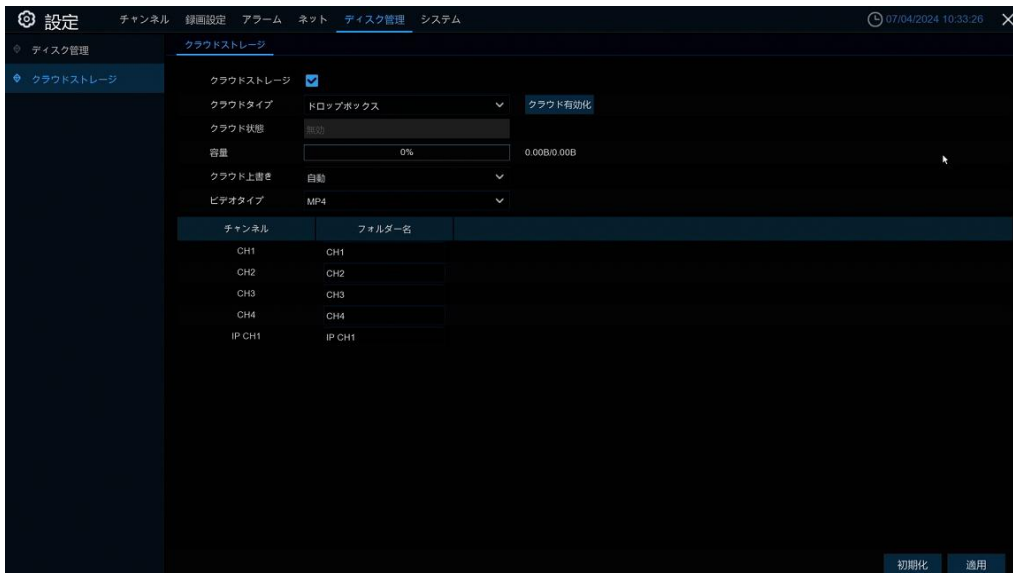
Long: これは、上記を検証するだけでなく、問題のある領域(ある場合)を明らかにし、悪いセクターの移転を強制するために表面スキャンを実行する長いテストです

搬送: これは、HDD の機械部品が動作していることを確認する非常に迅速なテストです。

注意 : テストを実行する場合、DVR は通常どおり動作し続けます。HDD S.M.A.R.T エラーが見つかった場合、HDD は引き続き使用できますが、記録データを失うリスクがあります。新しいHDD を交換することをお勧めします。

5.5.2 クラウド

DVR には Dropbox を介してスナップショットをアップロードする機能があり、スナップショットを簡単に保存して共有し、必要なときに常に手元に置く無料サービスです。



クラウド機能を有効にする前に、DVR で使用したのと同じメールアドレスとパスワードを使用して Dropbox アカウントを作成することをお勧めします。www.dropbox.com に移動し、名前、メールアドレス、パスワードを入力し、利用規約に同意してから サインアップ ボタンをクリックします。

クラウドストレージ: チェックすると機能を有効にします。

クラウドタイプ: 現在は Dropbox のみサポートされています。

アラーム検出: カメラが動きを検出したときや I/O アラームによって検出されたときに、スナップショットを Dropbox にアップロードする場合に有効にします。

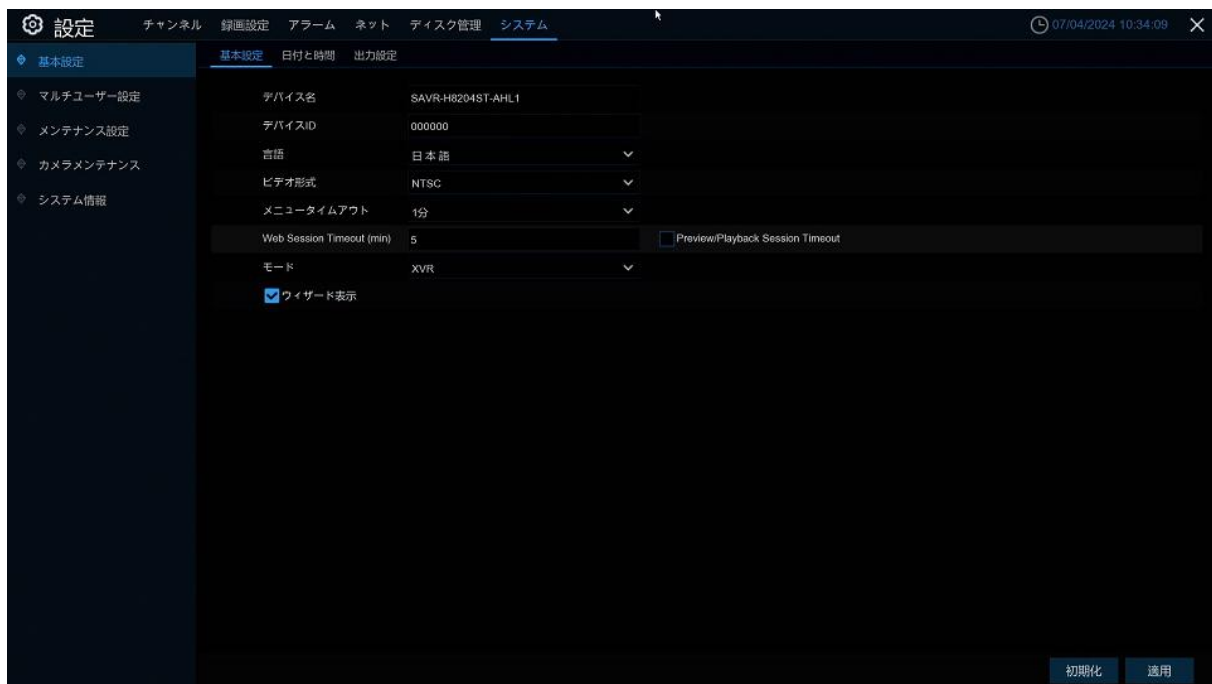
ドライブ名: DVR のクラウド ストレージ名を入力します。

クラウドをアクティブ化: クリックして機能をアクティブにします。しばらくすると、画面上にメッセージが表示されます。アクティベーションリンクがメールに送信されました (5.4.3 Email でメールアラートを受信するように設定したメールアドレス)。メールを確認してから、リンクをクリックしてアクティブ化します。Dropbox のウェブサイトにはアクセスできます。[許可] をクリックして、ライセンス認証を完了します。他のカメラでクラウド ストレージを有効にする場合は、これらの手順を繰り返します。

5.6 システム

日付、時刻、地域などの一般的なシステム情報の変更、パスワードと権限の編集など。

5.6.1 一般



デバイス名: DVR の名前を入力します。名前には、文字と数字の両方を含めることができます。
デバイス ID: DVR の ID を入力します。デバイス ID は DVR を識別するために使用され、数字のみで構成できます。たとえば、2 台 DVR が同じ場所に設置され、デバイス ID が DVR の 1 つに対して 000000、別の DVR の場合は 111111 がインストールされます。リモートコントローラで DVR を操作する場合、両方の DVR がコントローラからの信号を受信し、同時に動作することがあります。ID111111 の DVR のみを制御する場合は、ログインページにデバイス ID11111 を入力して、リモートコントローラを使用して、さらに操作を行うことができます。

言語: システムメニューを表示する言語を選択します。複数の言語が利用可能です。

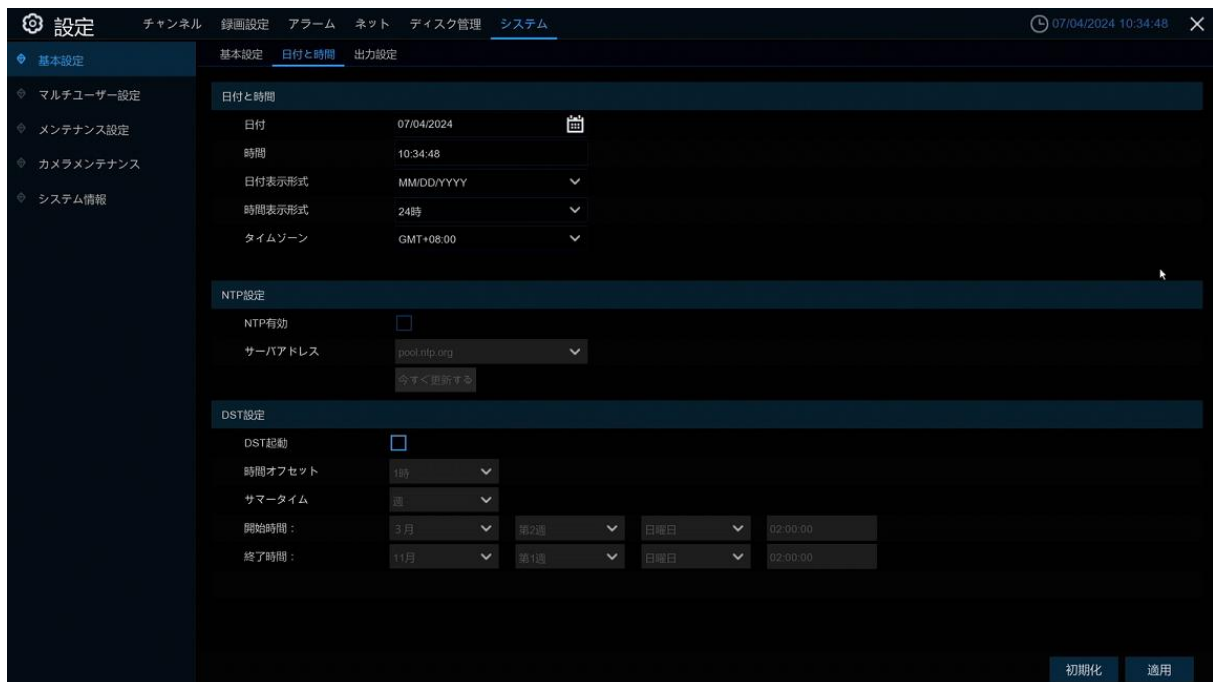
ビデオ形式: お使いの地域に適したビデオ規格を選択します。

メニュータイムアウト: ドロップダウンメニューをクリックして、DVR がアイドル状態のときにメインメニューを終了する時間を選択します。また、“OFF” を選択して無効にすることもできます（パスワード保護は一時的に無効になります）。

モード: XVR または DVR。XVR モデルでは DVR に IP カメラを追加できます。モードを XVR から DVR に変更すると、追加されたすべての IP カメラが削除されます。

ウィザードの表示: DVR をオンまたはリブートするたびにスタートアップウィザードを表示する場合は、このチェックボックスをオンにします。

5.6.1.1 日付と時刻



日付と時刻

日付: カレンダーアイコンをクリックして日付を変更します。

時間: ダイアログボックスをクリックして時間を変更します。

日付形式: 優先する日付形式を選択します。

時刻形式: 希望の時刻形式を選択します。

タイムゾーン: お客様の地域または都市に関連するタイムゾーンを選択します。

5.6.1.2 NTP 設定

NTP(ネットワークタイムプロトコル)機能により、DVR は自動的にクロックをタイムサーバと同期させることができます。これにより、常に正確な時間設定を持つことができます(DVR は定期的に自動的に同期されます)。



NTP を有効にする場合はオンにし、サーバーアドレスを選択し、[今すぐ更新] をクリックして日付と時刻を手動で同期します。

[適用] をクリックして設定を保存します。

NTP 機能が有効になっている場合、システムは 1 日 00:07:50、またはシステムの起動時に毎回システム時刻を更新します。

5.6.1.3 DST 設定

DST (夏時間) 機能を使用すると、特定のタイムゾーンまたは地域で夏時間が増加した時間を選択できます。



DST を有効にする : 夏時間設定がタイムゾーンまたは地域に適用される場合は、このオプションをオンにして有効にします。

タイム オフセット: 夏時間がタイムゾーンで増加した時間を選択します。これは、世界協定時刻 (UTC) と現地時刻の間の分単位の差を示します。

DST を有効にする: 夏時間の開始と終了の方法を選択できます。

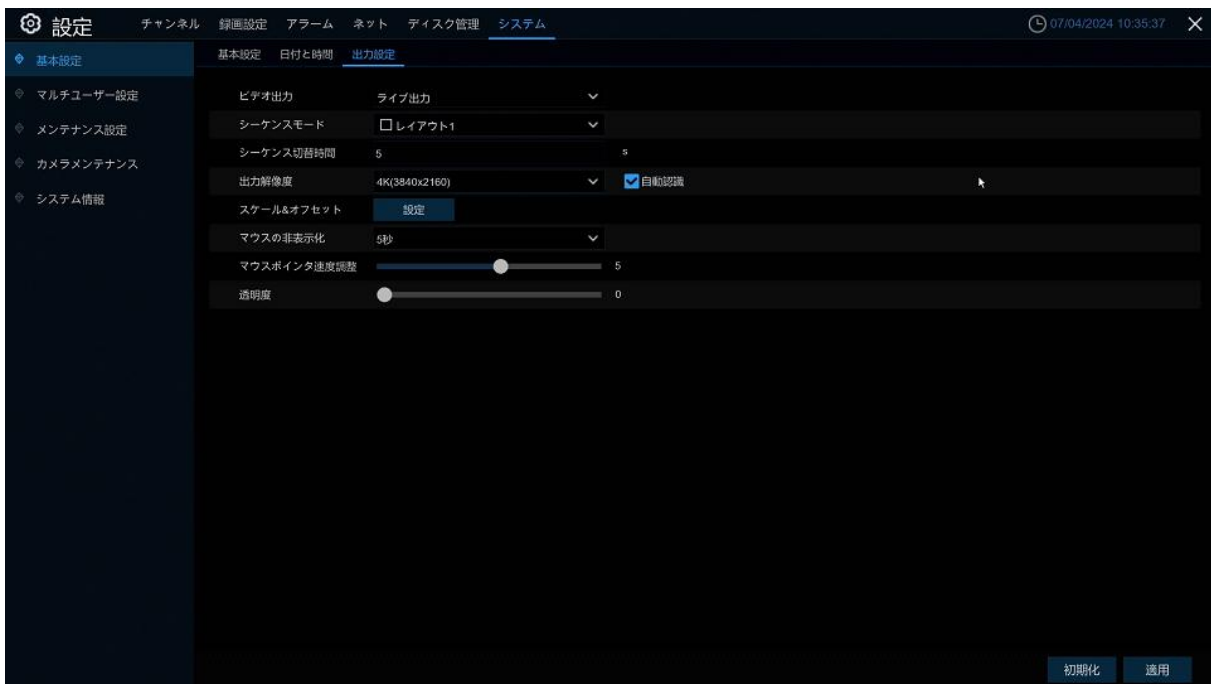
週: 夏時間の開始と終了を指定する特定の日時を指定します。

日付: 開始日(カレンダーアイコンをクリック)、夏時間の開始と終了の終了日と時刻を選択します。

開始時間/終了時刻: 夏時間の開始時刻と終了時刻を設定します。

5.6.2 出力設定

このメニューでは、ビデオ出力パラメータを設定できます。



ビデオ出力: 出力オプションを選択するには:

LIVE-OUT は、メイン出力パラメータを設定するために使用されます。

SPOT-OUT は、VGA スポット出力パラメータを構成するためのオプションです。

5.6.2.1 ライブアウト



[ビデオ出力]：ドロップダウンメニューから[LIVE-OUT]を選択します。

[SEQ モード]：DVR がシーケンスモードのときに表示するビデオチャンネルの数を選択します

SEQ Dwell Time：次のビデオチャンネルを表示する前に、シーケンスモードでビデオチャンネルを表示したい時間の最大長を秒単位で入力します(最大 300 秒)。

出力解像度：お使いのテレビに適したディスプレイ解像度を選択します。DVR が 4K 出力解像度をサポートしている場合は、2K (2560 x 1440) または 4K (3840 x 2160) を選択して、4K テレビで提供される高い解像度を利用できます。

スケールとオフセット：DVR は、モニターやテレビに合わせてディスプレイ画面のサイズと位置を調整することができます。[設定]ボタンをクリックして調整します。



[スケール]：表示画面のサイズをスケールで調整します。

[X オフセット]：表示画面を左右に移動します。

[Y オフセット]：表示されている画面を上下に移動します。

矢印上でマウスの左ボタンを1回クリックするか長押ししてサイズと位置を調整するか、マウスのホイールをスクロールして調整します。マウスの右ボタンをクリックして終了し、[適用] をクリックして変更を保存します。

カーソル非表示の遅延：DVR がアイドル状態のときにマウスカーソルを非表示にする時間を選択するには、ドロップダウンメニューをクリックします。また、“OFF” を選択して無効にすることもできます (パスワード保護は一時的に無効になります)。

カーソルの加速：マウスカーソルを移動する速度を調整します。

透明度：スライダーを左右に押し続けると、メニューバーとメインメニューの画面の表示の透過度を変更できます。それに応じて調整します。

5.6.3 マルチユーザー


このメニューでは、ユーザー名、パスワード、およびユーザー権限を設定できます。

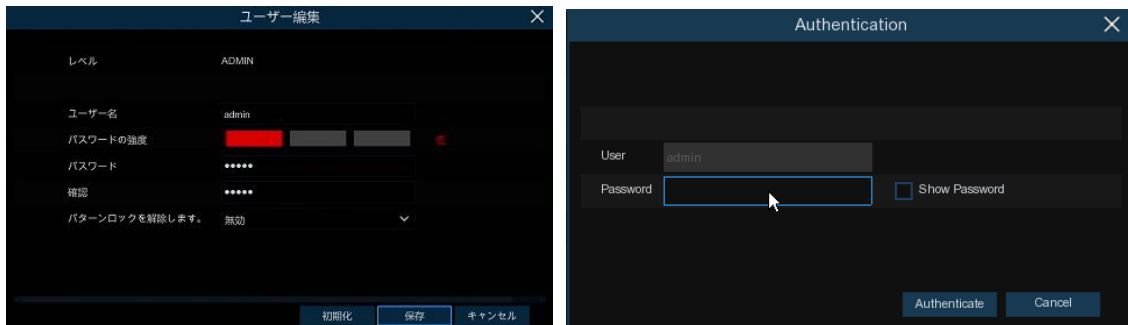


システムは、次のアカウントタイプをサポートします。

- ADMIN – システム管理者: システムのフルコントロールを持ち、管理者とユーザーの両方のパスワードを変更でき、パスワード保護を有効/無効にできます。
- USER – 通常のユーザー: ユーザーはライブ表示、検索、再生、およびその他の機能へのアクセス権のみを持ちます。システムへのアクセスレベルが異なる複数のユーザー アカウントを設定できます。

5.6.3.1 パスワードの変更

管理者アカウントまたはユーザー アカウントのパスワードを変更するには、[ユーザー編集] アイコン  をクリックします。パスワードは 8 文字以上で、数字と文字を混在させることができます。確認のために新しいパスワードをもう一度入力し、[保存] をクリックして新しいパスワードを保存します。認証のために古いパスワードを入力する必要があります。



パスワードの有効化: パスワードを有効にしてプライバシーを保護することを強くお勧めします。パスワード保護を無効にしたい場合は、DVR が安全な場所に置かれていることを確認してください。

5.6.3.2 新規ユーザーの追加

マルチユーザー設定

No.	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	ユーザー編集	許可
1	admin	ADMIN	有効		
2	user1	USER1	無効		
3	user2	USER2	無効		
4	user3	USER3	無効		
5	user4	USER4	無効		
6	user5	USER5	無効		
7	user6	USER6	無効		

既定のユーザ admin

1. 現在無効になっているユーザーアカウントのいずれかを選択し、[ユーザーの編集] アイコンをクリック します。

ユーザー編集

レベル USER1

ユーザー有効 有効

ユーザー名 user1

パスワードの強度 高

パスワード 表示

確認 表示

初期化 保存 キャンセル

2. [ユーザーの有効化] の横にあるドロップダウンから [有効] を選択します。
3. [ユーザー名] の横にあるフィールドをクリックして、アカウントのユーザー名を変更します。
4. [パスワードの有効化] の横にあるドロップダウンから [有効] を選択します。
5. [パスワード] の横にあるフィールドをクリックして、希望するパスワードを入力します。
6. [確認] の横にあるフィールドをクリックして、パスワードを再入力します。
7. [保存] をクリックします。認証するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

5.6.3.3 ユーザー権限の設定

管理者アカウントは、すべてのシステム機能を完全に制御できる唯一のアカウントです。各ユーザー アカウントの特定のメニューおよび機能へのアクセスを有効または無効にできます。

マルチユーザー設定

No.	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	ユーザー編集	許可
1	admin	ADMIN	有効		
2	user1	USER1	無効		
3	user2	USER2	無効		
4	user3	USER3	無効		
5	user4	USER4	無効		
6	user5	USER5	無効		
7	user6	USER6	無効		

既定のユーザー admin

1. [アクセス権] タブの下にある編集アイコン  をクリックします。

ユーザー許可

ユーザー名 user1

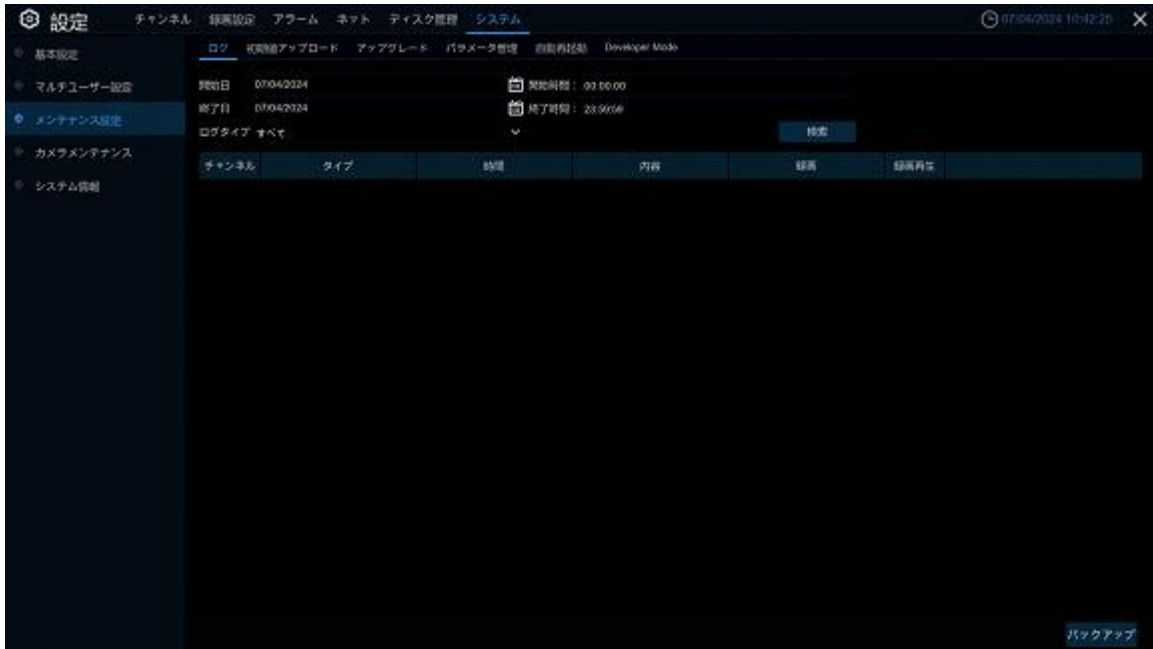
ログ検索 パラメータ 自動再起動 手動録画
 ディスク管理 遠隔ログイン SEQコントロール 手動キャプチャ
 音声
 バックアップ
 アナログチャンネル 1 2 3 4
 IPカメラ 1 2 3 4 5 6
 ライブ
 アナログチャンネル 1 2 3 4
 IPカメラ 1 2 3 4 5 6
 録画再生
 アナログチャンネル 1 2 3 4
 IPカメラ 1 2 3 4 5 6
 PTZ
 アナログチャンネル 1 2 3 4
 IPカメラ 1 2 3 4 5 6

すべて クリア 保存 キャンセル

2. ユーザーにアクセスするシステムメニューまたは機能の横にあるチェックボックスをオンにします。[すべて] をクリックしてすべてのボックスをオンにします。[クリア] をクリックして、チェックボックスをオフにします。
3. [保存] をクリックして変更を保存します。

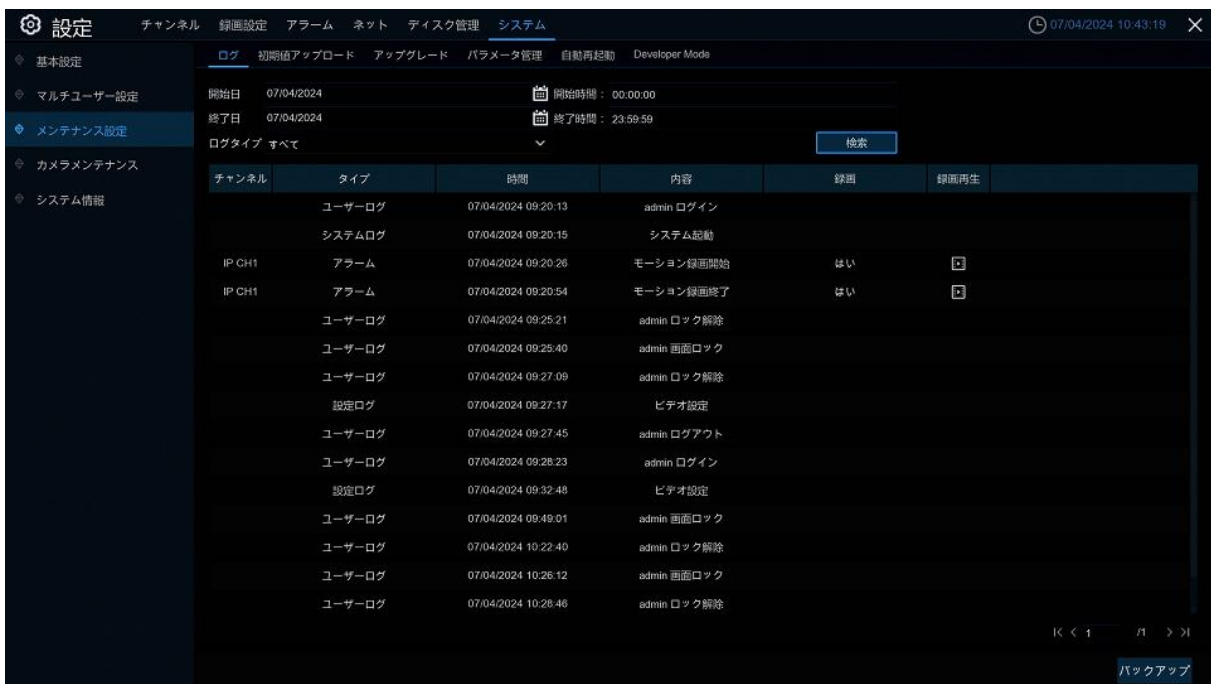
5.6.4 メンテナンス

このセクションでは、システムログの検索と表示、デフォルト設定のロード、システムのアップグレード、システムパラメータのエクスポートとインポート、マネージャシステムの自動再起動が可能です。



5.6.4.1 ログ

システムログには、モーションアラームやシステム警告などの重要なシステムイベントが記録されます。USB フラッシュ ドライブに対して、一定期間システム ログのバックアップ ファイルを簡単に作成できます。

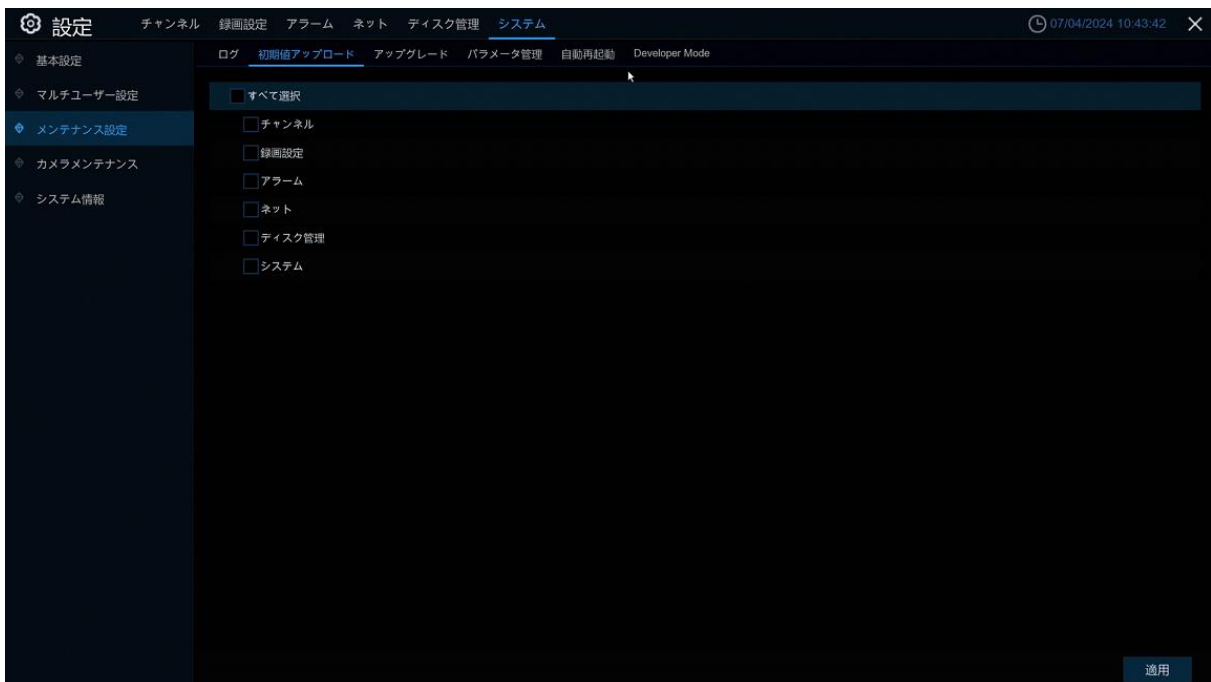


ログの検索とバックアップ:

1. [開始日と開始日時] の横のフィールドをクリックして、画面上のカレンダーから検索の開始日と時刻を選択します。
2. [終了日と終了日時] の横にあるフィールドをクリックして、画面上のカレンダーから検索の終了日と時刻を選択します。
3. [ログの種類] の横にあるドロップダウンから検索するイベントの種類を選択するか、[すべて] を選択して、選択した期間のシステムログ全体を表示します。
4. [検索] をクリックします。
5. 検索期間からシステムログイベントを参照します。
 - ビデオイベントは、[再生]列をクリックすることで即座に再生できます。右クリックして検索結果に戻ります。
 - メニューの **K < > M** 右下隅にある / ボタンを使用して、システムログイベントのページ間を移動します。
6. [バックアップ] をクリックして、検索期間のシステムログのバックアップを作成します。フラッシュの派生物が DVR の USB ポートに接続されていることを確認してください。
7. バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップ ファイルを保存するフォルダに移動し、[OK] をクリックして開始します。

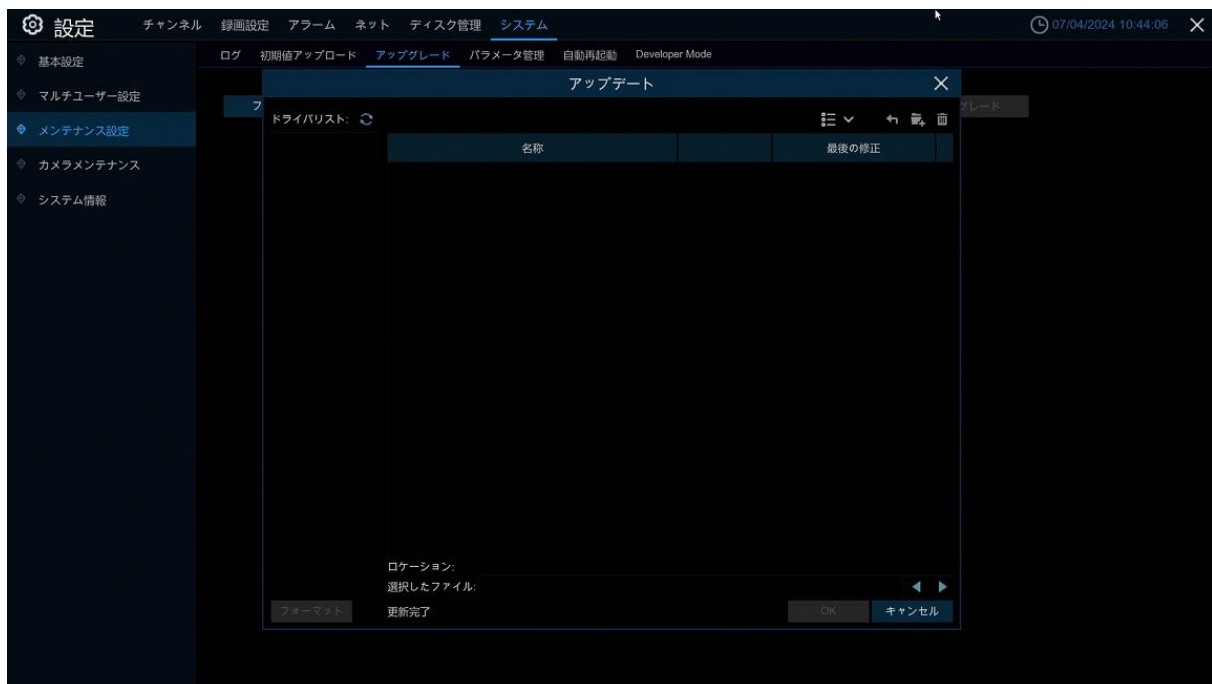
5.6.4.2 ロードのデフォルト

DVR 設定をデフォルトの状態にリセットします。すべての設定を一度にリセットするか、特定のメニューの設定だけをリセットするかを選択できます。デフォルト設定を復元しても、ハードディスクに保存された記録やスナップショットは削除されません。



復元する項目をオンにするか、[すべて選択] をオンにしてすべての項目を選択します。[適用] をクリックして、選択した項目の既定の設定を読み込みます。

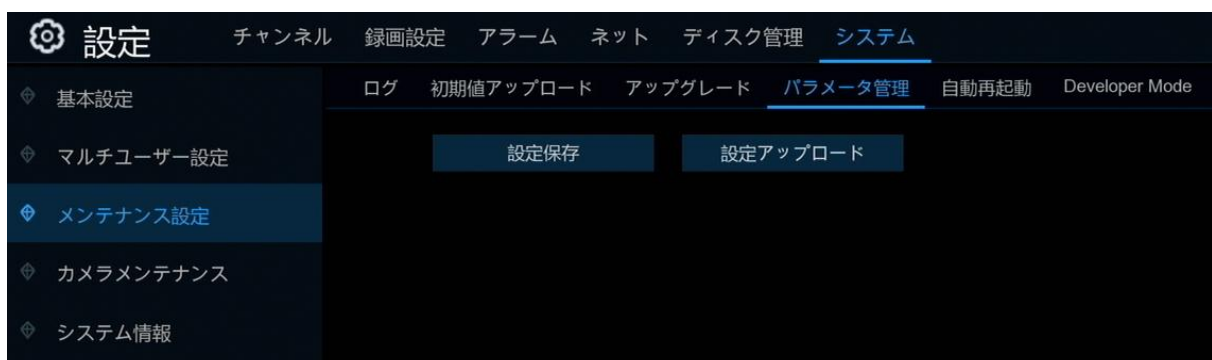
5.6.4.3 アップグレード



1. ファームウェアファイルをコピーします(USB ドライブに SW ファイルを挿入し、USB フラッシュドライブを DVR の USB ポートに挿入します)。
2. [ファイルの選択]ボタンをクリックして、USB フラッシュドライブのファームウェアファイルを選択し、[OK]をクリックします。
3. [アップグレード] ボタンをクリックして、システムのアップグレードを開始します。システムのアップグレードは約 5~10 分続きます、DVR の電源を切ったり、ファームウェアのアップグレード中に DVR から USB を取り外したりしないでください。

5.6.4.4 パラメータ管理

USB フラッシュドライブに設定したメインメニュー設定をエクスポートしたり、USB フラッシュドライブから DVR にエクスポートした設定ファイルをインポートしたりできます。



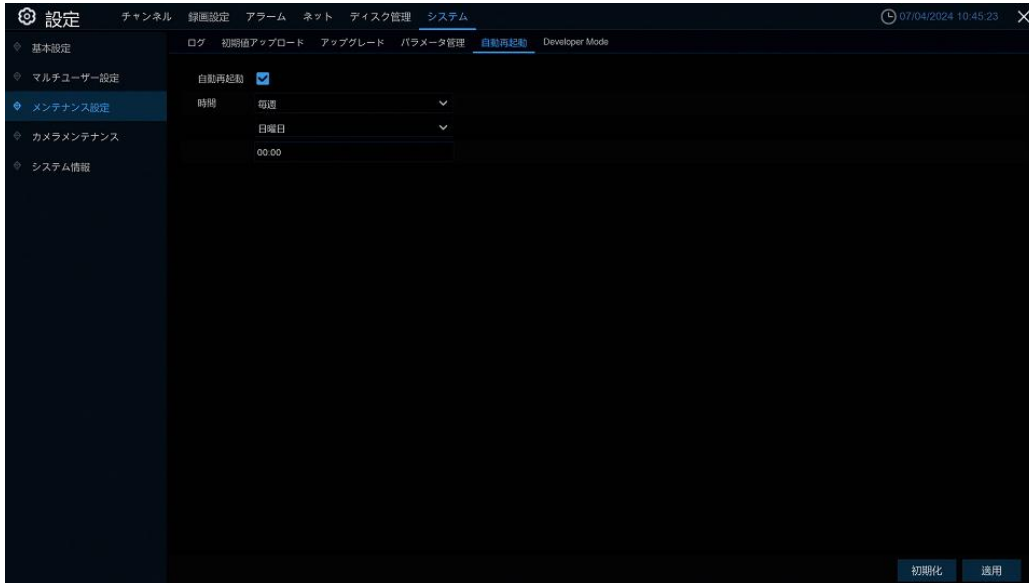
設定を保存: クリックすると、DVR の現在のシステム設定が USB デバイスに保存されます。認証するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

設定の読み込み: システム設定のエクスポートを作成したら、別の DVR に設定をインポートできます。[設定の読み込み]ボタンをクリックして、USB フラッシュドライブからインポートする

システム設定ファイルに移動します。認証するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

5.6.4.4 自動再起動

このメニューにより、システムは DVR を定期的に自動再起動できます。この機能は、DVR の操作整合性を維持するため、有効にしておくことをお勧めします。

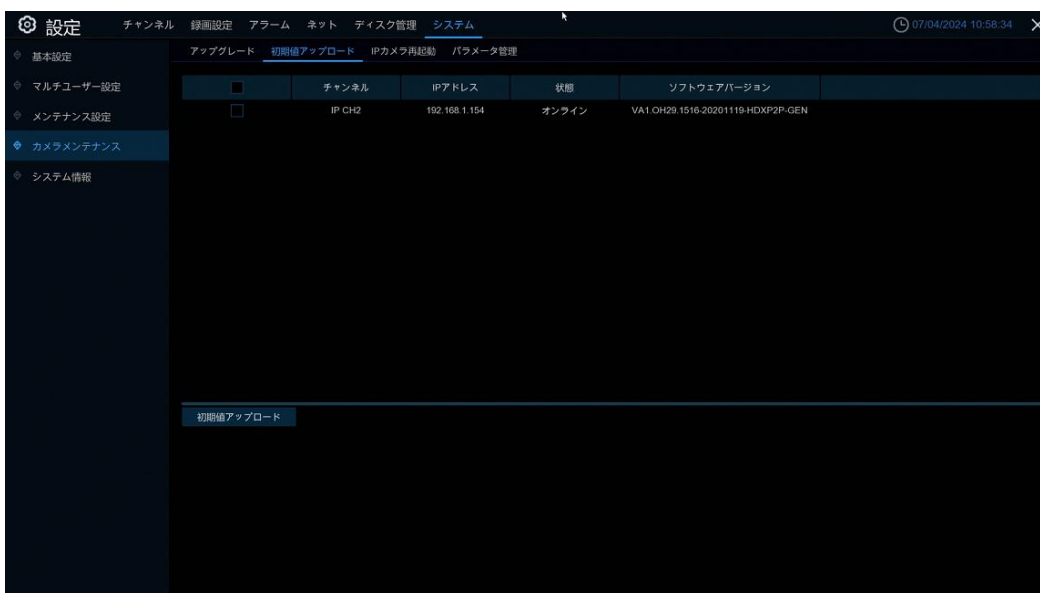


自動再起動: 有効にするチェックします。

時間: DVR を日、週、または月ごとに再起動するように設定できます。

5.6.5 IP カメラの維持

このメニューでは、IP カメラのファームウェアをアップグレードし、IP カメラのデフォルト設定に戻すことができます。



5.6.5.1 IP カメラのアップグレード



1. ファームウェアをアップグレードする IP カメラを1つ選択します。
2. [ファイルの選択] をクリックし、USB フラッシュドライブから更新ファイルを選択し、[OK] をクリックします。
3. [IPC アップグレード] ボタンをクリックしてアップグレードを開始します。認証するには、管理者パスワードを入力する必要があります。アップグレード中は、DVR と IP カメラの電源を切ったり、USB を取り外したりしないでください。

5.6.5.2 IP カメラのデフォルト設定をロードする



1. 復元する IP カメラを選択します。
2. 設定を復元するには、[デフォルトのロード] をクリックします。認証するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

5.6.6 システム情報

このメニューでは、システム情報、チャンネル情報、レコード情報、ネットワークステータスを表示できます。

5.6.6.1 情報

デバイス ID、デバイス モデル名、IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェア バージョンなどのシステム情報を表示します。



システム情報	チャンネル情報	録画情報	ネットワーク情報
デバイスID	000000		
デバイス名	SAVR-H8204ST-AHL1		
デバイスタイプ	SAVR-H8204ST-AHL1		
ハードウェアバージョン	DM-444		
ソフトウェアバージョン	V8.1.0-20210616		
IEクライアントバージョン	V1.0.0.119		
ビデオ形式	NTSC		
HDDボリューム	1863G		
IPアドレス	192.168.1.100		
IPv6 アドレス	fe80::12fc:94ff:fea2:2b75 / 64		
ウェブ	80,80		
クライアント	9000,9000		
MACアドレス	10-FC-54-A2-28-75		
ネットワーク情報	接続失敗		
P2P ID	4KKV66YDDW9JAS87111A		

DVR が P2P 機能をサポートしている場合は、情報ページに P2P ID と P2P QR コードが表示されます。あなたは、リモート DVR を表示するためにモバイルアプリでこの QR コードをスキャンすることができます。

5.6.6.2 チャンネル情報

システム情報								
チャンネル情報								
チャンネル	カメラ名	状態	メイン	サブ	モバイル	モーション検知	プライバシーゾーン	
CH1	CH1	有効	1920x1080, 15Fps, 2Mbps	704x 480, 10Fps, 512Kbps	サポートしない	サポート	サポート	
CH2	CH2	無効						
CH3	CH3	無効						
CH4	CH4	無効						
IP CH1	IP CH1	オフライン						
IP CH2	IP CH2	オンライン	1920x1088, 25Fps, 4Mbps	640x 480, 15Fps, 1024Kbps	サポートしない	サポート	サポートしない	

エイリアス、メインストリームおよびサブストリーム録画仕様、モーション検出ステータス&プライバシーゾーンなど、接続された各カメラのチャンネル情報を表示します。

5.6.6.3 記録情報

システム情報							
チャンネル情報							
録画情報							
チャンネル	録画状態	録画スイッチ	ストリーム	解像度	FPS	ビットレート	
CH1	オン	有効	デュアルストリーム	1920x1080 704x480	15Fps 10Fps	2Mbps 512Kbps	
CH2	オフ	有効					
CH3	オフ	有効					
CH4	オフ	有効					
IP CH1	オフ	有効					
IP CH2	オン	有効	デュアルストリーム	1920x1088 640x480	25Fps 15Fps	4Mbps 1024Kbps	

ビットレート、ストリームタイプ、記録解像度、フレームレート(FPS)など、接続された各カメラの録画情報を表示します。

5.6.6.4 ネットワーク状態

システム情報		チャンネル情報		録画情報		ネットワーク情報	
プロパティ				値			
WAN							
IPアドレス				192.168.1.100			
サブネットマスク				255.255.255.0			
ゲートウェイ				192.168.1.1			
MACアドレス				10-FC-54-A2-2B-75			
IPv6 アドレス				fe80::12fc:54ff:fea2:2b75 / 64			
IPv6 ゲートウェイ				fe80::/64			
DHCP				無効			
DNS1				192.168.1.1			
DNS2				8.8.8.8			
PPPOE				無効			
ポート							
ウェブ				80,80,無効,無効			
クライアント				9000,9000,無効,無効			
RTSP				554,554,無効,無効			
Https				443,443,無効,無効			
合計バンド幅:				8Mbps			
使用バンド幅:				5Mbps			

ネットワーク情報を表示する：


総バンド幅： IP カメラの DVR の総入力バンド幅を示します。

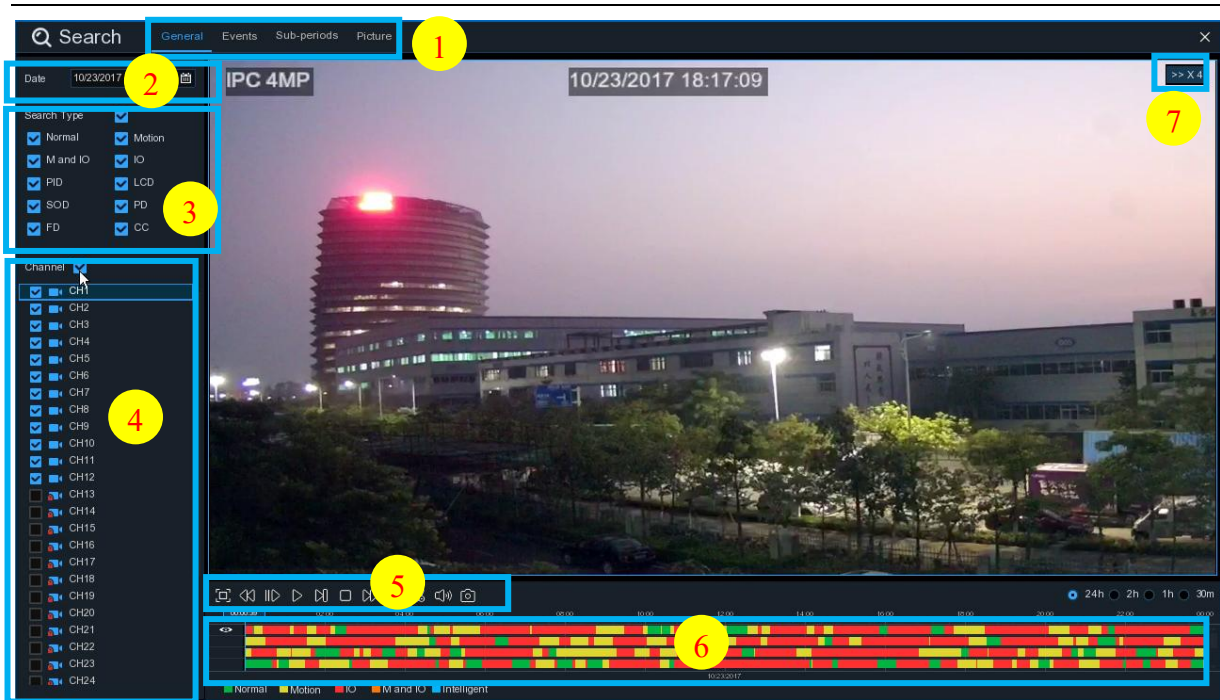
使用されるバンド幅： IP カメラの使用バンド幅を表示します。

第6章 検索、再生、バックアップ

検索機能を使用すると、以前に録画したビデオや、DVR の HDD に保存されているスナップショットを検索して再生することができます。録画スケジュール、手動録画、モーションイベントのみに合ったビデオの再生を選択できます。バックアップ機能を使用すると、重要なイベント(ビデオとスナップショットの両方)を USB フラッシュドライブに保存できます。


6.1 検索機能の使用


 [スタート]メニューの[検索]ボタンをクリックして、検索セクションに入ります。




1. 検索オプション: システムは、さまざまな検索&再生方法を提供しています:一般、イベント、サブピリオド、スマート&ピクチャ
2. 検索日: 再生する日付で検索します。
3. 検索の種類: システムは、検索を絞り込むために異なる検索の種類を提供します。
4. チャンネルの選択: 検索&再生したいチャンネルを選択します。
5. ビデオ再生コントロール: ビデオの再生を制御します。





 ビデオの再生を全画面表示に拡大する

 巻き戻し、x2、x4、x8、x16


 スロープレー、1/2、1/4、1/8、1/16 スピード


 再生


 一時停止


 フレームごとに再生します。クリックしてビデオのフレームを再生する


 停止



 早送り、x2、x4、x8 および x16

 デジタルズーム：クリックしてズームインし、再生中にカメラ画像をクリックしてドラッグして、選択した領域を拡大します。右クリックすると、通常の再生に戻ります。

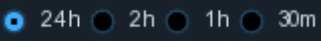
 ビデオクリップ。ビデオの一部を USB フラッシュドライブにすばやく保存します。
6.1.1.1 ビデオクリップのバックアップの詳細を見る

 ビデオクリップを保存します。

 音量調節：音量を上げるか減らすには、スライダバーをスクロールします。

 スナップショット：スナップショットイメージを USB フラッシュドライブにキャプチャします。ビデオの再生が分割画面表示の場合は、キャプチャするチャンネルにマウスカーソルを移動し、 アイコンをクリックしてスナップショットを保存します。

6. **タイムライン**：連続した録画は、さまざまな種類の録画(ディスプレイの右下隅に表示される凡例)を表す色付きのバーで表示されます。時間枠のオプション、

 24h ● 2h ● 1h ● 30m を使用して小さい期間またはより大きな期間を表示します。

異なる色で表示される記録の異なるタイプ：

 Normal Motion I/O M and I/O Intelligent PIR

グリーンカラーで連続録画；

黄色の色でモーション録画；

I/O は赤の色で録画します。

オレンジ色モーション&I/O 録画；

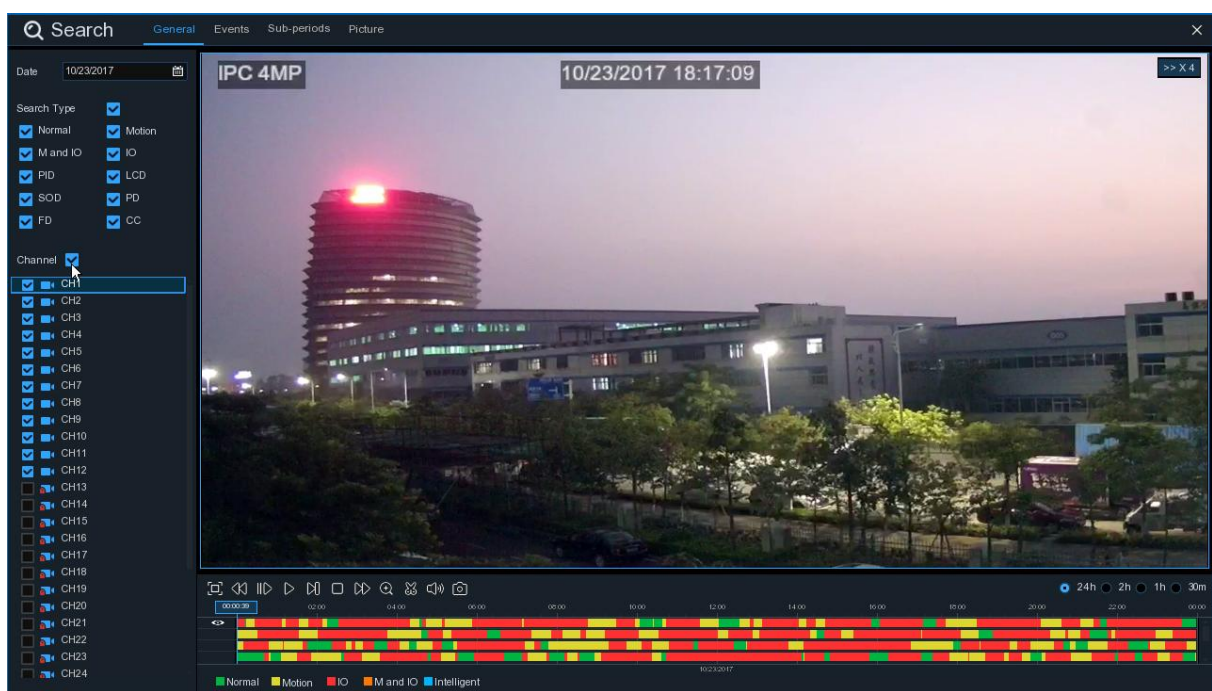
青色インテリジェント録画；


紫色の PIR 記録；

7. **再生ステータス**：ビデオ再生ステータスを表示します。

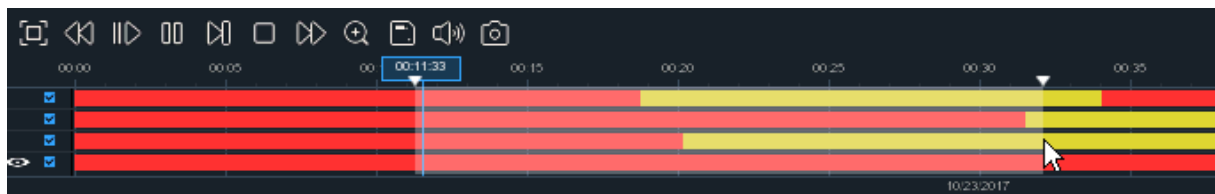
6.1 .1 一般的な検索とビデオの再生


このメニューでは、選択した日付の録画を検索して再生できます。



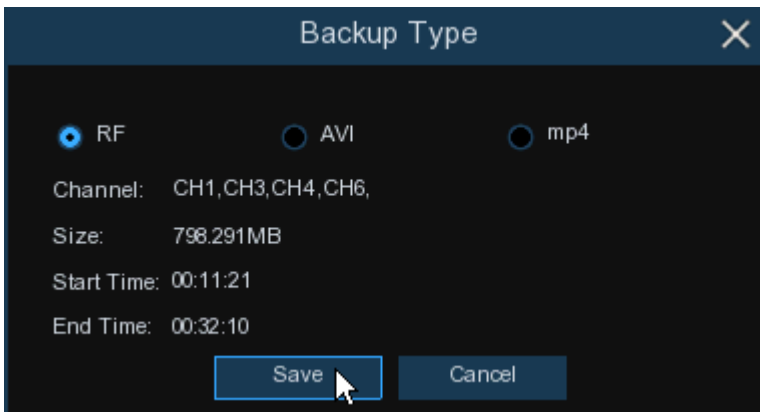
1. カレンダーからビデオ録画を検索する日付を選択します。
2. 検索の種類を選択します。
3. 検索したいチャンネルを確認するか、チャンネル をチェックして、接続されているすべてのチャンネルを検索します。
4. 検索結果は、00:00 から 24:00 までタイムラインに表示されます。
5. ▶ボタンをクリックすると再生が開始します。
6. ビデオ再生コントロールのボタン で再生を 制御します。
7. 時間枠のオプション(24h 2h 1h 30m)を使用して、より小さい期間またはより大きな期間を表示します。
8. USB フラッシュ ドライブに再生中にビデオのセクションをすばやく保存する場合は  Video のクリップ、バックアップを使用します。

6.1.1.1 ビデオクリップのバックアップ

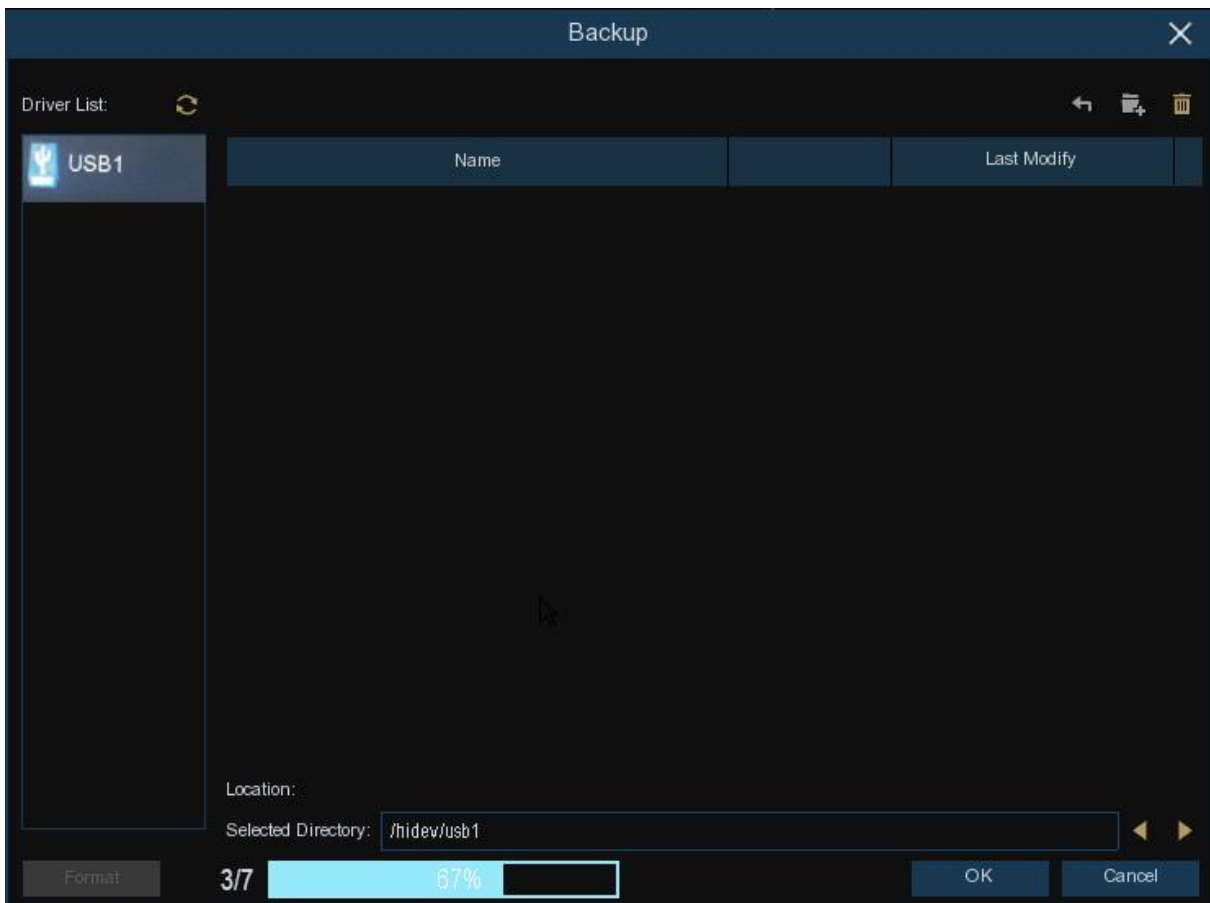


1. USB フラッシュ ドライブを DVR に挿入します。
2. ビデオ録画の再生を開始します。
3.  アイコンをクリックします。
4. ビデオクリップのバックアップを作成するチャンネルを確認します。
5. ビデオクリップを開始するタイムラインにマウスカーソルを移動します。
6. マウスの左ボタンを押したまま、ビデオクリップを終了するタイムラインまでドラッグします。

7. アイコンが アイコンに変更され、 クリックしてビデオクリップを保存します。
8. バックアップ ファイルのファイルタイプを選択し、[保存]ボタンをクリックしてビデオ クリップを保存します。USB ドライバにビデオクリップを保存するのに十分な容量があることを確認してください。

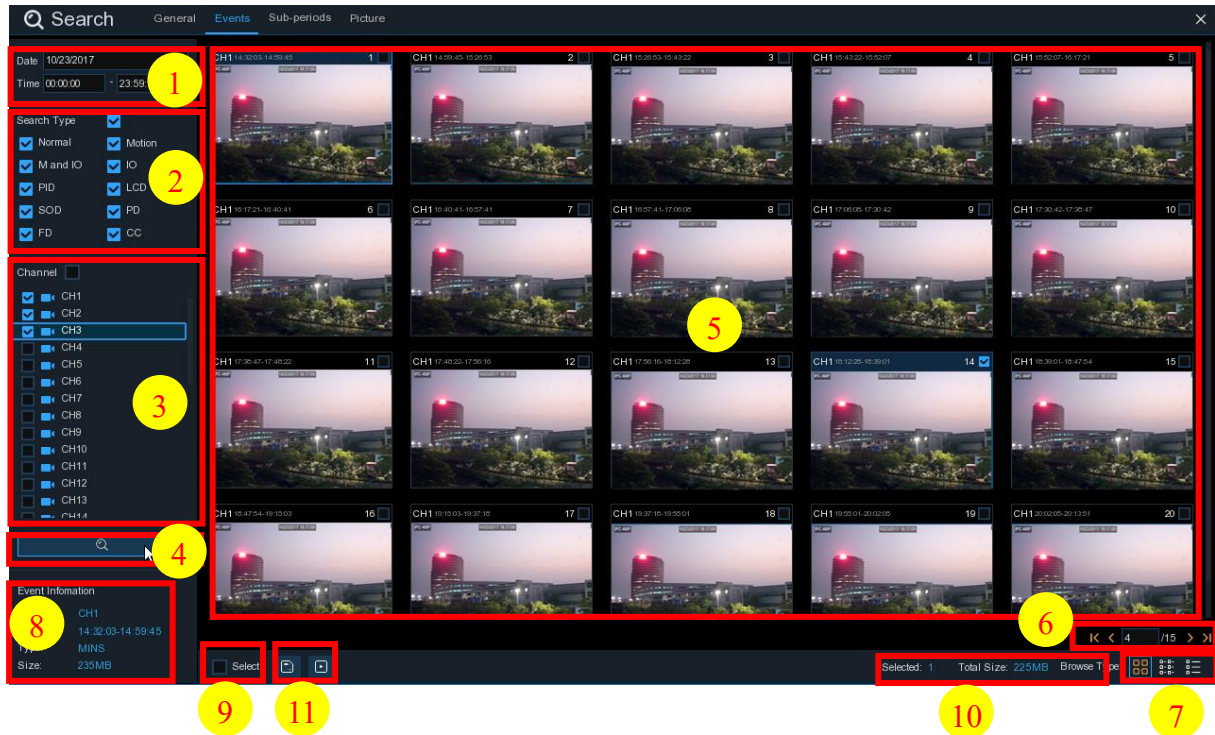


9. バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動します。
10. [OK] をクリックして開始します。ウィンドウの下部にある進行状況バーに、バックアップの進行状況が表示されます。




6.1.2 イベント検索、再生、バックアップ

イベント検索では、チャンネル、開始時刻と終了時刻、および記録の種類を簡単に要約したビデオ録画のリストを表示できます。イベントを USB フラッシュドライブにすばやくバックアップすることもできます。




イベントを検索、再生、バックアップするには:

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 検索する記録の種類を確認するか、[検索の種類]をオンにしてすべてを選択します。
3. 検索するチャンネルを選択するか、[チャンネル] をオンにしてすべてのチャンネルを選択します。
4. 🔍 アイコンをクリックすると検索が開始されます。
5. 検索条件に適合するイベントは、リスト形式で表示されます。いずれかのイベントでマウスの左ボタンをダブルクリックすると、すぐにビデオを再生できます。
6. ⏪ 4 /15 ⏩ メニューの右下隅にあるアイコンをクリックして、イベントのページ間を参照するか、参照するページを入力します。
7. 画面の右下隅に表示されているアイコンの下をクリックすると、リストフォームのビューを切り替えることができます。



 サムネイルビュー: イベントのスナップショットを表示できます。



 リスト ビュー: イベントが一覧に表示されます。

<input type="checkbox"/> 1 CH1 00:00:00	<input type="checkbox"/> 2 CH1 00:00:45	<input type="checkbox"/> 3 CH1 00:18:30	<input type="checkbox"/> 4 CH1 00:44:03	<input type="checkbox"/> 5 CH1 01:10:48	<input type="checkbox"/> 6 CH1 01:19:22	<input type="checkbox"/> 7 CH1 01:35:37	<input type="checkbox"/> 8 CH1 01:43:32
<input type="checkbox"/> 9 CH1 02:01:12	<input type="checkbox"/> 10 CH1 02:25:38	<input type="checkbox"/> 11 CH1 02:43:17	<input type="checkbox"/> 12 CH1 03:02:08	<input type="checkbox"/> 13 CH1 03:08:37	<input type="checkbox"/> 14 CH1 03:10:01	<input type="checkbox"/> 15 CH1 03:14:54	<input type="checkbox"/> 16 CH1 03:42:12
<input type="checkbox"/> 17 CH1 04:07:23	<input type="checkbox"/> 18 CH1 04:19:35	<input type="checkbox"/> 19 CH1 04:36:40	<input type="checkbox"/> 20 CH1 05:00:20	<input type="checkbox"/> 21 CH1 05:24:12	<input type="checkbox"/> 22 CH1 05:45:55	<input type="checkbox"/> 23 CH1 06:04:07	<input type="checkbox"/> 24 CH1 06:14:27
<input type="checkbox"/> 25 CH1 06:41:12	<input type="checkbox"/> 26 CH1 06:44:25	<input type="checkbox"/> 27 CH1 07:01:42	<input type="checkbox"/> 28 CH1 07:20:43	<input type="checkbox"/> 29 CH1 07:31:23	<input type="checkbox"/> 30 CH1 07:48:04	<input type="checkbox"/> 31 CH1 08:17:33	<input type="checkbox"/> 32 CH1 08:40:16
<input type="checkbox"/> 33 CH1 08:50:34	<input type="checkbox"/> 34 CH1 09:07:05	<input type="checkbox"/> 35 CH1 09:25:12	<input type="checkbox"/> 36 CH1 09:44:07	<input type="checkbox"/> 37 CH1 09:46:08	<input type="checkbox"/> 38 CH1 10:00:52	<input type="checkbox"/> 39 CH1 10:14:18	<input type="checkbox"/> 40 CH1 10:34:42
<input type="checkbox"/> 41 CH1 10:45:57	<input type="checkbox"/> 42 CH1 11:12:48	<input type="checkbox"/> 43 CH1 11:20:27	<input type="checkbox"/> 44 CH1 11:48:18	<input type="checkbox"/> 45 CH1 12:07:26	<input type="checkbox"/> 46 CH1 12:30:12	<input type="checkbox"/> 47 CH1 12:44:43	<input type="checkbox"/> 48 CH1 12:55:49
<input type="checkbox"/> 49 CH1 13:06:48	<input type="checkbox"/> 50 CH1 13:30:46	<input type="checkbox"/> 51 CH1 13:37:51	<input type="checkbox"/> 52 CH1 13:57:01	<input type="checkbox"/> 53 CH1 14:10:24	<input type="checkbox"/> 54 CH1 14:11:16	<input type="checkbox"/> 55 CH1 14:18:12	<input type="checkbox"/> 56 CH1 14:35:26
<input type="checkbox"/> 57 CH1 14:40:31	<input type="checkbox"/> 58 CH1 14:44:42	<input type="checkbox"/> 59 CH1 14:48:38	<input type="checkbox"/> 60 CH1 15:15:44	<input type="checkbox"/> 61 CH1 15:39:06	<input type="checkbox"/> 62 CH1 16:01:07	<input type="checkbox"/> 63 CH1 16:16:00	<input type="checkbox"/> 64 CH1 16:24:41
<input type="checkbox"/> 65 CH1 16:27:29	<input type="checkbox"/> 66 CH1 16:43:47	<input type="checkbox"/> 67 CH1 16:45:43	<input type="checkbox"/> 68 CH1 17:01:14	<input type="checkbox"/> 69 CH1 17:05:03	<input type="checkbox"/> 70 CH1 17:28:30	<input type="checkbox"/> 71 CH1 17:54:23	<input type="checkbox"/> 72 CH1 18:08:49
<input type="checkbox"/> 73 CH1 18:36:07	<input type="checkbox"/> 74 CH1 18:44:14	<input type="checkbox"/> 75 CH1 18:57:14	<input type="checkbox"/> 76 CH1 19:07:37	<input type="checkbox"/> 77 CH1 19:12:12	<input type="checkbox"/> 78 CH1 19:36:50	<input type="checkbox"/> 79 CH1 19:50:34	<input type="checkbox"/> 80 CH1 20:01:42
<input type="checkbox"/> 81 CH1 20:25:40	<input type="checkbox"/> 82 CH1 20:34:32	<input type="checkbox"/> 83 CH1 20:49:48	<input type="checkbox"/> 84 CH1 21:04:51	<input type="checkbox"/> 85 CH1 21:21:09	<input type="checkbox"/> 86 CH1 21:42:12	<input type="checkbox"/> 87 CH1 21:47:36	<input type="checkbox"/> 88 CH1 22:02:49
<input type="checkbox"/> 89 CH1 22:29:59	<input type="checkbox"/> 90 CH1 22:39:14	<input type="checkbox"/> 91 CH1 22:54:42	<input type="checkbox"/> 92 CH1 22:57:45	<input type="checkbox"/> 93 CH1 23:08:03	<input type="checkbox"/> 94 CH1 23:22:59	<input type="checkbox"/> 95 CH1 23:35:50	

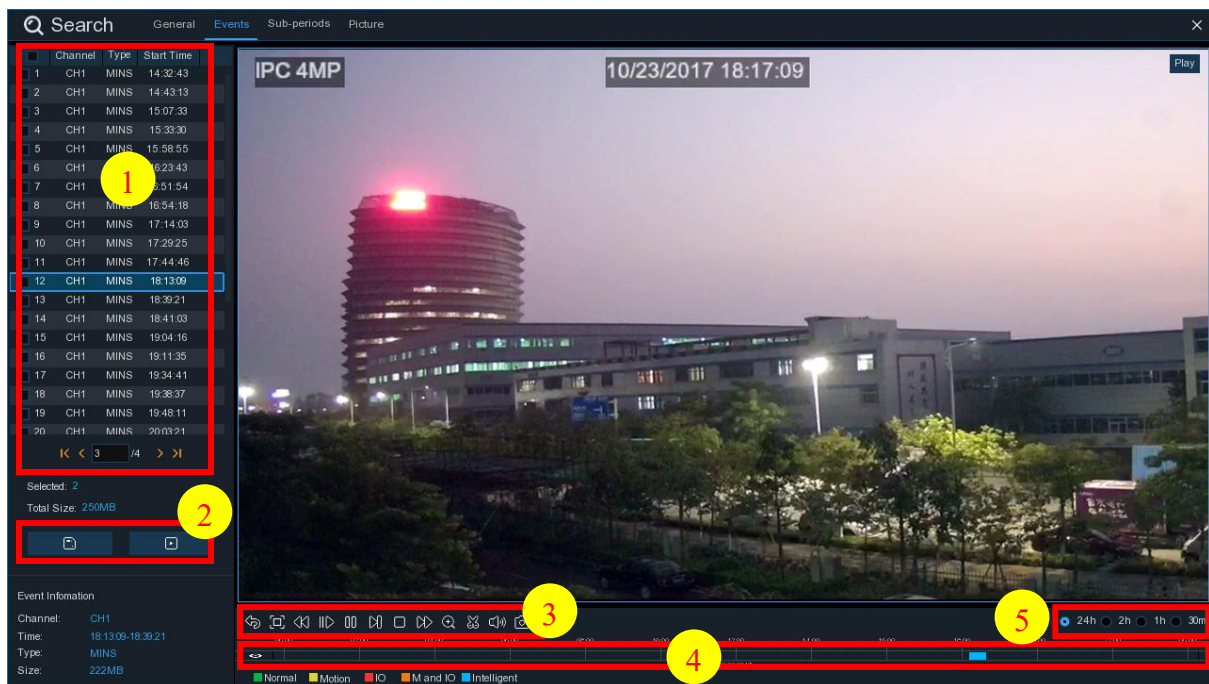
 **詳細ビュー:** イベントの詳細を表示できます。







<input type="checkbox"/>	Channel	Type	Date	Start Time	End Time	Size	Playback	Lock
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	00:00:00	00:00:45	6MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	00:00:45	00:18:30	150MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	00:18:30	00:44:03	217MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	00:44:03	01:10:48	227MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	01:10:48	01:19:22	72MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	01:19:22	01:35:37	138MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	01:35:37	01:43:32	67MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	01:43:32	02:01:12	150MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	02:01:12	02:25:38	207MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	02:25:38	02:43:17	150MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	02:43:17	03:02:08	160MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	CH1	MINS	10/23/2017	03:02:08	03:08:37	55MB	<input type="checkbox"/>	

詳細表示モードでは、ビデオイベントをロックして、ハードドライブでイベントが上書きされないようにすることができます。 アイコンをクリックしてロックするか、 クリックしてイベントのロックを解除します。

- イベントの1つでマウスの左ボタンをクリックすると、システムは画面の左下隅にイベント情報を表示します。
- ファイルを選択するイベントの番号の横にあるチェックボックスをオンにし、[選択]の横にあるチェックボックスをオンにしてページ内のすべてのイベントを選択します。
- 選択したファイルの数、合計サイズ情報が画面右下に表示されます。
- ファイルを選択した後、 アイコンをクリックしてビデオをUSB フラッシュドライブに保存できます。または、イベント再生コントロールウィンドウに  アイコンをクリックしてビデオを再生します。

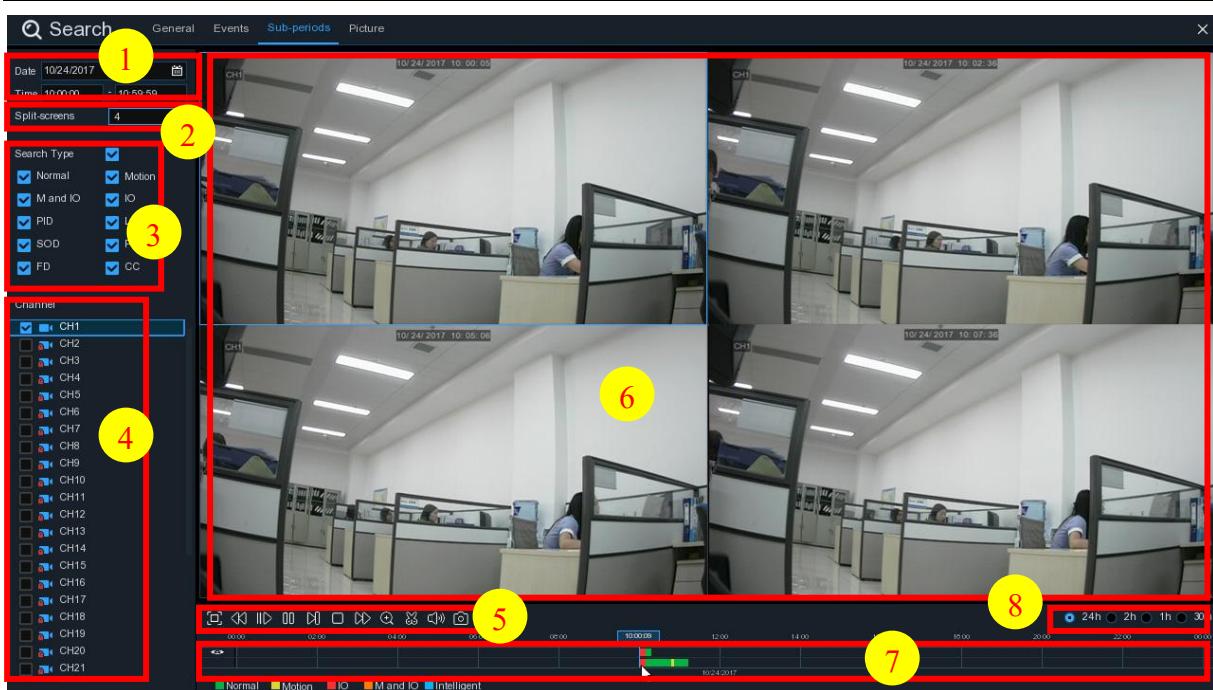
6.1.2.1 イベント再生コントロール



1. イベントリストで、ここでイベントを選択できます。
2. 選択したイベントビデオを USB フラッシュドライブに保存するには、 アイコンをクリックします。ビデオを再生するには  アイコンをクリックします。
3. ビデオ再生コントロールのボタンで再生を 制御します。  アイコンをクリックするか、マウスの右ボタンをクリックして再生を終了し、イベント検索ウィンドウに戻ることができます。
4. 現在プレイしているイベントがタイムラインに表示されます。
5. 時間枠のオプション( 24h  2h  1h  30m)を使用して、より小さい期間またはより大きな期間を表示します。

6.1.3 サブピリオド再生

サブピリオド再生では、1つのチャンネルから複数の通常の録画とモーションイベントを同時に再生できます。通常とイベントの録画では、選択した分割画面モードに応じてビデオが均等に分割されます。たとえば、ビデオの長さを1時間経過し、分割画面 x4 を選択した場合、各分割画面は15分間再生されます。



サブピリオドで動画を検索して再生するには:

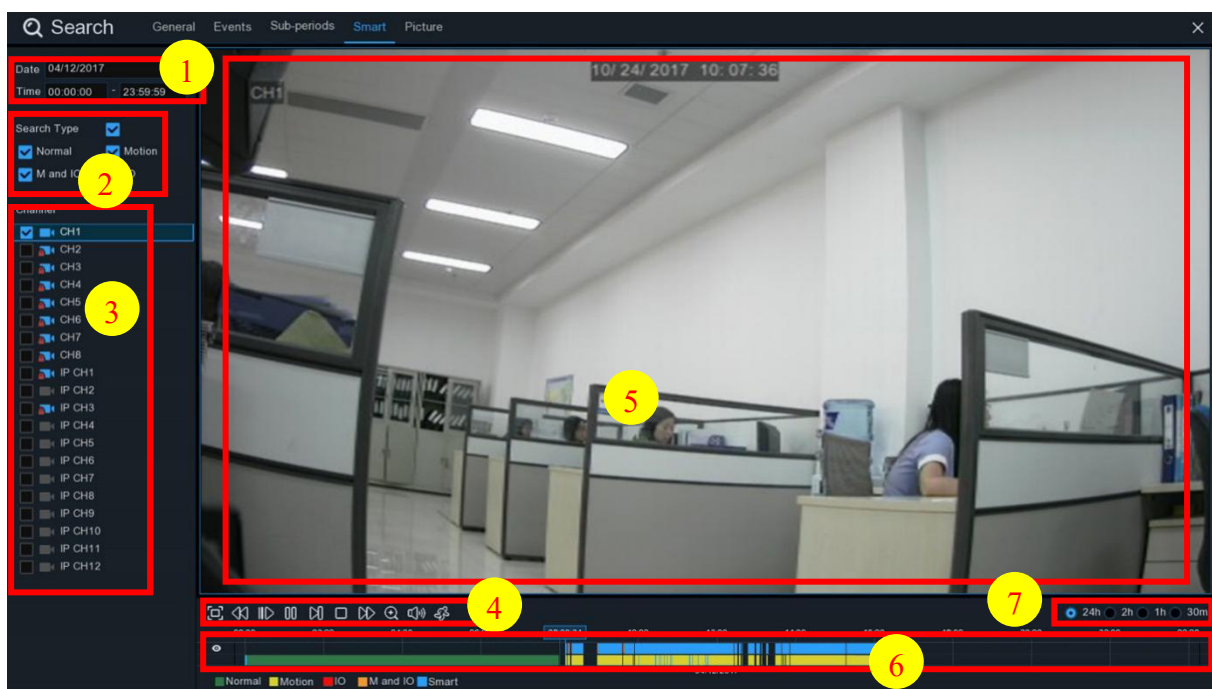
1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 動画を再生する分割画面を選択します。
3. 検索する記録の種類を確認するか、[検索の種類]をオンにしてすべてを選択します。
4. 検索するチャンネルを選択します。この機能は一度に1つのチャンネルを検索して再生することしかサポートしませんのでご注意ください。
5. 再生ボタン▶をクリックして再生を開始します。ビデオ再生コントロールのボタンで再生を制御します。
6. 動画は分割画面で再生されています。
7. 特定の分割画面でマウスの左ボタンをクリックすると、ビデオの分割画面の期間がタイムラインに表示されます。タイムラインの上部にあるカラーバーは、クリックしたビデオ分割画面の時間を示します。タイムラインの下部にあるカラーバーは、検索したビデオ全体の期間を示します。



8. 時間枠のオプション(24h 2h 1h 30m)を使用して、より小さい期間またはより大きな期間を表示します。

6.1.4 スマート検索と再生

スマートモードでは、チャンネルの1つまたは複数の特定の領域でモーションイベントを簡単に検索&再生することができます。



スマート検索と再生を開始するには:

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 検索する記録の種類を確認するか、[検索の種類]をオンにしてすべてを選択します。
3. 検索したいチャンネルを選択すると、選択したチャンネルのモーション記録が自動的に検索されます。この機能は一度に1つのチャンネルを検索して再生することしかサポートしませんのでご注意ください。
4. 再生ボタン▶をクリックして再生を開始します。ビデオ再生コントロールのボタンで再生を制御します。
5. ビデオは画面で再生されています。
6. タイムラインの上部にあるカラーバーは、検索したモーション録画の期間を示します。タイムラインの下部にあるカラーバーは、指定した録音全体の完全な期間を示します。



7. 時間枠のオプション(● 24h ● 2h ● 1h ● 30m)を使用して、より小さい期間またはより大きな期間を表示します。

6.1.4.1 スマート検索エリア

スマート検索機能は、デフォルトでチャンネルの全領域のモーション録画を検索します。検索を絞り込むために、特定の領域を 1 つ以上指定できます。


🔍 ビデオ再生コントロールのこのアイコンをクリックすると、カメラが全画面表示され、スマートコントロールバーが表示されます。





コントロールバーの端をクリックしたままにして、位置を変更できます。


スマートコントロールバー



 フルスクリーン検出領域を設定するには、ここをクリックします。

 作成されたすべての領域を削除するには、ここをクリックします。

 これをクリックすると、設定された領域に基づいてビデオを検索して再生できます。

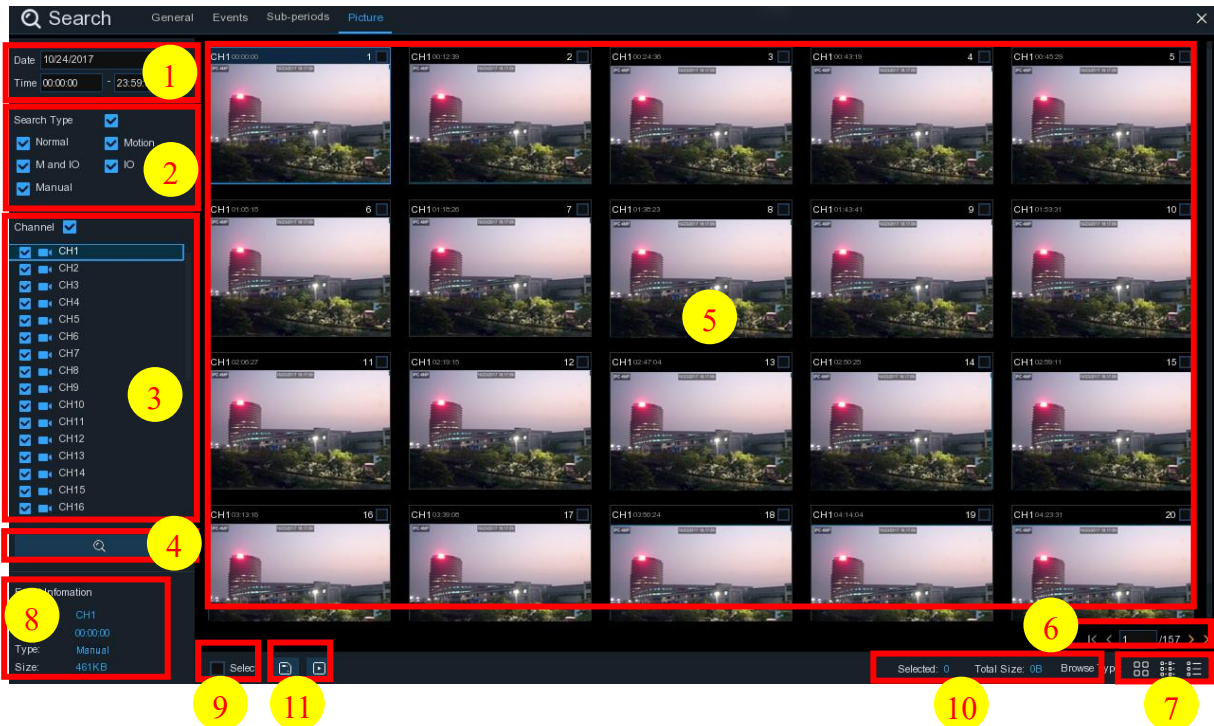
 再生メニューに戻るには、ここをクリックします。

1つ以上の特定の領域を定義するには、次の操作を行ってください。

1. クリックしてドラッグし、定義する領域を選択します。複数の領域を定義できます。同じアクションを使用して、設定された領域のセクションを削除したり、完全に削除したりすることもできます。完了したら、検索ボタンをクリックして、設定された領域に基づいてビデオを再生します。
2. 再生メニューに戻ります。検索条件に一致するセグメントは、タイムライン上に青色で表示されます。


6.1.5 画像検索とビュー

この機能を使用して、USB フラッシュドライブに対するスナップショットの検索、再生、コピーを行うことができます。




画像を検索、再生、バックアップするには:

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 検索する画像キャプチャタイプをチェックするか、[検索タイプ]をオンにしてすべてを選択します。
3. 検索するチャンネルを選択するか、[チャンネル]をオンにしてすべてのチャンネルを選択します。
4. 🔍 ボタンをクリックして検索を開始します。
5. 検索条件に合致する画像がリスト形式で表示されます。画像の 1 つをダブルクリックすると、大きな画像が表示されます。
6. ⏪ 4 /15 ⏩ メニューの右下隅にあるアイコンをクリックして、画像のページ間を参照するか、参照するページを入力します。
7. 画面の右下隅に表示されているアイコンの下をクリックすると、リストフォームのビューを切り替えることができます。



 サムネイルビュー: イベントのスナップショットを表示できます。

 リストビュー: イベントが一覧に表示されます。

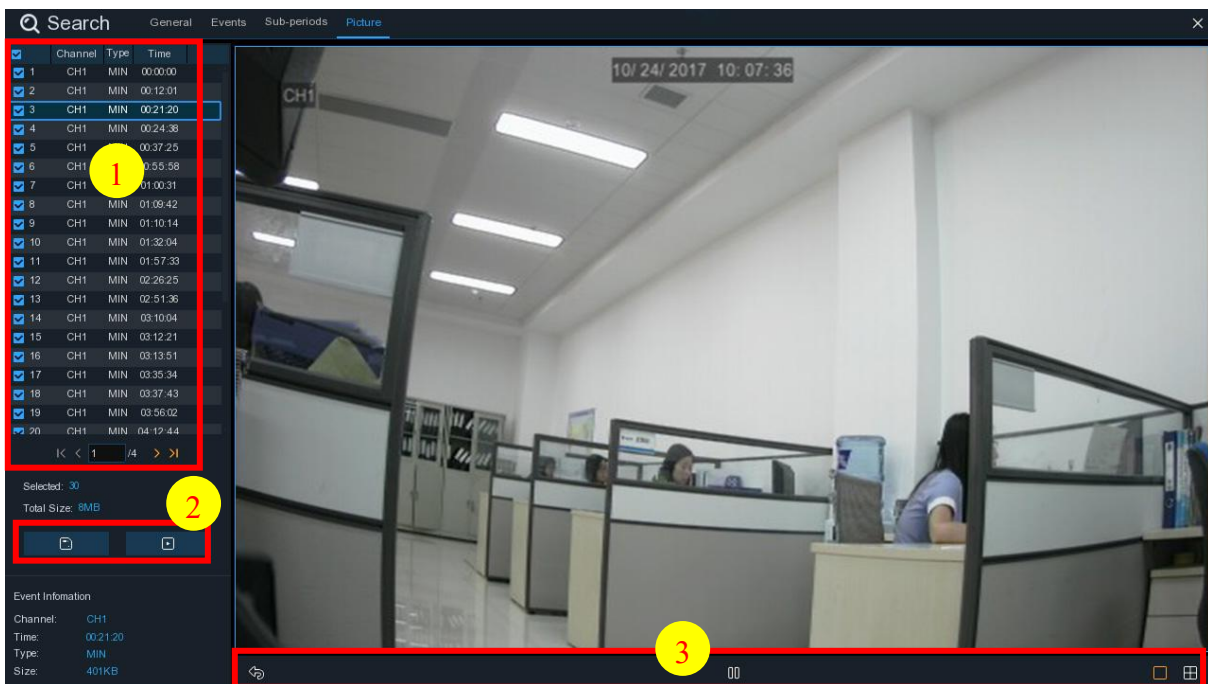
1	CH1	00:00:00	2	CH1	00:00:45	3	CH1	00:18:30	4	CH1	00:44:03	5	CH1	01:10:48	6	CH1	01:19:22	7	CH1	01:35:37
9	CH1	02:01:12	10	CH1	02:25:38	11	CH1	02:43:17	12	CH1	03:02:08	13	CH1	03:08:37	14	CH1	03:10:01	15	CH1	03:14:54
17	CH1	04:07:23	18	CH1	04:19:35	19	CH1	04:36:40	20	CH1	05:00:20	21	CH1	05:24:12	22	CH1	05:45:55	23	CH1	06:04:07
25	CH1	06:41:12	26	CH1	06:44:25	27	CH1	07:01:42	28	CH1	07:20:43	29	CH1	07:31:23	30	CH1	07:48:04	31	CH1	08:17:33
33	CH1	08:50:34	34	CH1	09:07:05	35	CH1	09:25:12	36	CH1	09:44:07	37	CH1	09:46:08	38	CH1	10:00:52	39	CH1	10:14:18
41	CH1	10:45:57	42	CH1	11:12:48	43	CH1	11:20:27	44	CH1	11:48:18	45	CH1	12:07:25	46	CH1	12:30:12	47	CH1	12:44:43
49	CH1	13:06:48	50	CH1	13:30:46	51	CH1	13:37:51	52	CH1	13:57:01	53	CH1	14:10:24	54	CH1	14:11:16	55	CH1	14:18:12
57	CH1	14:40:31	58	CH1	14:44:42	59	CH1	14:48:38	60	CH1	15:15:44	61	CH1	15:39:06	62	CH1	16:01:07	63	CH1	16:16:00








 詳細ビュー: イベントの詳細を表示できます。




	Channel	Type	Date	Time	Size	Playback	
<input type="checkbox"/>	1	CH1	MIN	10/24/2017	00:00:00	160KB	
<input type="checkbox"/>	2	CH1	MIN	10/24/2017	00:12:01	201KB	
<input type="checkbox"/>	3	CH1	MIN	10/24/2017	00:21:20	401KB	
<input type="checkbox"/>	4	CH1	MIN	10/24/2017	00:24:38	111KB	
<input type="checkbox"/>	5	CH1	MIN	10/24/2017	00:37:25	167KB	
<input type="checkbox"/>	6	CH1	MIN	10/24/2017	00:55:58	210KB	

8. いずれかの画像にマウスの左ボタンをクリックすると、画面の左下隅に画像情報が表示されます。
9. ファイルを選択するイベントの番号の横にあるチェックボックスをオンにし、[選択]の横にあるチェックボックスをオンにしてページ内のすべての画像を選択します。
10. 選択したファイルの数、合計サイズ情報が画面右下に表示されます。
11. ファイルを選択した後、USB フラッシュ ドライブに画像を保存するボタン  をクリックできます。または、画像のプレビューコントロール ウィンドウに移動するボタン  をクリックします。

6.1.5.1 画像プレビューコントロール



1. 画像リストは、ここで画像を選択することができます。
2. 選択した画像を USB フラッシュ ドライブに保存するには、 ボタンをクリックします。スライドショーで画像を表示するには  ボタンをクリックします。
3.  ボタンを押してプレビューコントロールウィンドウを終了し、画像検索ウィンドウに戻ります。
 ボタンを押して一時停止し、 スライドショーを再開します。
 ボタンを押して、スナップショットの前のスナップショットまたはグループを表示し、 次のスナップショットまたはスナップショットのグループを表示します。

ボタン  をクリックすると、一度に1つのスナップショットが表示され、 ボタンをクリックして一度に4つのスナップショットを表示し、 ボタンを押して一度に9つのスナップショットを表示できます。

第 7 章 Web クライアント経由のリモート アクセス

Web クライアントを使用して、PC 経由でいつでも DVR にリモートアクセスできます。Web クライアントにアクセスする前に、DVR のインターネット設定が正しく構成されていることを確認する必要があります。

7.1 基本的なシステム環境要件

Web クライアントを実行するために必要なハードウェアと OS の最小要件は、以下のとおりです。

アイテム	最小	推奨
CPU	インテル®コア™ i5	インテル®コア™ i5 以上
Ram	4G 以上	8G 以上
ハードドライブ	500G 以上	1000G 以上
RAM を表示する	2G 以上	4G 以上
ディスプレイ解像度	1280*1024	1920*1080
Os	Windows 7 以上 Mac OS X® 10.9 以上	
Directx	ダイレクト X 11	
Direct3d	加速度機能	
イーサネット アダプタ	10/100/1000M イーサネット・アダプター	
IE	マイクロソフトインターネットエクスプローラ (Ver. 11, 10, 9, 8)。エッジをサポートしていません。	
モジラファイアフォックス	V51 以下。V52 以上のバージョンはサポートしていません。	
グーグルクローム	V44 以下。V45 以降のバージョンはサポートしていません。	
MAC サファリ	5.1 以上	

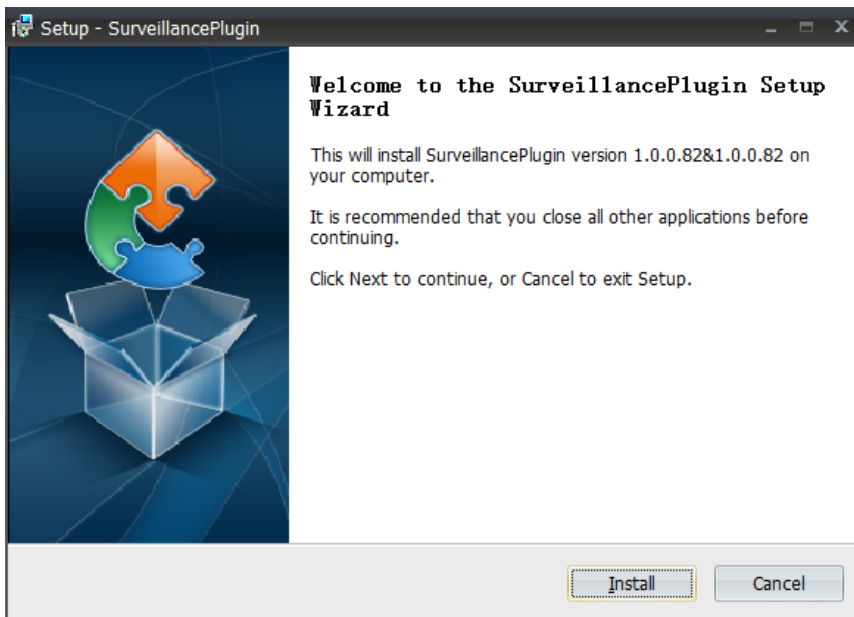
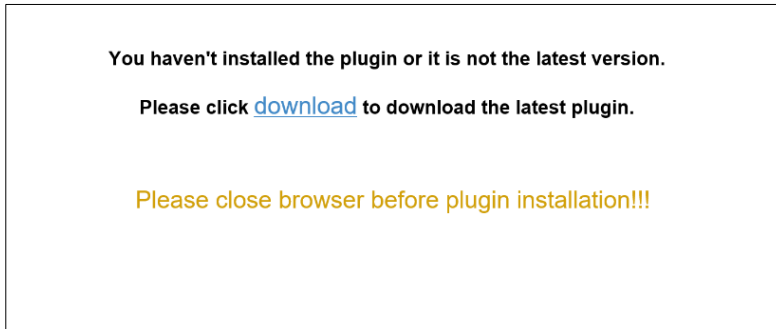
7.2 Web プラグインのダウンロードとインストール

Web クライアントにアクセスするには、次の手順を実行します。

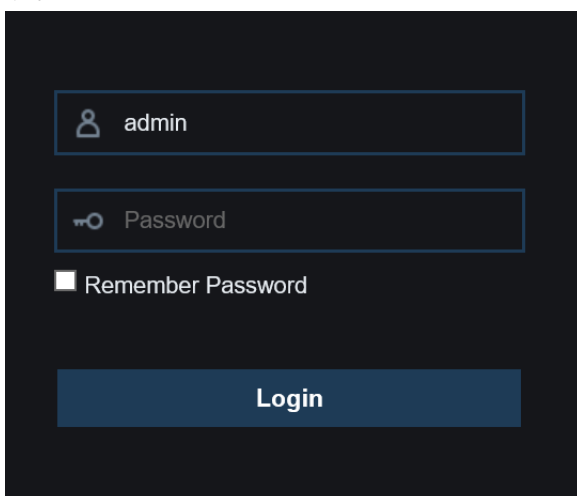
IE/クローム/ファイアフォックスの場合:

1. PC 上でエクスプローラを起動し、DVR に設定した DVR IP アドレスまたは DDNS ドメイン名 (ホスト名) を [URL] ボックスに入力します。

2. Web クライアントを初めて実行する際、システムは Web クライアントプラグインをインストールする必要があります。[ダウンロード] をクリックしてプラグインをダウンロードし、コンピュータにインストールします。



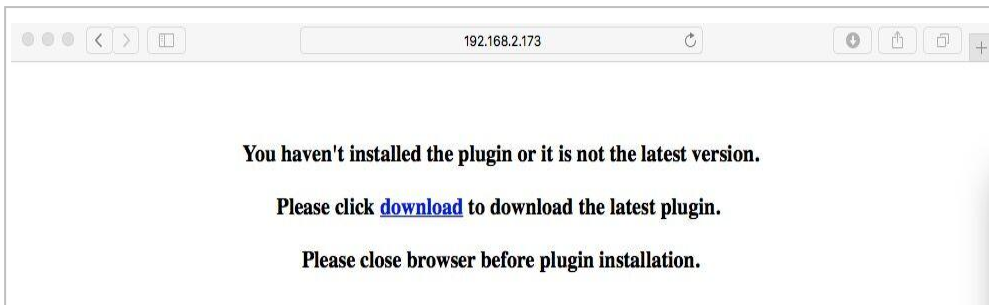
3. プラグインをインストールした後、ブラウザを閉じて起動し、手順 1 を繰り返してログインページを開きます。Web クライアントにログインするためのユーザー名とパスワードを入力します。



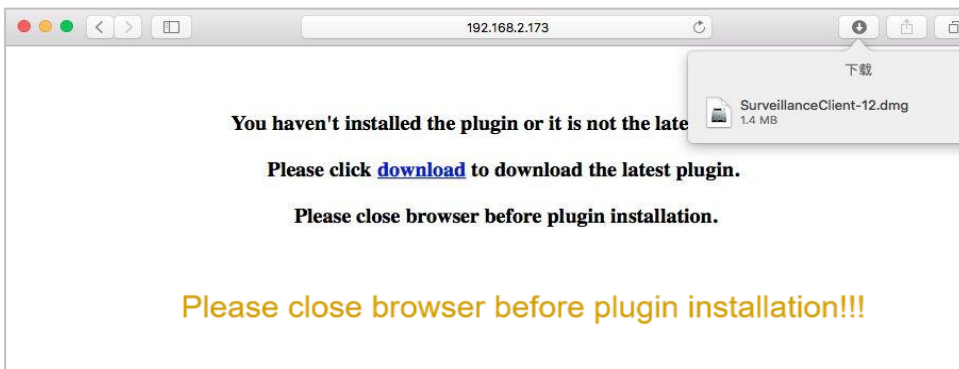
注： Google Chrome をご利用の場合は、バージョン V41 以下をご利用ください。V42 から V44 を使用する場合は、NPAPI プラグインを有効にする必要があります。NPAPI を検索して有効にするには、URL バーに chrome://flags/#enable-npapi を入力してください。V45 以上は、これまでサポートしていません。

Mac サファリの場合：

1. Mac で Safari を起動し、DVR に設定した DVR IP アドレスまたは DDNS ドメイン名(ホスト名)を[URL]ボックスに入力します。

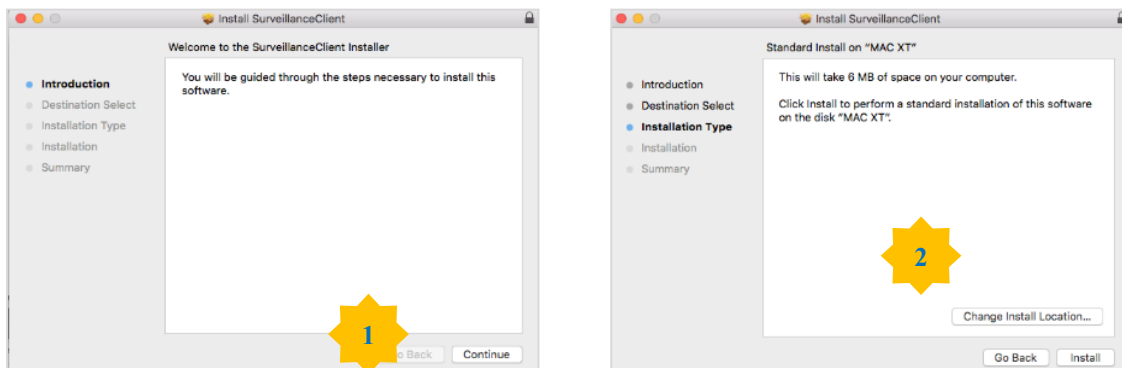


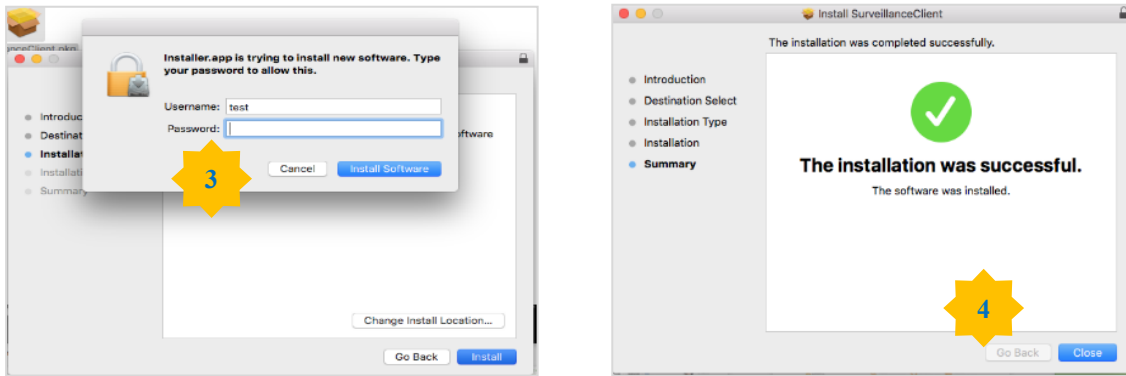
2. ダウンロードプラグイン ”監視クライアント.dmg”ダウンロードしたファイルを見つけてダブルクリックします。



3. [続行] --> [インストール] をクリックします。Mac コンピュータのユーザー名とパスワードを入力します。

[ソフトウェアのインストール] --> [閉じる] をクリックしてインストールを完了します。





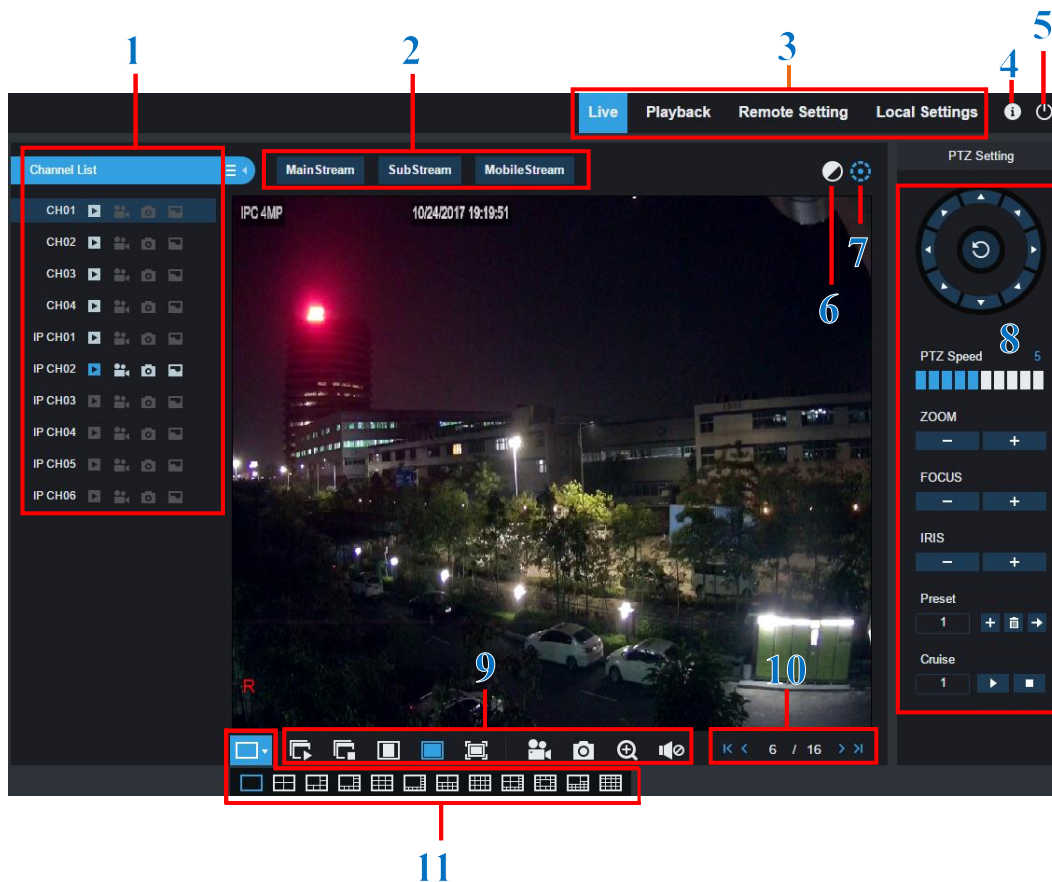
4. Safari を閉じて、手順 1 を繰り返して Web クライアントログインページを開きます。

7.3 Web クライアント・マネージャー



Web クライアントは、管理者アカウントを使用して DVR を完全に制御することをサポートしています。不正なログインを防止するために、ユーザー名とパスワードを必ず保護してください



7.3.1 ライブインターフェース



これは、Web クライアントにログインした後に開く最初の画面です。ここでは、ライブプレビューを開いたり閉じたり、手動でローカルコンピュータにビデオを録画したり、画面のスナップショットを撮ったり、PTZ コントロール、カラー調整を行ったりすることができます。






1- チャンネルリスト: クイックカメラ機能のチャンネルリストを開きます

-  クリックボタンをクリックしてチャンネルリストを表示します。
-  クリックボタンをクリックしてチャンネルリストを非表示にします。

  ライブビデオストリームのオン/オフを切り出します。ライブビデオストリームがオンの場合、ボタンは青色です。

  手動録画ボタン。ライブストリームビデオの手動録画を開始するには、ここをクリックします。録画を停止するには、もう一度クリックします。手動録画はコンピュータに保存されます。録画中は、ボタンは青い色になります。

 手動スナップショットボタン。現在のライブディスプレイのスナップショットをコンピュータに保存するときにクリックします。

  ビットレートボタン。カメラをメインストリーム、サブストリーム、またはモバイルストリームビデオ設定を使用するように設定します。モバイルストリームは IP チャネルでのみ使用できます。

2- ライブビデオストリームオプション:

メインストリーム: 高品質のメインストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。

サブストリーム: 中間品質のサブストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。

モバイルストリーム: 帯域幅を節約するために、低品質のモバイルストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。IP チャネルでのみ使用できます。

3- メインメニュー:

ライブ: カメラからライブ映像を見る。

再生: DVR の HDD に保存されている録画ビデオを表示します。

リモート設定: DVR 設定メニューのアクセス機能。

ローカル設定: Web クライアントを使用して撮影した録画とスナップショットのダウンロード場所を設定し、ビデオファイルの種類を選択します。

4- 情報: マウスカーソルを合わせると、システムの詳細が表示されます。

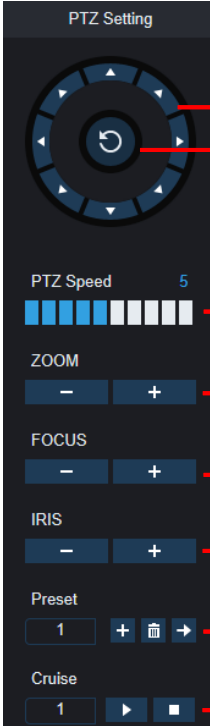
5- 終了

6- カラーコントロールをクリックすると、カラーコントロールの表示/非表示を切り替えます



7- PTZ コントロール: クリックすると、PTZ カメラを使用するための PTZ コントロールを表示または非表示にできます。

8- PTZ コントロール





PTZ Setting


- PTZ の方向：選択方向にカメラが動きます。
- 自動ラインスキャン。
- PTZ Speed 5
PTZ の速さ：PTZ カメラの速度を変更できます。
- ZOOM
- +
ズーム： -/+をクリックしてズームインまたはズームアウトします。
- FOCUS
- +
フォーカス： -/+をクリックしてフォーカスを調整します。
- IRIS
- +
アイリス： -/+をクリックしてアイリスを調整します。
- Preset
1 + [] ->
プリセットポイント：プリセットポイントを追加、削除、または移動します。
- Cruise
1 [] []
PTZ カメラのクルーズをスタート/ストップさせます。


9- ライブビューコントロールボタン:





 ライブウィンドウで画像を開きます。


 すべてのライブチャンネルを閉じる


 オリジナルの比率:元の比率でライブビデオを表示



 ストレッチ:画面上の各チャンネルのフルエリアに合わせてライブビデオをストレッチ。
。

 Web クライアントを全画面表示に拡大します。

 手動録画:クリックすると、表示されているすべてのチャンネルの手動録画が開始されます。録画を停止するには、もう一度クリックします。手動録画はコンピュータに保存されます。

 スナップショット:現在表示されているすべてのチャンネルのスナップショットをコンピュータに保存します。

 デジタルズーム:ライブ画像をクリックし、ライブ画像の領域をクリックしてドラッグして拡大します。右クリックすると、標準表示に戻ります。

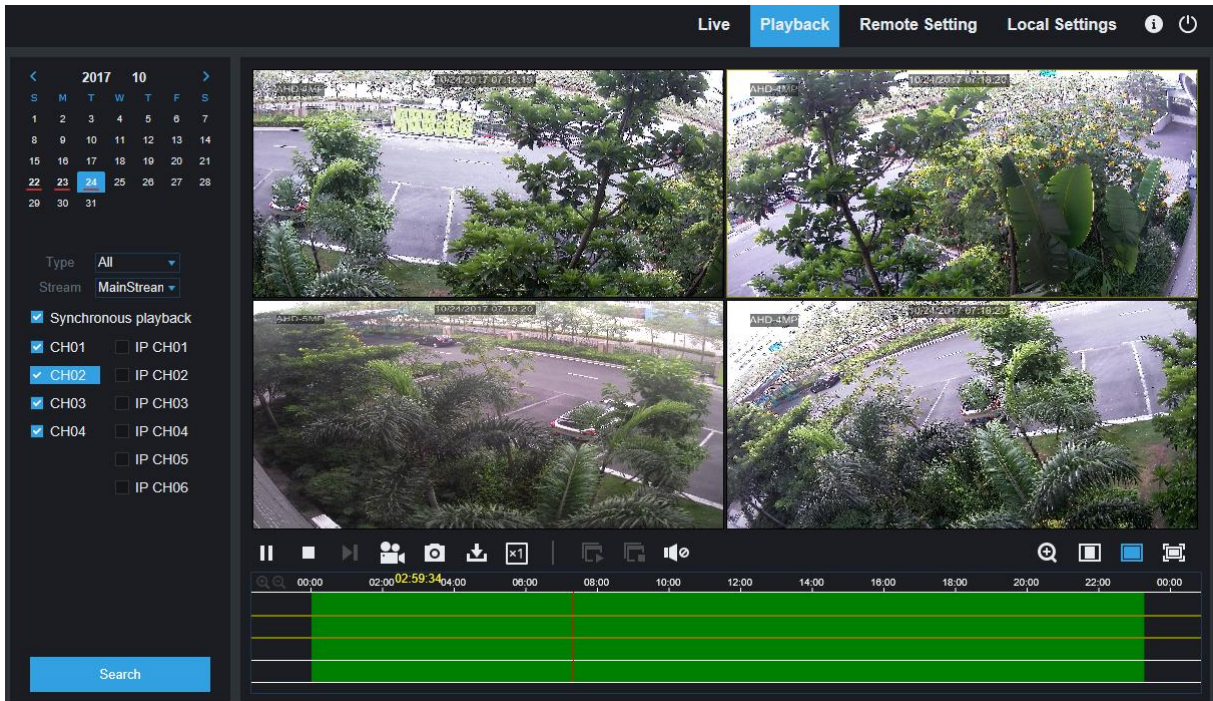
 ボリュームコントロール。  音量がミュートです。

10- ナビゲーション:画面に表示されるチャンネルの現在のページ番号を表示します。方向キーを使用してページを切り替えます。

11- ページビュー:クリックすると、一度に画面に表示されるチャンネル数を選択できます。

7.3.2 再生

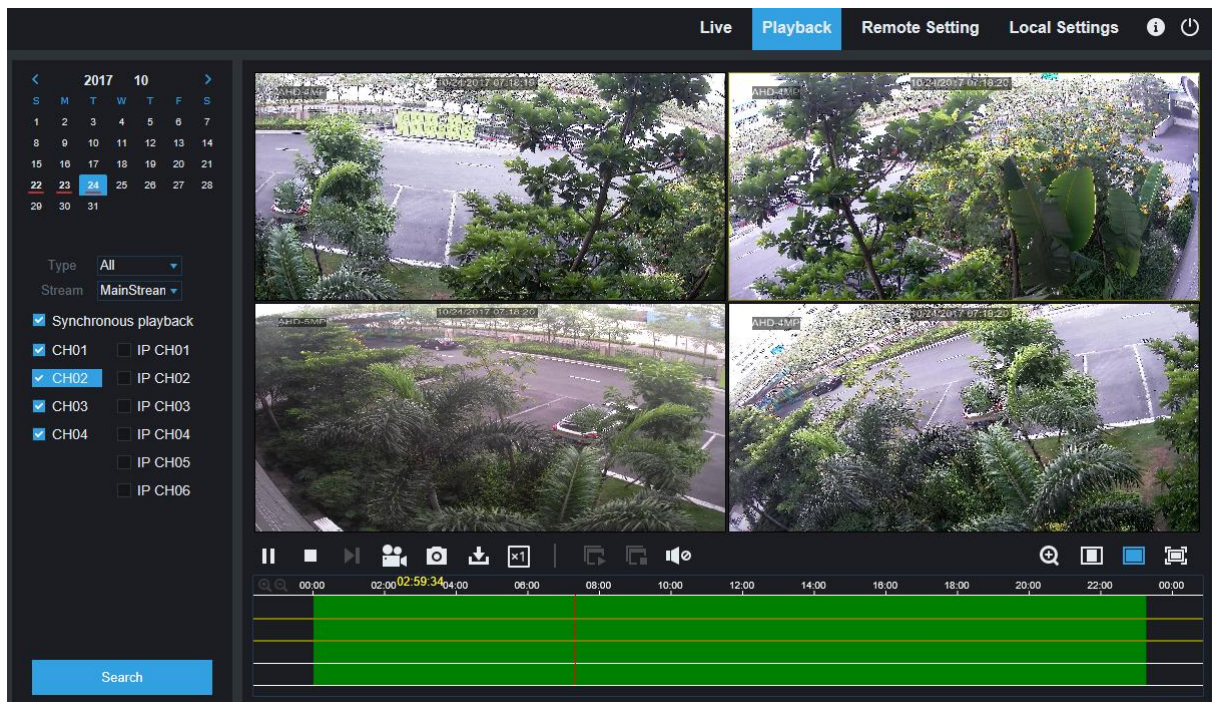
DVR 内の HDD に保存されている録画ビデオを検索して再生し、ビデオをコンピュータにダウンロードできます。



録画を検索するには:

1. ウィンドウの右上隅にある「再生」をクリックします。
2. カレンダーで録画を検索する日を選択します。録画の日付には赤い下線が表示されます。
3. [タイプ] の横のドロップダウンから検索する録画の種類を選択するか、[すべて] を選択してすべての録画を検索します。
4. 検索して再生したいビデオストリームを選択します。サブストリーム録音を再生したい場合は、デュアルストリームで録音するように DVR を設定していることを確認してください。
5. 録画を検索したいチャンネルを確認してください。同期再生をオンにすると、すべてのチャンネルが一度に再生されます。
6. [検索] をクリックします。
7. 検索に合った録画がタイムラインに表示されます。再生を開始するビデオのセクションをクリックし、再生ボタン▶をクリックします。

7.3.2.1 再生コントロールボタン



▶ 録画を再生する

|| 一時停止

■ 停止

▶ 1 フレーム進む:再生を通じてフレームごとに移動します。同期再生オプションがチェックされていない場合にのみ使用できます。

👤 再生中のチャンネルのいずれかをクリックし、録画ボタンをクリックして現在のビデオをコンピュータに録画します。録画を停止するには、もう一度クリックします。

📷 再生中のチャンネルのいずれかをクリックし、キャプチャボタンをクリックしてスナップショットを撮ってコンピュータに保存します。

📄 [ダウンロード] メニューを開くと、複数のビデオ録画を一度にダウンロードできます。


	<input type="checkbox"/>	Start Time	End Time	Status	File Size
1	<input checked="" type="checkbox"/>	2017-10-25 00:00:00	2017-10-25 00:01:04	Completed	47.00M
2	<input checked="" type="checkbox"/>	2017-10-25 00:01:04	2017-10-25 00:06:56	2%	253.76M
3	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:06:56	2017-10-25 00:12:48	Not Downloaded	253.71M
4	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:12:48	2017-10-25 00:18:41	Not Downloaded	253.91M
5	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:18:41	2017-10-25 00:24:34	Not Downloaded	253.64M
6	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:24:34	2017-10-25 00:30:27	Not Downloaded	253.68M
7	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:30:27	2017-10-25 00:36:18	Not Downloaded	253.75M
8	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:36:18	2017-10-25 00:42:10	Not Downloaded	253.90M
9	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:42:10	2017-10-25 00:48:03	Not Downloaded	253.74M
10	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:48:03	2017-10-25 00:53:56	Not Downloaded	253.63M


10 / 10 Show from 1 to 10, total 95. Per page : 10


Start Download Stop Download

ダウンロードしたいファイルを選択し、[ダウンロードの開始]ボタンを押すと、ダウンロードの状態が表示されます。[ダウンロードの停止] ボタンを押して停止します。


 再生速度。クリックして再生速度を選択します。


 すべてのチャンネルを再生:クリックすると、検索対象に選択したすべてのチャンネルを再生できます。同期再生オプションがチェックされていない場合にのみ使用できます。

 すべてのチャンネルを停止:クリックすると、すべてのチャンネルの再生を停止します。同期再生オプションがチェックされていない場合にのみ使用できます。

 デジタルズーム:ビデオをクリックし、ビデオの領域をクリックしてドラッグして拡大します。右クリックすると、標準表示に戻ります。

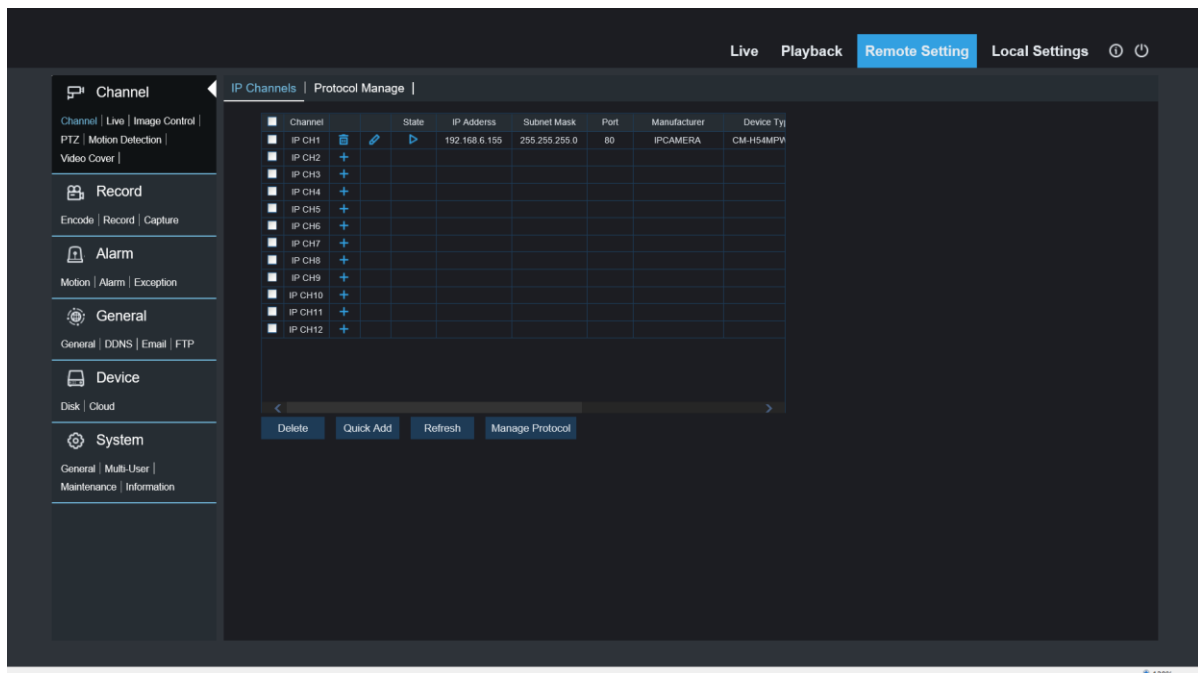
 元の比率:元の比率で再生ビデオを表示

 ストレッチ:画面上の各チャンネルのフルエリアに合わせて再生ビデオを伸ばします。

 Web クライアントを全画面表示に拡大します。

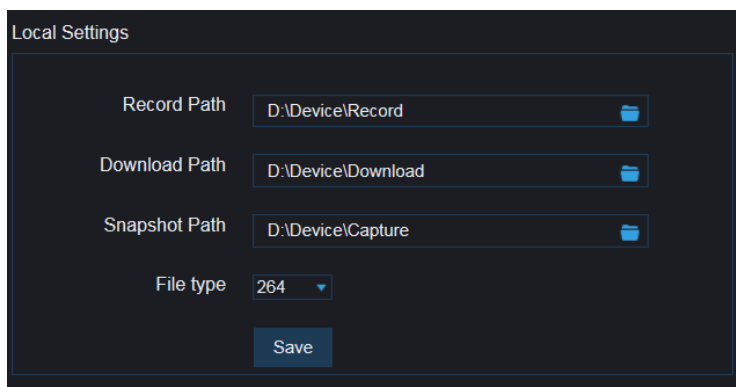
7.3.3 リモート設定



ここでは、リモートで DVR の設定を構成できます。DVR 設定の詳細については、「第 5 章 DVR システムのセットアップ」を参照してください。




7.3.4 ローカル設定

Web Client を使用して撮影した録画とスナップショットのダウンロード場所を設定し、ビデオファイルの種類を選択します。



[パスの記録]:  手動ビデオ録画をコンピュータに保存するフォルダを参照して選択します。
 ダウンロードパス: ダウンロードビデオ  録画をコンピュータに保存するフォルダをクリックして選択します。

スナップショットパス:  手動キャプチャスナップショットをコンピュータに保存するフォルダを参照して選択します。

ファイルの種類: 手動で録画するファイルの種類を選択します。

保存: クリックして変更を保存します。

第 8 章 PC/Mac でバックアップされたビデオを表示する

このセクションでは、CD に添付されている強力なビデオプレーヤーでバックアップファイルを再生するのに役立ちます。

Mac ユーザーの場合は、アプリ

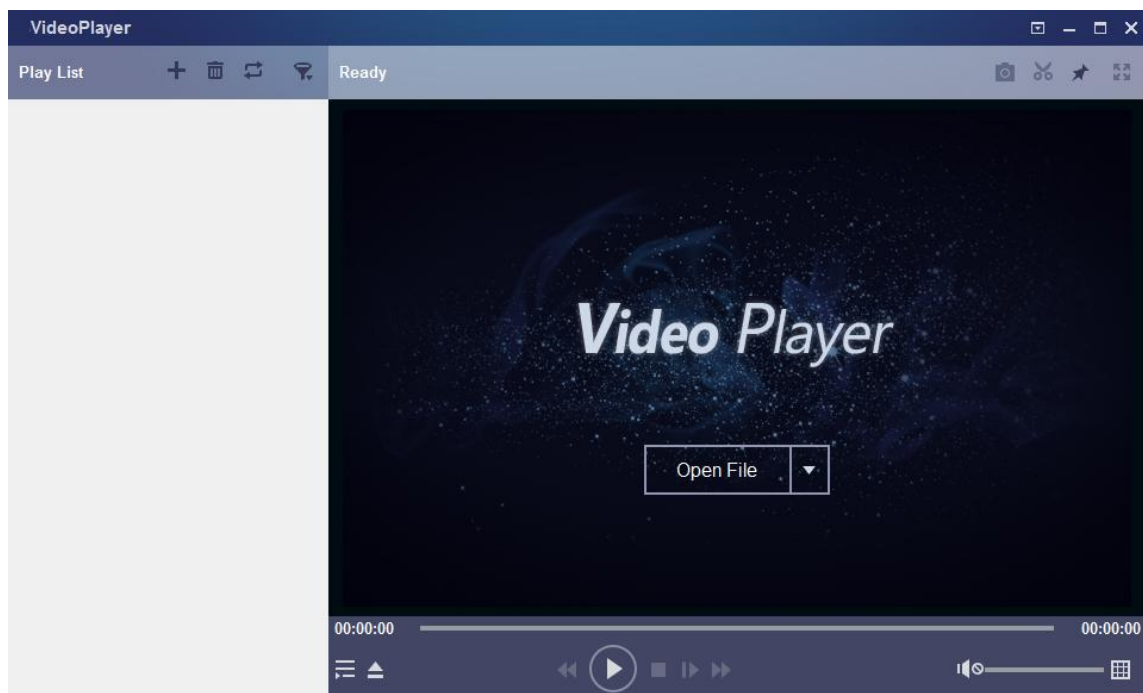
”VideoPlayer_x.x.xx_xxxx_xx_x.dmg”VideoPlayer_1.0.15_2017_01_6.dmg をインストールしてください。

PC ユーザーの場合は、ソフトウェア ”VideoPlayer_x.x.xx_xxxx_xx.exe”
VideoPlayer_1.0.15_2017_01_06.exe をインストールしてください。

最小システム要件

- インテル・ペンティアム 4 以上
- マイクロソフトウィンドウズ XP / ビスタ / 7 / 8 / 10
- 256MB RAM
- 16MB のビデオメモリ

1. ビデオ 再生ソフトウェアを CD にインストールして実行します。







2. バックアップ ファイルをコンピュータにコピーします。
3. [ファイルを開く] ボタンをクリックするか、または [プレイリスト] の[+] ボタンをクリックして、1つまたは複数のビデオ ファイルを読み込みます。それは追加&プレイをサポートしています”.rf”, “.avi””.mp4”、”.264”および “.265”ファイル。バックアップされたビデオを含むフォルダをロードするには、▼ボタンをクリックします。


ビデオプレーヤーコントロール









1. プレイリスト

-  ファイルの追加
-  ファイルを削除 する
-  再生モードを選択するには: 単一のファイルを再生して停止し、リストされているすべてのファイルをシーケンスで再生し、1つのファイルを繰り返す、すべてのファイルを繰り返します。
-  ファイル名でフィルタ


2. プレイリストの表示/非表示





-  クリックすると、ファイルを開いたり、フォルダを読み込んだりします。


3. プレイコントロール

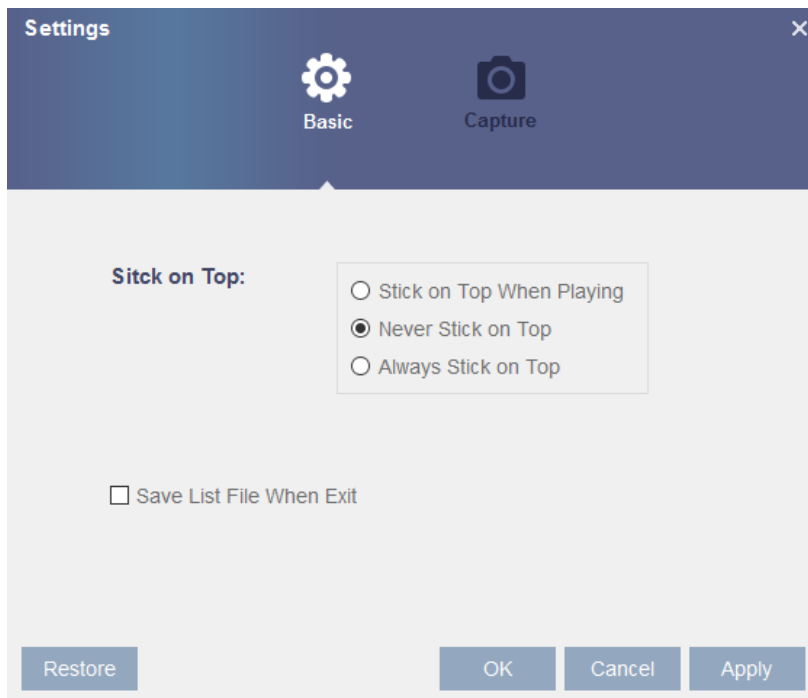
-  再生
-  一時 停止
-  停止
-  フレームごとに再生します。クリックしてビデオのフレームを再生する
-  スロープレー、1/2、1/4、1/8、1/16 スピード
-  早送り、x2、x4、x8 および x16

4. ボリュームコントロール

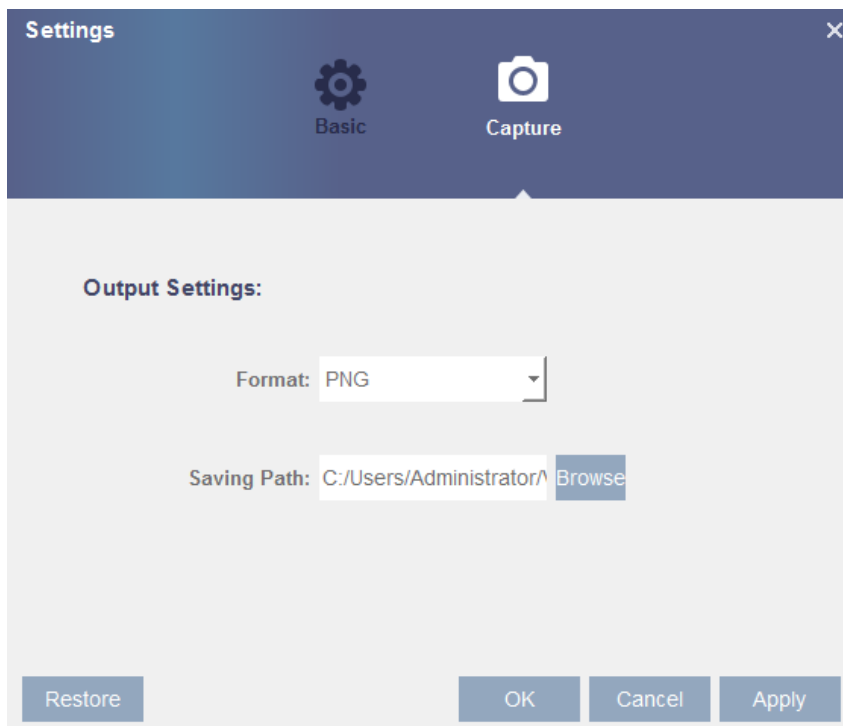
-  マルチスクリーンプレイ。それは一度に複数のビデオを再生することができます。マルチスクリーンを選択すると、再生リストのビデオを再生画面にドラッグできます。

5.  スナップショットを取る
 -  ビデオ クリップをコンピュータに保存します。1 回押して開始し、もう一度押してビデオ クリップを終了します。
 -  ビデオ プレーヤーを一番上に置いておく
 -  ビデオ再生画面を全画面表示に拡大する

6.  高度なセットアップメニュー は、ビデオプレーヤーの OSD 言語を選択し、ビデオプレーヤーの設定を設定することができます。



基本設定: オントップモードを設定する




[キャプチャ設定]: スナップショットを保存する形式とパスを設定します。

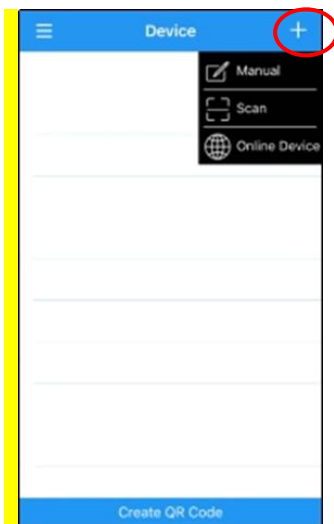
第9章 モバイルデバイス経由のリモートアクセス

DVR は、Android と iOS オペレーティングシステムに基づいてモバイルデバイス経由でリモートアクセスをサポートしています。

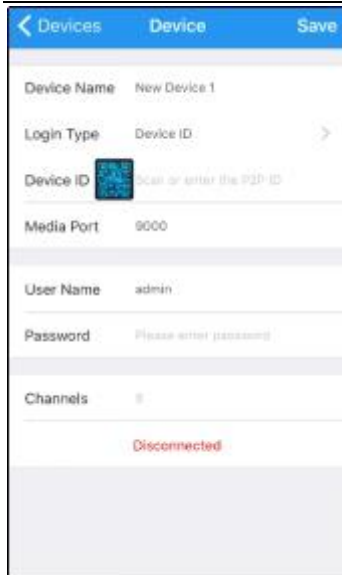
- 1) アンドロイドデバイスやアプリストアや iOS デバイスのための Google Play ストアから RXCamView を検索してインストールします。
- 2) アプリを実行し、ライブビュー画面を表示します。



- 3)  アイコンをタップしてデバイスリストページを開き、+をタッチしてデバイスを追加します。

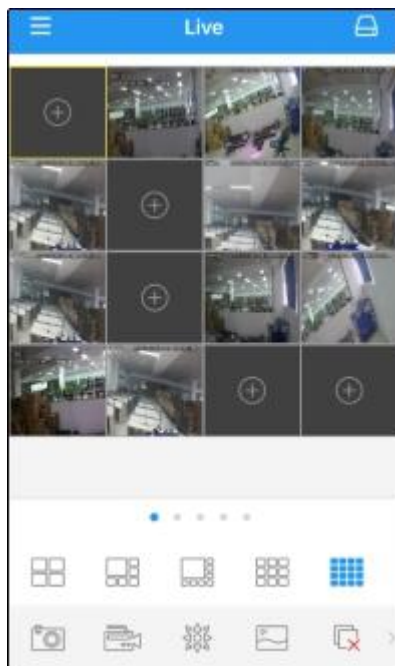


- 4) 「手動」を選択し、DVR 情報を入力します。



デバイス名： 表示したい名前を入力します
 ログインタイプ： デバイス ID と IP/ドメイン
 -デバイス ID： P2P 接続の場合
 -IP/ドメイン： DVR の IP アドレスまたはドメイン名
 デバイス ID/IP アドレス： P2PID または IP アドレス/ドメイン名を入力します。P2P QR コードスキャンし、デバイスに接続することが出来ます。
 メディアポート： DVR ネットワーク設定のメディアポートを入力します
 ユーザー名/パスワード： DVR のユーザー名とパスワードを入力します
 チャンネル： システムは接続後 DVR のチャンネル数を表示します

- 5) すべての設定が完了したら、**[保存]** をタップして保存すると、デバイスがうまく接続されている場合は、アプリがライブビュー表示に変わります。




- 4 枚表示
- 6 枚表示
- 8 枚表示
- 9 枚表示
- 16 枚表示

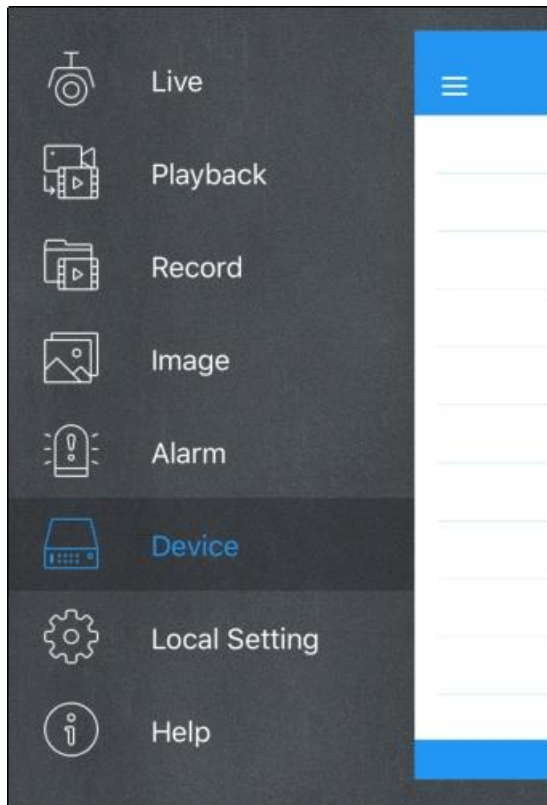
Note： アプリは1つの画面で最大16枚の写真を表示します。

画面を滑らして次の画面に移動し、他の16枚を表示できます。

合計80枚の写真が表示可能

- 映像をスナップショットする
- ライブビュービデオをモバイルデバイスに録画します
- PTZ 制御
- 画質
- 全てのライブビューを閉じる
- オーディオをオフ/オンにする
- ビデオスケールを調整する
- 双方向スピーカー(DVD がサポートされている場合)

- 6) アイコン  をタッチしてメニューリストを開き、ライブビュー、再生、ローカル録画ビデオ、キャプチャされた画像、プッシュアラーム通知、デバイスマネージャ、ローカル設定 & ヘルプドキュメントを確認 & 設定できます。



第 10 章 付録

10.1 トラブルシューティング

1. Q: システムが HDD を検出しない場合、どうしたらいいですか?
A: 電源システムが正しく接続されていて、データコードと電源ケーブルがしっかりと接続されているか、HDD インターフェイスに問題がないか確認します。または、HDD が仕様や説明を参照してサポートされているかどうかを確認することもできます。
2. Q: パスワードを変更しましたが、新しいパスワードを忘れた場合、システムにアクセスするにはどうすればいいですか?
A: システムパスワードを忘れた場合は、技術担当者にご相談ください。私たちは、覚えやすく、比較的安全なパスワードを設定するユーザーを強くお勧めします。安全要件がある場合は、000000 など、非常に単純なパスワードを設定しないでください。
3. Q: DVR とカメラを接続することで、異常な映像信号やビデオ信号が見当たらない。両方のデバイスの電源は OK です。W 帽子は間違っていますか?
A: DVR 側のネットワークケーブルを確認して、ケーブルがしっかりと接続されているか、ケーブルが摩耗して交換する必要があるかどうかを確認するか、NTSC または PAL が一貫して選択されているかどうかを確認します。
4. Q: DVR が熱の影響を受けないようにするには?
A: DVR は、実行中に熱を放散する必要があります。D VR の安定性と寿命を確保するために、空気循環が良好で熱源から離れた場所に DVR を配置してください。
5. Q: モニター画面が OK でパネルキーが機能している間は、DVR のリモートコントローラは動作しません。なぜでしょうか。
A: リモートコントローラを前面パネルの IR 受信機に向けて再び操作します。それでも動作しない場合は、リモコンの電池が残っていないかどうかを確認してください。ない場合は、リモートコントローラが故障しているかどうかを確認します。
6. Q: 私は自分の PC から HDD を取り出して、DVR にインストールしたい。それは動作しますか?
A: システムでサポートされているすべての HDD を使用できます。しかし、DVR が実行されると、HDD 上のデータが失われるのを覚えておいてください。
7. Q: 録音中に再生できますか?
A: はい。システムは、録音中の再生機能をサポートします。
8. Q: DVR の HDD でレコードを消去できますか?
A: ファイルのセキュリティを考慮して、レコードの一部をクリアすることはできません。すべてのレコードを削除する場合は、HDD のフォーマットを設定できます。
9. Q: DVR クライアントにログインできないのはなぜですか?
A: ネットワーク接続の設定が正しいか、RJ-45 ポートが良好な接続状態にあるか確認してください。アカウントとパスワードが正しく入力されているかどうかを確認します。
10. Q: 再生中にレコードが見つからないのはなぜですか?
A: HDD のデータ回線接続が OK で、システム時刻が正しく調整されているか確認してください。数回試して再起動してください。それでも動作しない場合は、HDD が壊れているかどうかを確認してください。
11. Q: DVR が PTZ を制御できない理由

- A: 以下の点を確認してください。
- a) 前部の PTZ が誤動作している。
 - b) PTZ デコーダの設定、接続、およびインストールが正しくない。
 - c) DVR の PTZ 設定が正しくない。
 - d) PTZ デコーダのプロトコルは、DVR のプロトコルと一致しません。
 - e) PTZ デコーダのアドレスが DVR のアドレスと一致しません。
 - f) 多くのデコーダが接続されている場合、PTZ デコーダの AB ラインの最も遠い側は、反射抑制とインピーダンスマッチングを実現するために 120Ω 抵抗を追加する必要があります。そうしないと、PTZ 制御が不安定になります。
12. Q: なぜ動的検出が機能しないのか?
A: 動き検出時間と運動検出の地域設定が正しいか、感度が低すぎるか確認してください。
13. Q: アラームが機能しない理由は?
A: アラーム設定、アラーム接続、アラーム入力信号が正しいか確認してください。
14. Q: ブザーはなぜ驚くべきままなのですか?
A: アラーム設定を確認し、動き検出機能が有効になっているか、オブジェクトの動きが常に検出されているか、I/O アラームが常にオフに設定されているかどうかを確認してください。また、対応する HDD アラーム設定を参照してください。
15. Q: なぜ「停止」ボタンを押したり、コンテキストメニューの「録音を停止」をクリックして録音を停止できないのですか?
A: [録音の停止] または [録音の停止] を押すと、手動での記録しか停止できません。特定の時間にスケジュールされた記録を停止したい場合は、設定を「記録なし」に変更してください。起動録画を停止するには、録画モードをスケジュールされた記録または手動録画に変更してください。その後、所定の方法で記録を停止することができます。また、録画を停止するもう 1 つの方法は、チャンネルをレコード設定でオフステータスに設定することです。

10.2 使用メンテナンス

1. DVR をシャットダウンするには、まずシステムをシャットダウンしてから電源を切ってください。電源を直接オフにしないと、HDD データが失われたり破損したりします。
2. DVR を熱源や場所から遠ざけてください。
3. 定期的に内部のほこりをきれいにします。良好な放熱を確実にするために、DVR の良好な換気を確認してください。
4. オーディオケーブルやビデオケーブル、RS-232 や RS-485 などのポートに接続されたケーブルは、ホットプラグしないでください。そうしないと、ポートが破損します。
5. HDD ケーブルとデータケーブルを定期的に確認して、老齢かどうかを確認してください。
6. DVR の音声信号や映像信号が他の電子機器に介入しないようにし、静電気や誘起電圧による HDD の破損を防止してください。ネットワークケーブルが頻繁に接続されている場合は、接続線を定期的に交換するか、入力信号が不安定である可能性があります。
7. これはクラス A の製品です。それは多分人生にワイヤレス干渉をもたらします。このような状況では、ユーザーが対策を講じる必要があります。

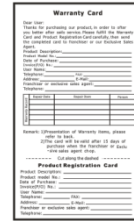
10.3 付属品(参考のみ)



リモートコントローラ
(オプション)



電源アダプタ



保証カード



USB マウス



CD

The material in this document is the intellectual property of our department.

No part of this manual may be reproduced, copied, translated, transmitted, or published in any form or by any means without our department prior written permission.

Our products are under continual improvement and we reserve the right to make changes without notice. But no guarantee is given as to the correctness of its contents.

We do not undertake any responsibility for the harms cause by using our product.

The model of the products in the user's manual only for recognition, but these names also perhaps are belong to other company's registered trademark or the copyright.

The product picture may differ from the actual product, only for your reference. The accessories will probably be different according to the different selling areas. For details of accessories, please refer to your local distributor.

Copyright reserved